

高齡社会に関する愛知県高齡者調査

高齡社会に関する愛知県民調査

報 告 書

平成 20 年度

平成 20 年 9 月

愛 知 県

ページ

1 . 高齡社会に関する愛知県高齡者調査 1 - 1 ~ 1 - 41

2 . 高齡社会に関する愛知県民調査 2 - 1 ~ 2 - 29

1 . 高齢社会に関する愛知県高齢者調査

目 次

	ページ
(1) 調査の概要.....	1 - 2
(2) 調査対象者の基本属性.....	1 - 6
(3) 調査結果.....	1 - 8
1 外出状況（外出の頻度）.....	1 - 8
2 外出理由.....	1 - 10
3 外出手段.....	1 - 12
4 老後は誰とどのように暮らすのがよいか.....	1 - 14
5 日常生活における援助の必要度.....	1 - 15
6 健康について心がけていること.....	1 - 16
7 介護が必要になった場合に介護を期待する人.....	1 - 18
8 生活の収入源.....	1 - 20
9 老後の生活費に対する備え.....	1 - 22
10 日常生活の情報源.....	1 - 24
11 参加している活動.....	1 - 26
12 活動に参加しなかった理由.....	1 - 28
13 健康長寿あいち宣言の認知度.....	1 - 30
14 あいち健康の森の認知度.....	1 - 31
15 ヘルシーネット.....	1 - 32
16 重粒子線治療.....	1 - 33
17 重粒子線治療.....	1 - 34
18 地域包括支援センター.....	1 - 35
19 高齢者いきがい.....	1 - 36
20 薬草園.....	1 - 38
21 健康長寿産業.....	1 - 40

(1) 調査の概要

1) 調査の目的

平成 18 年 3 月発表の「健康長寿あいち宣言」は、身体面およびメンタル面の両面で数値目標を定めている。しかし、メンタル面の指数は統計的に確立したものが存在しない。

そのため、アンケート調査を実施し、目標値の効果測定の指標、並びに「健康長寿あいち推進事業」の進行管理及び見直しに活用する。

2) 調査地域、調査対象、調査方法等

調査地域：愛知県全域

調査対象：60歳以上の男女 計2,000人

調査方法：郵送法

抽出方法：選挙人名簿に基づく層化二段無作為抽出法

調査期間：平成20年7月22日（火）～8月4日（月）

3) 有効回答数及び回収率

	対象者数	有効回答数	回収率
60歳以上の男女	2,000人	1,114人	55.7%

4) 調査主体

愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課

5) 調査委託機関

株式会社 アイエスシー

6) 調査項目

外出に関する項目

日常生活や健康に関する項目

経済面に関する項目

社会参加に関する項目

愛知県の施策に関する項目

7) 抽出方法

層化

愛知県内の市町村を、市（名古屋市は区）および郡を単位として、下記のとおり 16 の調査地区にグループ化し、これを層とした。各層の推定母集団（平成 20 年 4 月 1 日現在の人口）の大きさにより、2,000 の標本数を比例配分した。

第 1 次抽出

比例配分により 100 の調査地点を各層に配分し、平成 17 年度国勢調査時に設定さ

れた調査区から調査地点を選定した。1次抽出において、各調査地点の標本数が20となるように算出し、

「層における調査区数の合計」÷「層で抽出された調査地点数」＝「抽出間隔」として等間隔抽出法により抽出した。

第2次抽出

各調査地点における対象者の抽出は、各市町村の選挙人名簿より各年代を含むよう配慮して無作為に抽出した。

地域	地区番号	地区名称	市、区、郡				
名古屋地域	1	名古屋市東部地区	千種区	東区	守山区	名東区	
	2	名古屋市南東部地区	昭和区	瑞穂区	緑区	天白区	
	3	名古屋市北西部地区	北区	西区	中村区	中区	
	4	名古屋市南西部地区	熱田区	中川区	港区	南区	
西尾張地域	5	海部津島地区	津島市	愛西市	弥富市	海部郡	
	6	一宮地区	一宮市	稲沢市			
	7	犬山江南地区の一部	江南市	岩倉市	丹羽郡		
東尾張地域	7	犬山江南地区の一部	犬山市				
	8	春日井小牧地区	春日井市	小牧市	清須市	北名古屋市	西春日井郡
	9	尾張東部地区	瀬戸市	尾張旭市	豊明市	日進市	愛知郡
知多地域	10	知多地区	半田市	常滑市	東海市	大府市	知多市 知多郡
西三河地域	11	豊田加茂地区	豊田市	西加茂郡			
	12	岡崎額田地区	岡崎市	額田郡			
	13	衣浦東部幡豆地区	碧南市	刈谷市	安城市	西尾市	知立市
東三河地域	14	東三河山間地区	新城市	北設楽郡			
	15	蒲郡豊川地区	豊川市	蒲郡市	宝飯郡		
	16	豊橋地区	豊橋市	田原市			

調査地点の配分

地域	地区番号	地区名称 (市(区)、郡)	推定母体集団 (20歳以上人口)	調査地点数		標本数 60歳以上
					(補正)	
名古屋地域	1	名古屋市東部地区	449,536	7.6	8	160
	2	名古屋市南東部地区	476,752	8.1	8	160
	3	名古屋市北西部地区	426,680	7.2	7	140
	4	名古屋市南西部地区	470,296	8.0	8	160
西尾張地域	5	海部津島地区	263,419	4.5	4	80
	6	一宮地区	410,707	7.0	7	140
	7	犬山江南地区の一部	162,499	2.8	3	60
東尾張地域	7	犬山江南地区の一部	61,111	1.0	1	20
	8	春日井小牧地区	484,689	8.2	8	160
	9	尾張東部地区	359,294	6.1	6	120
知多地域	10	知多地区	484,826	8.2	8	160
西三河地域	11	豊田加茂地区	376,568	6.4	6	120
	12	岡崎額田地区	323,938	5.5	6	120
	13	衣浦東部幡豆地区	529,391	9.0	9	180
東三河地域	14	東三河山間地区	51,439	0.9	1	20
	15	蒲郡豊川地区	212,620	3.6	4	80
	16	豊橋地区	351,877	6.0	6	120
合計			5,895,642	100	100	2,000

20歳以上人口は20年4月1日現在「市区町村別人口」データより

8) 分析方法

各調査事項について、国で実施した調査との比較を行った。比較した調査は下記の通り。

平成17年度 内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」

- 1 外出状況（外出の頻度）
- 2 外出理由
- 3 外出手段

上記調査の概要

調査対象：全国の60歳以上の男女 3,000人
有効回収数：1,886人（回収率 62.9%）
調査方法：調査員による面接聴取法
抽出方法：層化二段無作為抽出法
調査期間：平成17年12月8日～平成18年1月9日
調査委託機関：社団法人 中央調査社

平成20年度 内閣府「国民生活に関する世論調査」

- 4 老後は誰とどのように暮らすのがよいか

上記調査の概要

調査対象：全国の20歳以上の者 10,000人
有効回収数：6,146人（回収率 61.5%）
調査方法：調査員による個別面接聴取法
抽出方法：層化二段無作為抽出法
調査期間：平成20年6月12日～6月29日
調査委託機関：社団法人 新情報センター

平成17年度 内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」

- 5 日常生活における援助の必要度
- 6 健康について心がけていること
- 7 介護が必要になった場合に介護を期待する人
- 8 生活の収入源
- 9 老後の生活費に対する備え

上記調査の概要

調査対象：全国の60歳以上の男女 1,540人
有効回収数：842人（回収率 54.7%）
調査方法：調査員による面接聴取法
抽出方法：層化二段無作為抽出法
調査期間：平成17年11月～12月
調査委託機関：株式会社 日本リサーチセンター

平成16年度 内閣府「高齢者の日常生活に関する意識調査」

10 日常生活の情報源

上記調査の概要

調査対象：全国の60歳以上の男女 4,000人（260地点）
有効回収数：2,862人（回収率 71.6%）
調査方法：調査員による面接聴取法
抽出方法：層化二段無作為抽出法
調査期間：平成16年11月18日～12月5日
調査委託機関：社団法人 新情報センター

平成 15 年度 内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」

11 参加している活動

12 活動に参加しなかった理由

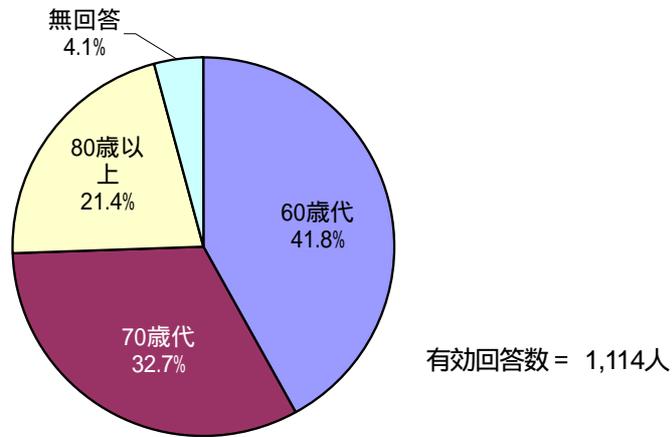
上記調査の概要

調査対象：全国の60歳以上の男女 4,000人
有効回収数：2,860人（回収率 71.5%）
調査方法：調査員による面接聴取法
抽出方法：層化二段無作為抽出法
調査期間：平成15年12月4日～12月23日
調査委託機関：社団法人 中央調査社

(2) 調査対象者の基本属性

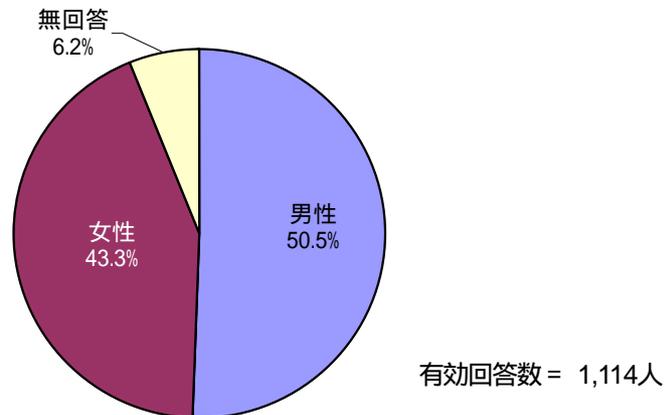
1) 年齢

高齢社会に関する愛知県高齢者調査（回答者）の年齢は、「60歳代」が41.8%、「70歳代」（32.7%）、「80歳以上」（21.4%）となっている。



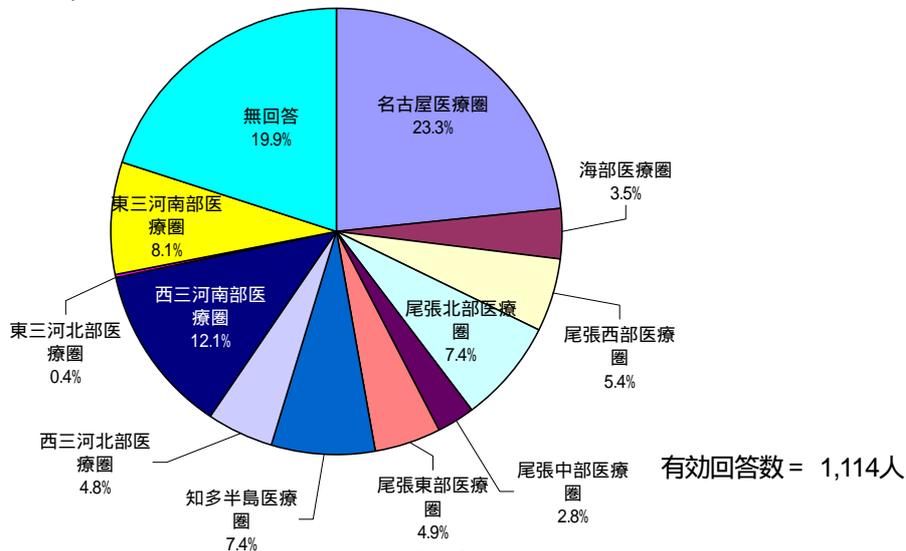
2) 性別

性別は、男性が50.5%、女性が43.3%となっている。



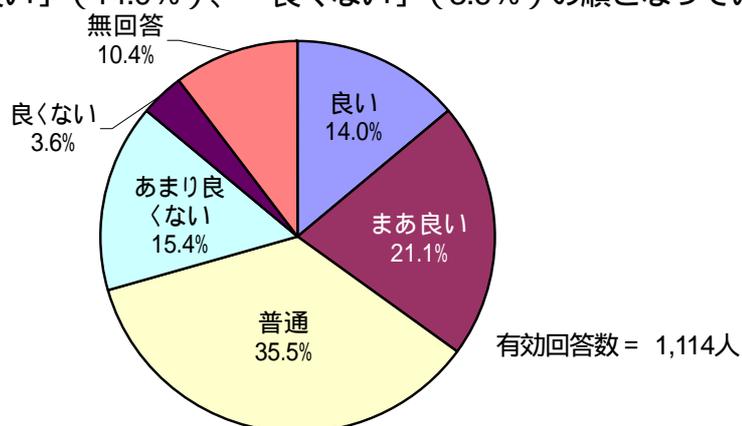
3) お住まいの地域 ¹

お住まいの地域は、「名古屋医療圏」（23.3%）、「海部医療圏」（3.5%）、「尾張西部医療圏」（5.4%）、「尾張北部医療圏」（7.4%）、「尾張中部医療圏」（2.8%）、「尾張東部医療圏」（4.9%）、「知多半島医療圏」（7.4%）をあわせた尾張地域が54.7%、「西三河北部医療圏」（4.8%）、「西三河南部医療圏」（12.1%）、「東三河北部医療圏」（0.4%）、「東三河南部医療圏」（8.1%）を合わせた三河地域が25.4%となっている。



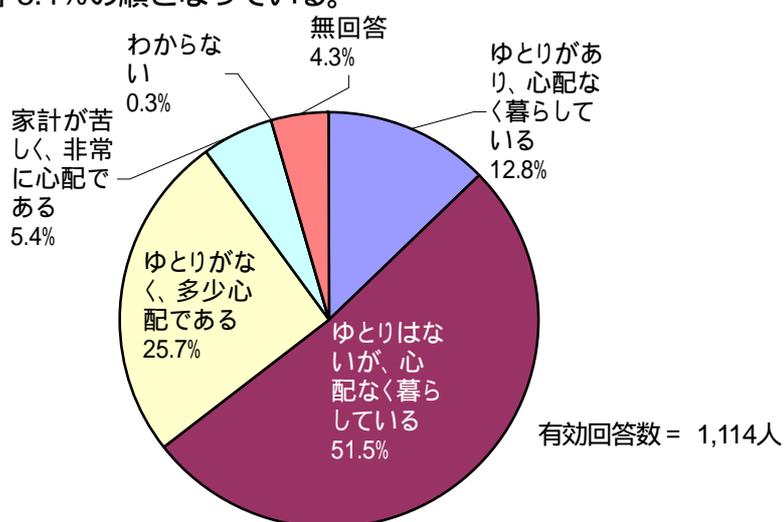
4) 健康状態

健康状態は、「普通」が35.5%、次いで「まあ良い」(21.1%)、「あまり良くない」(15.4%)、「良い」(14.0%)、「良くない」(3.6%)の順となっている。



5) 経済状況

経済状況については、「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」が51.5%と最も多く、次いで「家計にゆとりがなく、多少心配である」が25.7%、「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」12.8%、「家計が苦しく、非常に心配である」5.4%の順となっている。



1 地域区分

今回の調査における地域区分は以下の通りとする。

地域	抽出された市町村
名古屋医療圏	名古屋市 16 区
海部医療圏	津島市、弥富市、甚目寺町、飛島村
尾張西部医療圏	一宮市、稲沢市
尾張北部医療圏	犬山市、江南市、岩倉市、扶桑町、春日井市、小牧市
尾張中部医療圏	清須市、北名古屋市、豊山町
尾張東部医療圏	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町
知多半島医療圏	半田市、常滑市、東海市、知多市、東浦町、南知多町
西三河北部医療圏	豊田市、三好町
西三河南部医療圏	岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、吉良町
東三河北部医療圏	設楽町
東三河南部医療圏	豊川市、蒲郡市、豊橋市、田原市

(3) 調査結果

1) 外出状況(外出の頻度)

問1 あなたはどのくらいの頻度で外出しますか。(は1つ)

- 1 ほとんど毎日外出する(週6日以上外出する)
- 2 週のうち、多くの日に外出する(週4~5日外出する)
- 3 ときどき外出する(週2~3日外出する)
- 4 ほとんど外出しない(外出は週1日以下である)

外出の状況について見ると、「ほとんど毎日外出する」(30.3%)と「週のうち、多くの日に外出する」(23.6%)を合わせた【週4日以上外出する】割合(53.9%)が半数以上を占め、「ときどき外出する」(週2~3日外出する)が29.4%、「ほとんど外出しない」(外出は週1日以下である)が12.7%となっている。

男女別に見ると、「週4日以上外出する」の割合は、男性(62.7%)が女性(48.7%)より高く、反対に「ときどき外出する」および「ほとんど外出しない」の割合は、女性(36.1%、14.3%)が男性(24.5%、12.1%)より高くなっている。

年齢別では、年齢が高くなるほど「週4日以上外出する」の割合は低くなり、「ほとんど外出しない」の割合が高くなっている。

全国と比べると、80歳以上では、愛知県が全国より「週4日以上外出する」割合が5ポイント程度高くなっている。

図1-1 外出状況(外出の頻度)

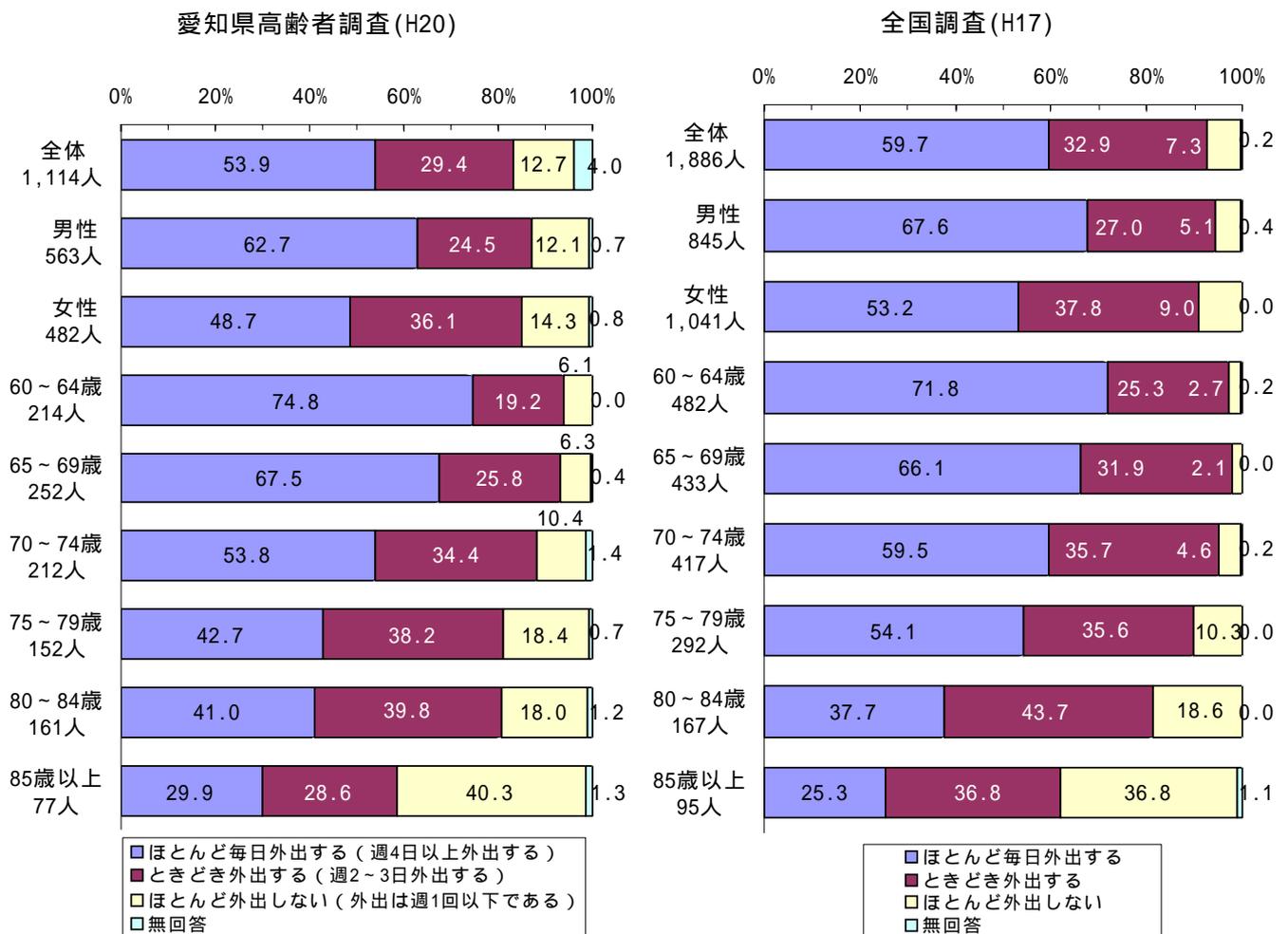
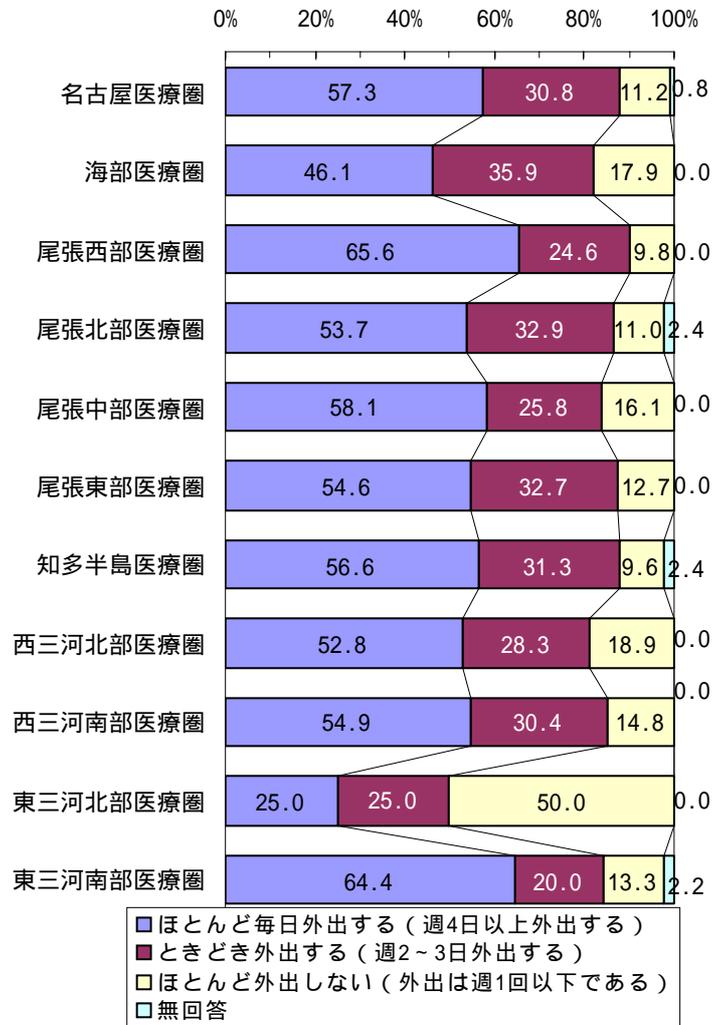


図1-2 外出状況（外出の頻度）：医療圏別

愛知県高齢者調査(H20)



地域別に見ると、東三河北部医療圏においては、「週4日以上外出する」の割合が25%と、他の地域の概ね半分以下であり、「ほとんど外出しない」が50%と、半数を占めている。

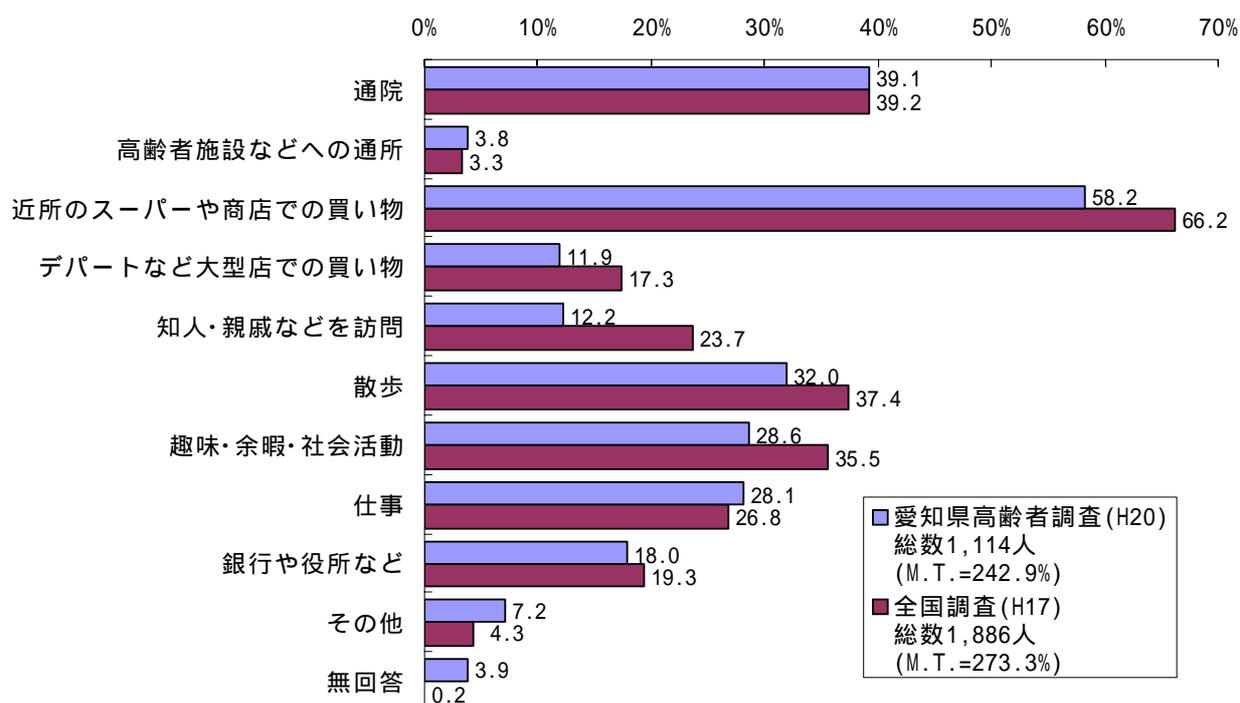
2) 外出理由

問2 あなたが、主に出かけるのはどんな時ですか。(複数回答可)

- 1 通院
- 2 高齢者施設などへの通所
- 3 近所のスーパーや商店での買い物
- 4 デパートなど大型店での買い物
- 5 知人・親戚などを訪問
- 6 散歩
- 7 趣味・余暇・社会活動
- 8 仕事
- 9 銀行や役所など
- 10 その他()

どんな時によく出かけるのかについて見ると、「近所のスーパーや商店での買い物」が58.2%と最も高く、次いで「通院」が39.1%、「散歩」が32.0%、「趣味・余暇・社会活動」が28.6%、「仕事」が28.1%の順となっており、全国とほぼ同様の結果となっている。

図1-3 外出理由



M.T.は複数回答を認める質問に対する回答の比率の合計を示す

男女別に見ると、「通院」（男性 35.0%、女性 46.5%）、「近所のスーパーや商店での買い物」（男性 49.9%、女性 72.6%）、「デパートなどの大型店ででの買い物」（男性 8.7%、女性 17.0%）、「知人・親戚などを訪問」（男性 8.7%、女性 17.6%）および「銀行や役所など」（男性 14.4%、女性 23.2%）は女性の割合が高く、「散歩」（男性 37.3%、女性 28.4%）および「仕事」（男性 39.4%、女性 17.4%）は男性の割合が高い。

年齢別に見ると、75歳以上では「通院」の割合が過半数となっている。

表1-1 外出理由

愛知県高齢者調査(H20)												(%)
	通院	高齢者施設 などへの通 所	近所のスー パーや商店 での買い物	デパートな ど大型店で の買い物	知人・親 戚などを 訪問	散歩	趣味・余 暇・社会 活動	仕事	銀行や役 所など	その他	無回答	(n)
全体	39.1	3.8	58.2	11.9	12.2	32.0	28.6	28.1	18.0	7.2	3.9	1114
性別												
男性	35.0	2.8	49.9	8.7	8.7	37.3	32.0	39.4	14.4	6.7	0.5	563
女性	46.5	5.0	72.6	17.0	17.6	28.4	27.4	17.4	23.2	7.9	0.6	482
未記入	21.7	2.9	24.6	2.9	2.9	13.0	10.1	10.1	10.1	5.8	53.6	69
年代別												
60～64歳	25.7	1.4	55.6	12.1	11.2	26.2	33.6	55.1	12.6	3.3	0.0	214
65～69歳	28.6	1.2	65.5	15.1	16.3	32.5	39.7	37.3	21.0	7.9	0.4	252
70～74歳	40.6	2.8	64.2	13.7	13.7	40.6	33.5	25.0	19.8	8.5	0.0	212
75～79歳	51.3	5.3	62.5	13.2	12.5	32.2	22.4	17.8	25.0	8.6	1.3	152
80～84歳	59.6	7.5	55.9	9.9	8.7	36.0	21.1	8.1	17.4	8.1	1.2	161
85歳以上	59.7	13.0	50.6	2.6	11.7	28.6	9.1	7.8	15.6	9.1	1.3	77
未記入	6.5	0.0	8.7	4.3	0.0	6.5	2.2	4.3	0.0	4.3	80.4	46
居住地域												
名古屋医療圏	43.8	4.6	58.8	16.2	14.6	35.0	34.6	29.2	21.9	6.2	0.4	260
海部医療圏	51.3	5.1	51.3	7.7	12.8	41.0	17.9	30.8	17.9	7.7	0.0	39
尾張西部医療圏	34.4	0.0	75.4	16.4	13.1	41.0	24.6	24.6	14.8	6.6	0.0	61
尾張北部医療圏	40.2	3.7	65.9	9.8	9.8	31.7	24.4	20.7	17.1	11.0	1.2	82
尾張中部医療圏	38.7	0.0	71.0	9.7	9.7	38.7	29.0	16.1	16.1	16.1	0.0	31
尾張東部医療圏	43.6	5.5	69.1	14.5	12.7	21.8	49.1	32.7	34.5	10.9	0.0	55
知多半島医療圏	45.8	3.6	63.9	19.3	13.3	33.7	27.7	27.7	26.5	7.2	1.2	83
西三河北部医療圏	34.0	5.7	56.6	17.0	17.0	15.1	30.2	39.6	9.4	5.7	0.0	53
西三河南部医療圏	35.6	5.2	63.7	5.9	11.9	38.5	27.4	28.1	17.8	9.6	0.0	135
東三河北部医療圏	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	4
東三河南部医療圏	35.6	3.3	55.6	7.8	12.2	38.9	26.7	38.9	12.2	2.2	1.1	90
未記入	33.5	2.7	43.4	8.6	8.6	23.1	22.6	23.5	12.2	5.4	17.6	221
全国調査(H17)												
	通院	高齢者施設 などへの通 所	近所のスー パーや商店 での買い物	デパートな ど大型店で の買い物	知人・親 戚などを 訪問	散歩	趣味・余 暇・社会 活動	仕事	銀行や役 所など	その他	無回答	(n)
総数	39.2	3.3	66.2	17.3	23.7	37.4	35.5	26.8	19.3	4.3	0.2	1886
男女別												
男	34.3	2.7	51.7	14.6	20.4	43.7	38.7	38.7	16.6	3.9	0.5	845
女	43.1	3.7	78.0	19.6	26.4	32.4	32.9	17.1	21.5	4.6	0.0	1041
年齢階級別												
60～64歳	17.8	2.1	68.9	19.5	25.1	32.0	41.7	46.7	21.2	2.5	0.2	482
65～69歳	33.0	2.1	73.0	18.0	22.9	36.0	38.1	31.2	21.0	4.6	0.0	433
70～74歳	46.3	1.7	71.2	21.6	28.1	41.2	37.9	20.1	23.3	3.8	0.0	417
75～79歳	53.4	4.5	56.8	15.8	20.9	44.5	30.8	14.7	14.7	7.2	0.0	292
80～84歳	62.9	6.6	56.3	10.2	22.8	40.1	24.0	9.6	16.8	6.0	1.2	167
85歳以上	58.9	12.6	46.3	2.1	11.6	28.4	16.8	2.1	3.2	2.1	1.1	95

(n) は 100%が何人の回答者数に相当するかを示す

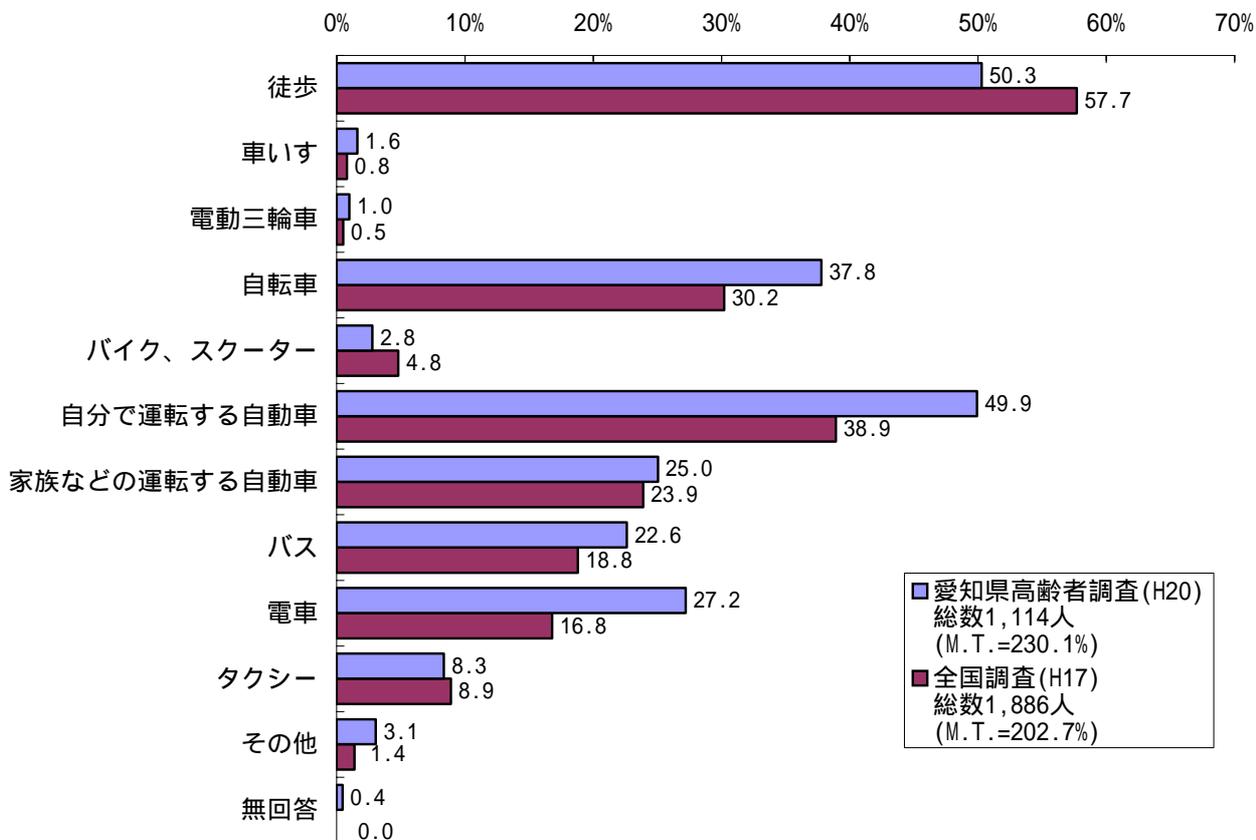
3) 外出手段

問3 あなたが外出する際、利用する手段は何ですか。(複数回答可)

- 1 徒歩
- 2 車いす
- 3 電動三輪車
- 4 自転車
- 5 バイク、スクーター
- 6 自分で運転する自動車
- 7 家族などの運転する自動車
- 8 バス
- 9 電車
- 10 タクシー
- 11 その他()

外出する際に利用する手段を見ると、「徒歩」が 50.3%で最も高く、以下、「自分で運転する自動車」が 49.9%、「自転車」が 37.8%、「電車」が 27.2%、「家族などの運転する自動車」25.0%、「バス」が 22.6%等の順となっている。全国と比較して、愛知県では「自分で運転する自動車」(愛知県 49.9%、全国 38.9%)、「電車」(愛知県 27.2%、全国 16.8%)、「自転車」(愛知県 37.8%、全国 30.2%)の利用が多くなっている。

図1 - 4 外出手段



男女別に見ると、「家族などの運転する自動車」（男性 11.9%、女性 39.6%）、「バス」（男性 18.3%、女性 27.2%）は、女性の割合が高く、「自分で運転する自動車」（男性 70.5%、女性 27.2%）は、男性の割合が高くなっている。

年齢別に見ると、総じて年齢が高くなるほど「家族などの運転する自動車」「タクシー」での移動が多くなり、反対に「自分で運転する自動車」で移動することが少なくなっている。全国でも同様の傾向が見られる。

表1 - 2 外出手段

愛知県高齢者調査(H20)													(%)
	徒歩	車いす	電動三輪車	自転車	バイク、スクーター	自分で運転する自動車	家族などの運転する自動車	バス	電車	タクシー	その他	無回答	(n)
全体	50.3	1.6	1.0	37.8	2.8	49.9	25.0	22.6	27.2	8.3	3.1	0.4	1114
性別													
男性	50.3	1.8	0.9	36.1	2.5	70.5	11.9	18.3	26.3	6.2	2.3	0.4	563
女性	51.9	1.5	1.2	39.0	2.9	27.2	39.6	27.2	28.2	10.4	3.9	0.2	482
未記入	39.1	1.4	0.0	43.5	4.3	40.6	30.4	26.1	27.5	11.6	2.9	2.9	69
年代別													
60～64歳	46.7	0.0	0.0	37.4	4.2	68.7	20.1	15.0	22.0	3.3	1.9	0.5	214
65～69歳	47.2	0.0	0.4	41.7	4.4	61.9	23.4	18.3	27.4	5.2	0.8	0.0	252
70～74歳	55.7	1.4	0.0	42.0	1.4	53.3	20.3	26.4	34.0	6.6	4.7	0.5	212
75～79歳	52.0	1.3	1.3	36.2	3.3	40.8	27.0	33.6	31.6	11.8	2.0	0.0	152
80～84歳	51.6	5.6	2.5	30.4	1.9	29.8	28.0	26.1	27.3	12.4	5.0	0.6	161
85歳以上	51.9	3.9	5.2	29.9	0.0	14.3	44.2	15.6	14.3	19.5	9.1	0.0	77
未記入	45.7	2.2	0.0	43.5	0.0	41.3	30.4	28.3	26.1	13.0	0.0	4.3	46
居住地域													
名古屋医療圏	61.9	1.5	0.4	41.2	1.9	43.1	21.2	47.7	41.9	10.4	6.5	0.4	260
海部医療圏	38.5	2.6	2.6	48.7	2.6	59.0	17.9	7.7	28.2	15.4	2.6	0.0	39
尾張西部医療圏	44.3	0.0	0.0	62.3	4.9	44.3	27.9	14.8	32.8	4.9	1.6	0.0	61
尾張北部医療圏	47.6	2.4	3.7	40.2	1.2	43.9	28.0	15.9	22.0	2.4	1.2	1.2	82
尾張中部医療圏	58.1	0.0	0.0	64.5	0.0	38.7	19.4	19.4	35.5	19.4	0.0	0.0	31
尾張東部医療圏	52.7	1.8	0.0	20.0	1.8	58.2	21.8	21.8	41.8	12.7	1.8	0.0	55
知多半島医療圏	54.2	1.2	2.4	31.3	7.2	51.8	30.1	13.3	22.9	7.2	3.6	0.0	83
西三河北部医療圏	47.2	3.8	0.0	20.8	0.0	58.5	34.0	3.8	15.1	5.7	0.0	1.9	53
西三河南部医療圏	48.9	1.5	0.7	35.6	2.2	53.3	34.8	13.3	16.3	7.4	1.5	0.0	135
東三河北部医療圏	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4
東三河南部医療圏	47.8	1.1	0.0	36.7	6.7	63.3	18.9	10.0	13.3	4.4	4.4	0.0	90
未記入	41.6	1.8	1.4	33.9	2.3	48.9	22.6	20.4	22.6	8.6	1.8	0.9	221
全国調査(H17)													
	徒歩	車いす	電動三輪車	自転車	バイク、スクーター	自分で運転する自動車	家族などの運転する自動車	バス	電車	タクシー	その他		(n)
総数	57.7	0.8	0.5	30.2	4.8	38.9	23.9	18.8	16.8	8.9	1.4		1886
男女別													
男	51.2	0.6	0.5	31.2	5.4	62.8	9.1	14.6	16.3	7.2	0.7		845
女	62.9	1.0	0.5	29.4	4.3	19.4	35.9	22.3	17.1	10.3	2.0		1041
年齢階級別													
60～64歳	49.0	0.2	0.0	31.1	5.0	55.6	22.6	17.8	20.1	4.8	0.6		482
65～69歳	53.8	0.5	0.0	35.1	7.4	47.6	18.0	18.2	18.0	8.1	1.2		433
70～74歳	60.4	0.5	0.2	35.3	3.1	35.5	22.8	20.1	16.3	9.8	1.0		417
75～79歳	65.4	0.0	1.0	28.1	3.8	29.8	21.2	20.5	14.4	10.6	1.7		292
80～84歳	72.5	1.8	1.2	16.2	5.4	13.2	37.1	20.4	14.4	15.0	3.6		167
85歳以上	57.9	7.4	3.2	12.6	2.1	2.1	47.4	12.6	7.4	13.7	4.2		95

4) 老後は誰とどのように暮らすのがよいか

問4 あなたは、一般的に、老後は誰とどのように暮らすのがよいと思いますか。この中からあなたのお考えに最も近いものを1つお答えください。(は1つ)

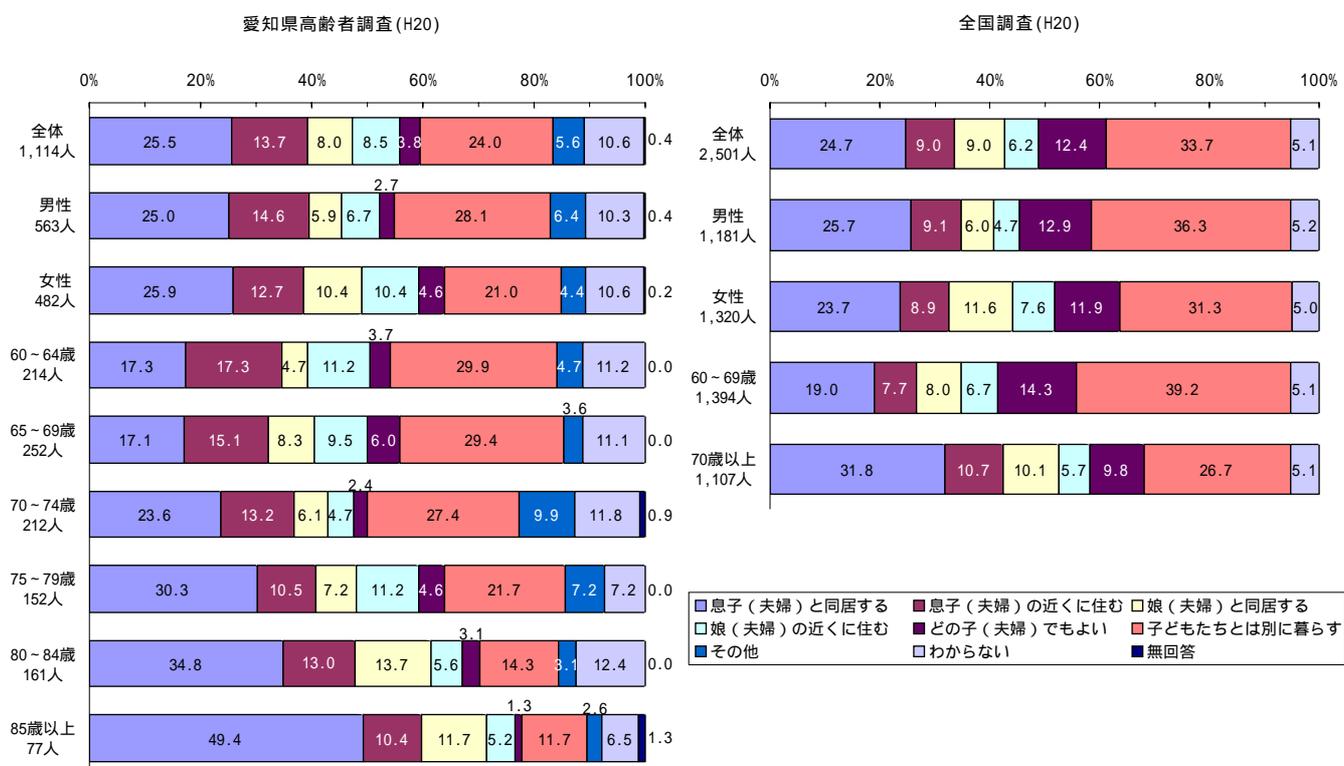
- 1 息子(夫婦)と同居する
- 2 息子(夫婦)の近くに住む
- 3 娘(夫婦)と同居する
- 4 娘(夫婦)の近くに住む
- 5 どの子(夫婦)でもよい
- 6 子どもたちとは別に暮らす
- 7 その他
- 8 分からない

老後は誰とどのように暮らすのがよいかについて見ると、「息子(夫婦)と同居する」が25.5%で最も高く、次いで「子どもたちとは別に暮らす」が24.0%、「息子(夫婦)の近くに住む」が13.7%、「娘(夫婦)の近くに住む」が8.5%、「娘(夫婦)と同居する」が8.0%、「どの子(夫婦)でもよい」が3.8%の順となっている。

愛知県では、「どの子(夫婦)でもよい」(愛知県3.8%、全国12.4%)、「子どもたちとは別に暮らす」(愛知県24.0%、全国33.7%)と回答した人の割合が全国より低くなっている。

年齢が高くなるほど「息子(夫婦)と同居する」の割合が高く、逆に年齢が低くなるほど「子どもたちとは別に暮らす」の割合が高くなっている。

図1-5 老後は誰とどのように暮らすのがよいか



5) 日常生活における援助の必要度

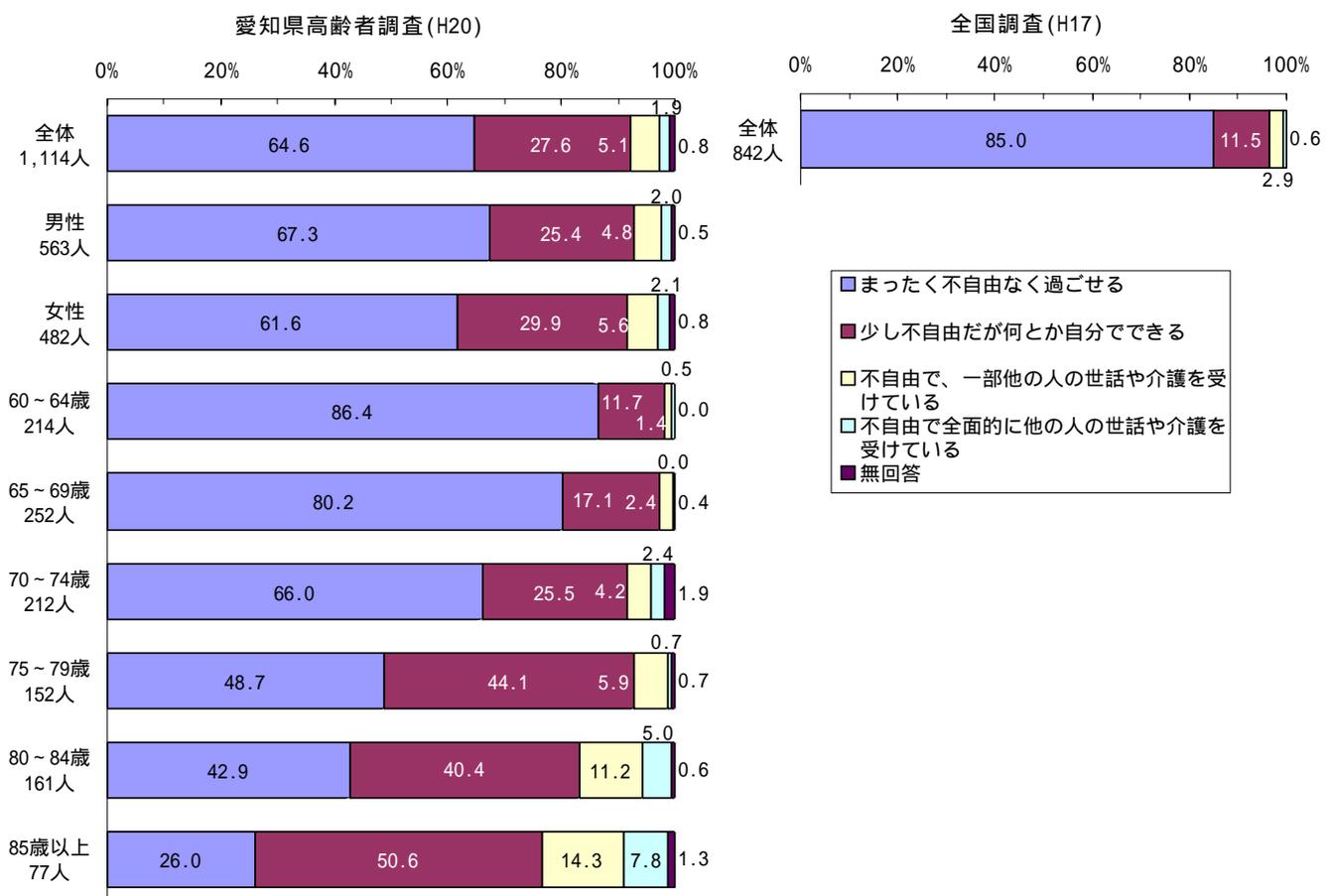
問5 あなたは、日常生活を送る上で誰かの援助が必要ですか。(は1つ)

- 1 まったく不自由なく過ごせる
- 2 少し不自由だが何とか自分ができる
- 3 不自由で、一部ほかの人の世話や介護を受けている
- 4 不自由で、全面的にほかの人の世話や介護を受けている

日常生活における援助の必要度について見ると、「まったく不自由なく過ごせる」(64.6%)、「少し不自由だが何とか自分ができる」(27.6%)、「不自由で、一部他の人の世話や介護を受けている」(5.1%)、「不自由で全面的に他の人の世話や介護を受けている」(1.9%)の順となっている。

「まったく不自由なく過ごせる」(愛知県64.6%、全国85.0%)は全国のほうが愛知県よりも20ポイント以上高く、「少し不自由だが何とか自分ができる」(愛知県27.6%、全国11.5%)は愛知県が全国よりも15ポイント以上高くなっている。

図1-6 日常生活における援助の必要度



男女別に見ると、「まったく不自由なく過ごせる」(男性67.3%、女性61.6%)で男性の割合が高く、「少し不自由だが何とか自分ができる」(男性25.4%、女性29.9%)で女性の割合が高くなっている。

年齢別に見ると、年齢が高くなるほど援助を必要とする割合が高くなる傾向にある。

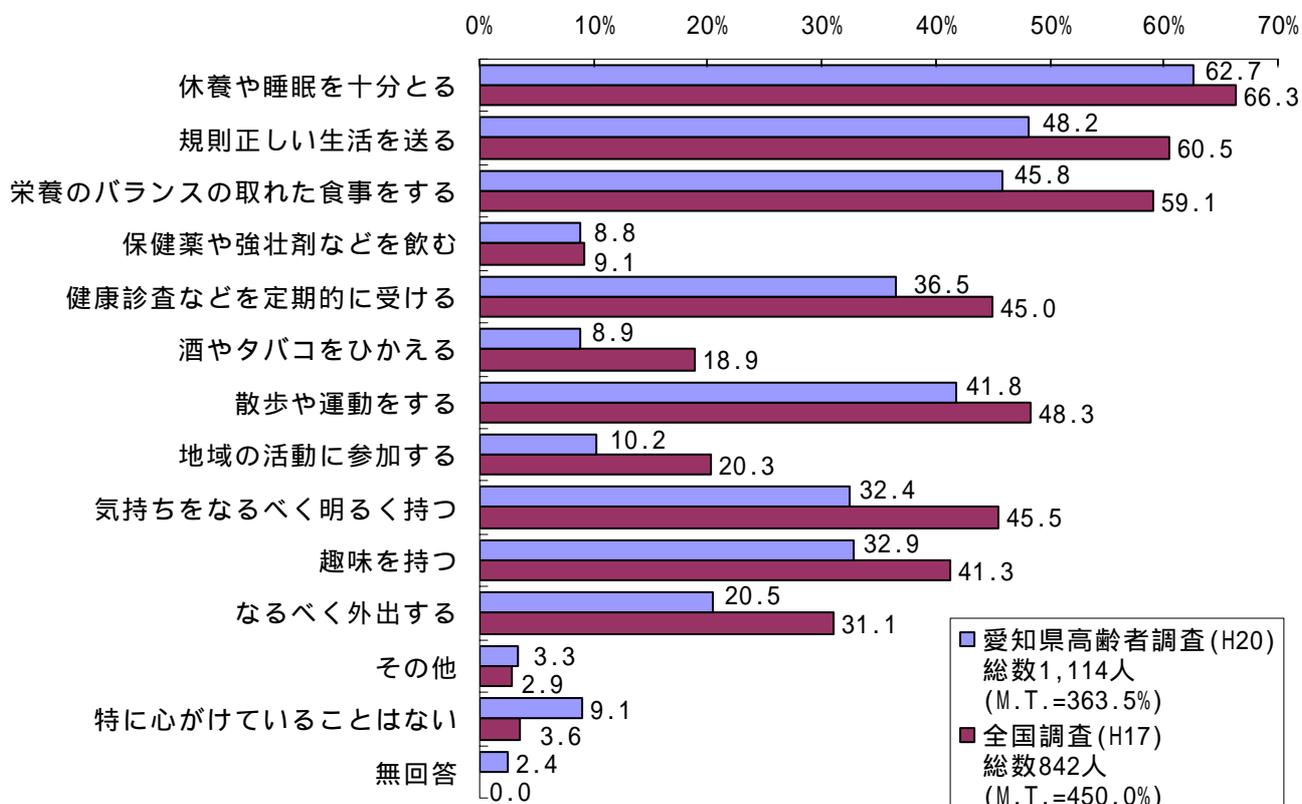
6) 健康について心がけていること

問6 あなたは、日頃ご自分の健康についてどんなことを心がけていますか。(複数回答可)

- 1 休養や睡眠を十分とる
- 2 規則正しい生活を送る
- 3 栄養のバランスのとれた食事をする
- 4 保健薬や強壮剤などを飲む
- 5 健康診査などを定期的に受ける
- 6 酒やタバコをひかえる
- 7 散歩や運動をする
- 8 地域の活動に参加する
- 9 気持ちをなるべく明るく持つ
- 10 趣味を持つ
- 11 なるべく外出する
- 12 その他(具体的に)
- 13 特に心がけていることはない

健康について心がけていることについて見ると、「休養や睡眠を十分とる」62.7%、次いで、「規則正しい生活を送る」48.2%、「栄養のバランスの取れた食事をする」45.8%、「散歩や運動をする」41.8%、「健康診査などを定期的に受ける」36.5%、「趣味を持つ」32.9%、「気持ちをなるべく明るく持つ」32.4%の順となっている。全国でも心がけていることの多い順序は概ね同様であるが、すべての項目で愛知県よりも全国調査の方が、高い割合となっている。

図1-7 健康について心がけていること



男女別に見ると、「栄養のバランスの取れた食事をする」（男性 43.3%、女性 51.0%）、「気持ちをなるべく明るく持つ」（男性 23.4%、女性 45.0%）で女性の割合が高く、「酒やタバコを控える」（男性 13.5%、女性 4.4%）、「散歩や運動をする」（男性 47.4%、女性 38.0%）で男性の割合が高くなっている。

表1-3 健康について心がけていること

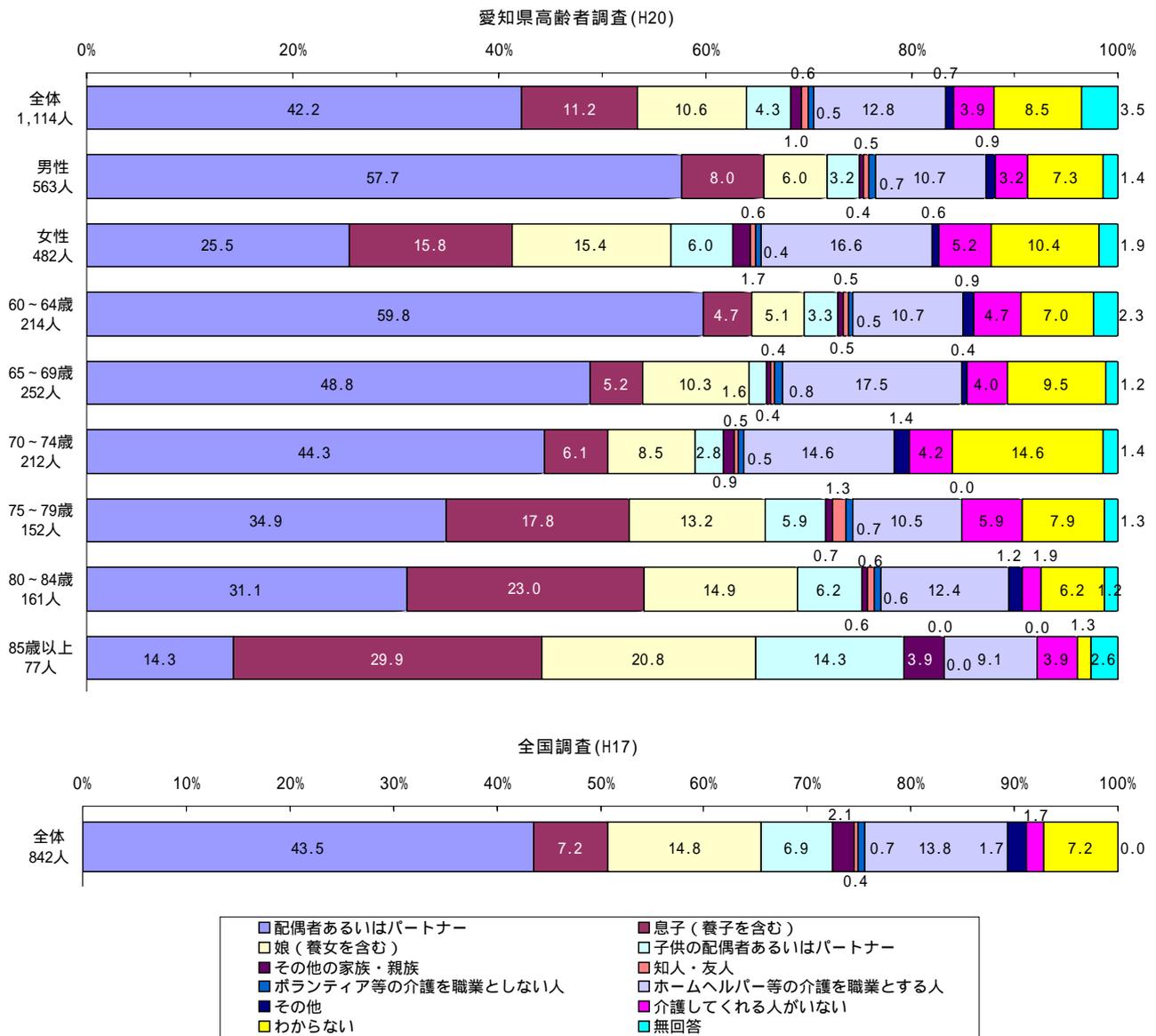
愛知県高齢者調査(H20)														(%)	
	休養や睡眠を十分とる	規則正しい生活を送る	栄養のバランスの取れた食事をする	保健薬や強壮剤などを飲む	健康診査などを定期的に受ける	酒やタバコをひかえる	散歩や運動をする	地域の活動に参加する	気持ちをなるべく明るく持つ	趣味を持つ	なるべく外出する	その他	特に心がけていることはない	無回答	(n)
全体	62.7	48.2	45.8	8.8	36.5	8.9	41.8	10.2	32.4	32.9	20.5	3.3	9.1	2.4	1114
性別															
男性	64.8	46.9	43.3	8.3	37.7	13.5	47.4	11.9	23.4	33.7	19.5	2.8	9.8	0.4	563
女性	63.7	51.7	51.0	9.8	37.3	4.4	38.0	8.7	45.0	33.6	22.4	3.7	7.1	0.8	482
未記入	37.7	34.8	29.0	5.8	21.7	2.9	23.2	7.2	17.4	20.3	14.5	4.3	17.4	30.4	69
年代別															
60～64歳	63.1	50.5	46.7	2.3	30.8	11.7	45.8	7.5	29.9	39.3	15.9	0.0	9.8	0.9	214
65～69歳	62.3	54.4	49.6	11.1	40.5	9.9	45.2	13.5	39.7	41.7	25.8	2.0	8.7	0.0	252
70～74歳	67.0	50.9	55.2	7.5	45.3	8.5	48.1	11.3	32.5	36.8	26.4	3.3	6.6	0.5	212
75～79歳	67.8	48.7	45.4	9.9	38.2	8.6	36.2	9.2	34.2	28.3	19.1	8.6	9.2	0.7	152
80～84歳	62.1	42.9	39.8	12.4	31.1	8.7	39.8	9.9	31.7	24.8	18.6	2.5	8.7	1.2	161
85歳以上	58.4	35.1	31.2	14.3	33.8	3.9	33.8	7.8	23.4	15.6	13.0	7.8	16.9	0.0	77
未記入	34.8	30.4	23.9	6.5	19.6	2.2	15.2	8.7	15.2	8.7	8.7	4.3	6.5	45.7	46

7) 介護が必要になった場合に介護を期待する人

問7 もし、あなたの身体が虚弱になり、在宅で生活するうえで誰かの介護が必要になった場合に、主にごどのような方に介護してもらうことになると思いますか。現在、介護を受けていらっしゃる方は、どの方に介護してもらっているのかお知らせください。(は1つ)

- 1 配偶者あるいはパートナー
- 2 息子(養子を含む)
- 3 娘(養女を含む)
- 4 子供の配偶者あるいはパートナー
- 5 その他の家族・親族
- 6 知人・友人
- 7 ボランティア等の介護を職業としない人
- 8 ホームヘルパー等の介護を職業とする人
- 9 その他(具体的に)
- 10 介護してくれる人がいない
- 11 わからない

図1-8 介護が必要になった場合に介護を期待する人



介護が必要になった場合に介護を期待する人について見ると、「配偶者あるいはパートナー」は42.2%で最も多く、次いで「ホームヘルパーなどの介護を職業とする人」12.8%、「息子（養子を含む）」11.2%、「娘（養女を含む）」10.6%となっている。

全国と比較すると、「息子（養子を含む）」（愛知県 11.2%、全国 7.2%）は愛知県が全国より高く、「娘（養女を含む）」（愛知県 10.6%、全国 14.8%）は全国が高くなっている。

男女別に見ると、「配偶者あるいはパートナー」（男性 57.7%、女性 25.5%）は男性の割合が高く、女性の2倍以上となっている。一方、「息子（養子を含む）」（男性 8.0%、女性 15.8%）、「娘（養女を含む）」（男性 6.0%、女性 15.4%）、「ホームヘルパーなどの介護を職業とする人」（男性 10.7%、女性 16.6%）では女性の割合が高い。

年齢別に見ると、年齢が上がるにつれ、「配偶者あるいはパートナー」と回答する割合が小さくなり、「息子（養子を含む）」、「娘（養女を含む）」、「子どもの配偶者あるいはパートナー」の割合が高くなっている。

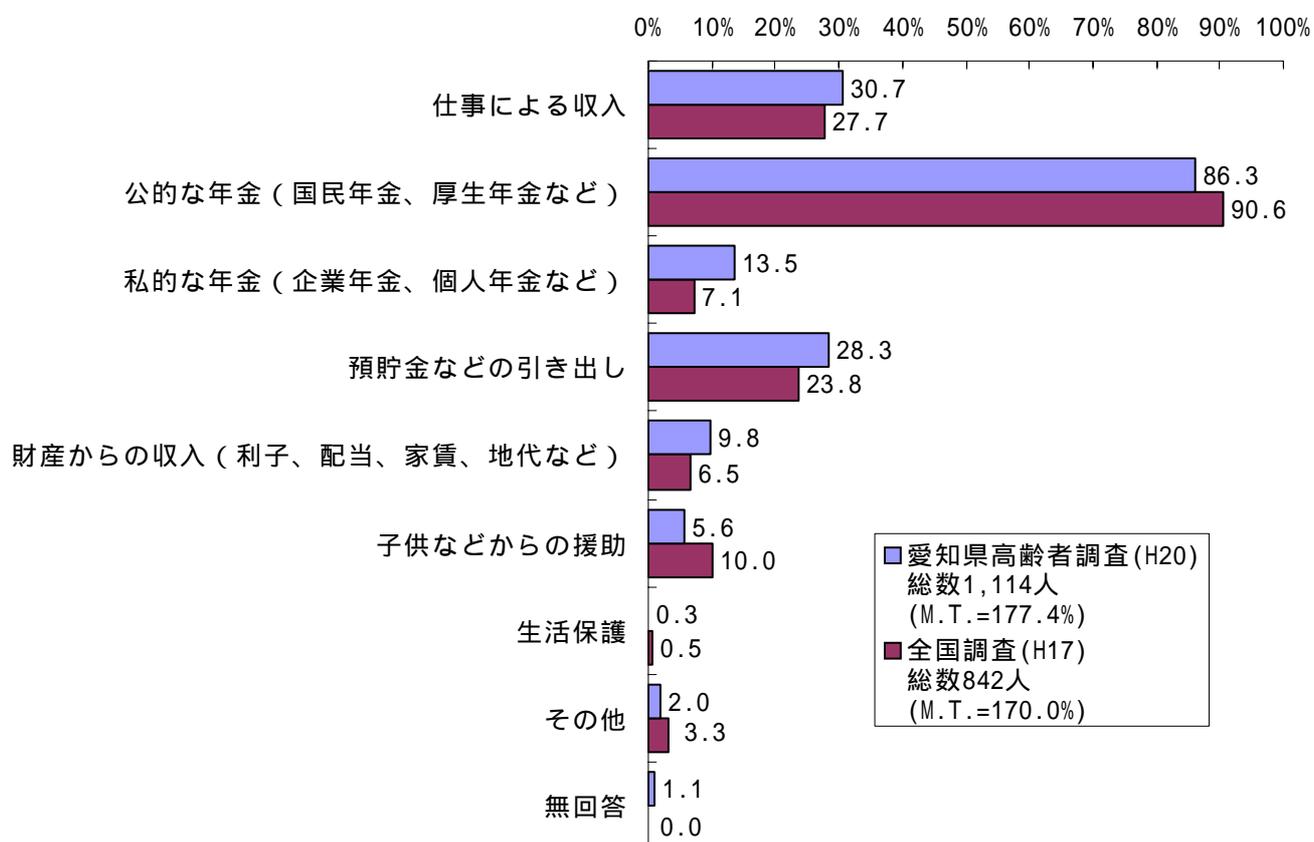
8) 生活の収入源

問8 あなたは、現在ご自分の生活費を何でまかなっていますか。あてはまるものをすべてあげてください。(複数回答可)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 仕事による収入 |
| 2 | 公的な年金(国民年金、厚生年金など) |
| 3 | 私的な年金(企業年金、個人年金など) |
| 4 | 預貯金などの引き出し |
| 5 | 財産からの収入(利子、配当金、家賃、地代など) |
| 6 | 子供などからの援助 |
| 7 | 生活保護 |
| 8 | その他(具体的に) |

生活の収入源について見ると、「公的な年金(国民年金、厚生年金など)」86.3%が最も多く、次いで「仕事による収入」30.7%、「預貯金などの引き出し」28.3%、「私的な年金(企業年金、個人年金など)」13.5%、「財産からの収入(利子、配当、家賃、地代など)」9.8%、「子どもなどからの援助」5.6%、「生活保護」0.3%の順となっている。全国と比較すると、愛知県では「公的な年金」(愛知県86.3%、全国90.6%)、「子供などからの援助」(愛知県5.6%、全国10.0%)と回答した人の割合が全国より低く、「私的な年金」(愛知県13.5%、全国7.1%)、「預貯金などの引き出し」(愛知県28.3%、全国23.8%)、「財産からの収入」(愛知県9.8%、全国6.5%)、「仕事による収入」(愛知県30.7%、全国27.7%)と回答した人の割合が全国より高い。

図1 - 9 生活の収入源



男女別で見ると、「仕事による収入」（男性 38.0%、女性 23.4%）、「財産からの収入」（男性 13.0%、女性 7.1%）は男性の割合が高く、「公的な年金」（男性 84.2%、女性 89.4%）は、女性の方が割合が高い。「仕事による収入」は、年齢が高くなるほど割合が低くなっている。

表 1 - 4 生活の収入源

愛知県高齢者調査(H20)										(%)
	仕事による収入	公的な年金 (国民年金、厚生年金など)	私的な年金 (企業年金、個人年金など)	預貯金などの引き出し	財産からの収入(利子、配当、家賃、地代など)	子供などからの援助	生活保護	その他	無回答	(n)
全体	30.7	86.3	13.5	28.3	9.8	5.6	0.3	2.0	1.1	1114
性別										
男性	38.0	84.2	14.0	26.3	13.0	3.9	0.4	1.2	0.4	563
女性	23.4	89.4	12.9	30.3	7.1	8.1	0.0	2.9	1.2	482
未記入	21.7	81.2	13.0	30.4	2.9	1.4	1.4	1.4	5.8	69
年代別										
60～64歳	62.6	63.6	13.6	30.4	3.3	4.7	0.5	1.9	0.0	214
65～69歳	44.0	92.1	23.8	22.6	10.3	3.2	0.0	2.8	0.4	252
70～74歳	25.5	92.9	14.2	28.8	10.4	5.2	0.5	1.9	0.9	212
75～79歳	12.5	94.1	6.6	32.9	14.5	8.6	0.0	2.0	0.7	152
80～84歳	8.1	91.3	8.1	26.1	14.3	5.0	0.0	1.9	1.9	161
85歳以上	1.3	89.6	3.9	32.5	10.4	14.3	0.0	1.3	2.6	77
未記入	21.7	80.4	10.9	32.6	2.2	2.2	2.2	0.0	6.5	46

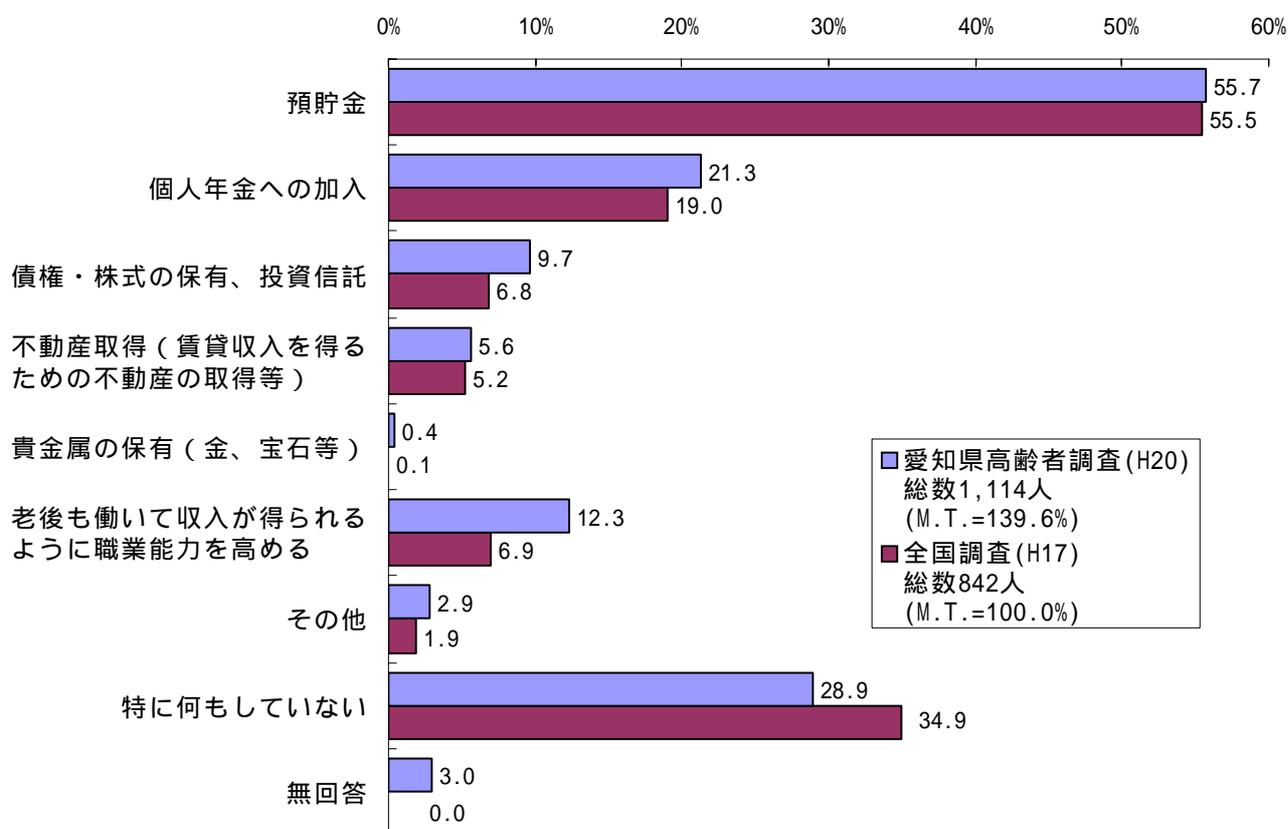
9) 老後の生活費に対する備え

問9 あなた（あなたたちご夫婦）は、50歳代までに、老後の経済生活に備えて特に何かしていましたか。（複数回答可）

- 1 預貯金
- 2 個人年金への加入
- 3 債権・株式の保有、投資信託
- 4 不動産取得（賃貸収入を得るための不動産の取得等）
- 5 貴金属の保有（金、宝石等）
- 6 老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める
- 7 その他
- 8 特に何もしてない

老後の生活費に対する備えについて見ると、半数以上の人々が「預貯金」（55.7%）と回答している。これは全国（55.5%）とも同様な結果となっている。次いで、「特に何もしていない」が28.9%、「個人年金への加入」が21.3%、「老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める」が12.3%、「債権・株式の保有、投資信託」が9.7%、「不動産取得（賃貸収入を得るための不動産の取得等）」が5.6%の順になっており、全国もほぼ同様の結果となっている。

図1 - 10 老後の生活費に対する備え



男女別で見ると、「老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める」（男性 15.6%、女性 8.1%）、で男性の割合が極めて高くなっている。

表 1 - 5 老後の生活費に対する備え

愛知県高齢者調査(H20)

(%)

	預貯金	個人年金への加入	債権・株式の保有、投資信託	不動産取得(賃貸収入を得るための不動産の取得等)	貴金属の保有(金、宝石等)	老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める	その他	特に何もしていない	無回答	(n)
全体	55.7	21.3	9.7	5.6	0.4	12.3	2.9	28.9	3.0	1114
性別										
男性	57.2	21.8	11.2	7.5	0.2	15.6	2.7	28.4	1.2	563
女性	53.9	20.5	8.3	3.7	0.6	8.1	3.3	29.9	4.6	482
未記入	55.1	21.7	7.2	2.9	0.0	14.5	1.4	26.1	5.8	69
年代別										
60～64歳	55.6	25.7	7.9	2.8	0.0	12.1	2.3	34.1	0.9	214
65～69歳	54.4	29.8	10.3	4.0	0.4	16.3	4.8	26.6	2.4	252
70～74歳	58.0	21.2	9.9	7.1	0.9	11.8	3.8	26.4	2.8	212
75～79歳	58.6	10.5	11.2	5.3	0.7	9.9	2.0	29.6	3.3	152
80～84歳	53.4	14.9	9.3	9.3	0.0	9.3	1.9	28.6	4.3	161
85歳以上	50.6	14.3	13.0	9.1	0.0	7.8	0.0	31.2	5.2	77
未記入	58.7	23.9	4.3	2.2	0.0	19.6	2.2	23.9	6.5	46

10) 日常生活の情報源

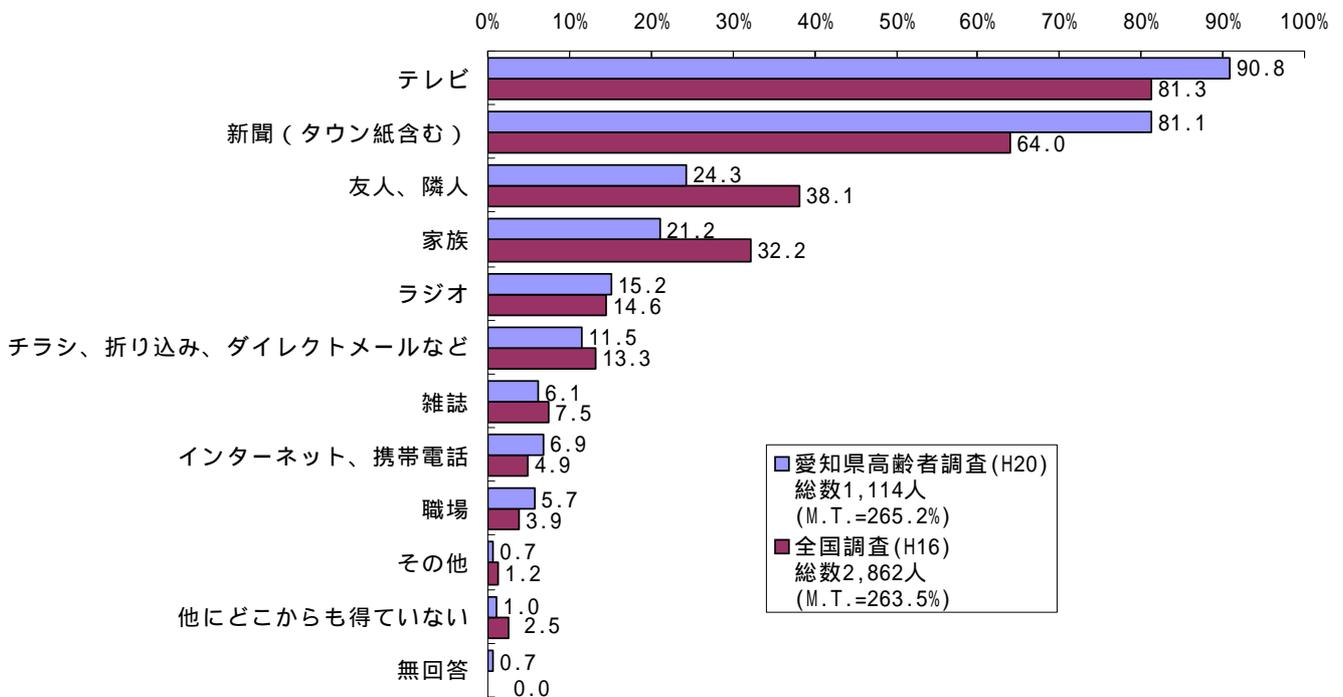
問10 あなたは、日常生活に関する情報をどこから得ていますか。この中から、主なものをあげてください。(は3つまで)

- 1 テレビ
- 2 新聞(タウン紙を含む)
- 3 友人、隣人
- 4 家族
- 5 ラジオ
- 6 チラシ、折り込み、ダイレクトメールなど
- 7 雑誌
- 8 インターネット、携帯電話
- 9 職場
- 10 その他()
- 11 他にどこからも得ていない

日常生活の情報源について見ると、「テレビ」90.8%、「新聞(タウン紙を含む)」81.1%が多く、次いで「友人、隣人」24.3%、「家族」21.2%、「ラジオ」15.2%、「チラシ、折り込み、ダイレクトメールなど」11.5%、「インターネット、携帯電話」6.9%、「雑誌」6.1%、「職場」5.7%の順となっている。

全国の結果と比較すると、「新聞」(愛知県 81.1%、全国 64.0%)、「テレビ」(愛知県 90.8%、全国 81.3%)で愛知県が全国より高い割合となっており、「友人、隣人」(愛知県 24.3%、全国 38.1%)、「家族」(愛知県 21.2%、全国 32.2%)では全国の割合が高くなっている。

図 1 - 11 日常生活の情報源



男女別に見ると、「新聞」（男性 85.4%、女性 77.0%）、「インターネット、携帯電話」（男性 10.7%、女性 2.9%）、「職場」（男性 8.3%、2.7%）で男性の割合が女性よりも高くなっている。「友人、隣人」（男性 20.1%、女性 29.5%）、「家族」（男性 15.6%、女性 27.8%）、「ラジオ」（男性 12.3%、女性 17.8%）で女性の割合が男性よりも高くなっている。

全国と比較すると、男性は「新聞」（愛知県 85.4%、全国 74.7%）の割合が全国より高く、「家族」（愛知県 15.6%、全国 28.3%）は全国が高くなっている。女性は「新聞」（愛知県 77.0%、全国 54.8%）、「テレビ」（愛知県 90.0%、全国 79.0%）の割合が全国より高くなっている。

年齢別に見ると、総じて「新聞」から情報を得る割合が年齢が上がるほど低くなっており、「家族」から情報を得る割合が年齢が上がるほど高くなっている。全国においても同様の傾向が見られる。

表 1 - 6 日常生活の情報源

	テレビ	新聞(タウン紙含む)	友人、隣人	家族	ラジオ	チラシ、折り込み、ダイレクトメールなど	雑誌	インターネット、携帯電話	職場	その他	他にどこからも得ていない	無回答	(%)
全体	90.8	81.1	24.3	21.2	15.2	11.5	6.1	6.9	5.7	0.7	1.0	0.7	(n) 1114
性別													
男性	91.8	85.4	20.1	15.6	12.3	10.3	7.8	10.7	8.3	0.7	0.9	0.7	563
女性	90.0	77.0	29.5	27.8	17.8	12.4	4.4	2.9	2.7	0.6	1.0	0.6	482
未記入	87.0	75.4	23.2	20.3	20.3	14.5	4.3	4.3	4.3	1.4	1.4	1.4	69
年代別													
60～64歳	92.1	92.1	22.9	15.4	16.4	14.5	4.2	8.4	10.3	0.5	0.0	0.0	214
65～69歳	92.5	80.6	28.2	18.7	15.5	9.9	5.6	12.3	10.7	0.4	0.8	0.8	252
70～74歳	92.5	81.6	26.4	16.5	16.5	14.2	9.9	8.0	3.3	0.9	0.9	0.9	212
75～79歳	90.8	79.6	21.1	26.3	14.5	12.5	5.3	3.9	2.6	0.7	2.0	0.0	152
80～84歳	85.7	75.2	24.8	30.4	11.8	8.7	7.5	2.5	0.0	0.0	1.2	0.6	161
85歳以上	87.0	70.1	15.6	28.6	13.0	5.2	3.9	0.0	1.3	2.6	2.6	2.6	77
未記入	91.3	76.1	23.9	21.7	19.6	10.9	2.2	2.2	4.3	2.2	0.0	2.2	46

	テレビ	新聞(タウン紙含む)	友人、隣人	家族	ラジオ	チラシ、折り込み、ダイレクトメールなど	雑誌	インターネット、携帯電話	職場	その他	他にどこからも得ていない	無回答	(%)
全体	81.3	64.0	38.1	32.2	14.6	13.3	7.5	4.9	3.9	1.2	2.5		(n) 2862
性別													
男性	84.0	74.7	29.1	28.3	16.0	10.3	8.9	8.0	5.6	0.9	2.1		1329
女性	79.0	54.8	45.9	35.6	13.4	15.9	6.3	2.2	2.5	1.4	2.8		1533
年代別													
60～64歳	83.6	72.4	40.6	29.9	16.7	13.9	11.1	9.8	8.8	1.0	1.8		785
65～69歳	83.8	66.0	36.3	30.5	15.4	16.2	7.9	5.3	3.8	0.8	1.6		735
70～74歳	80.0	60.4	42.0	32.4	14.1	12.0	6.4	2.4	1.9	1.0	3.1		669
75～79歳	79.8	60.4	37.6	33.9	11.7	12.7	3.9	1.6	0.5	2.1	2.1		386
80～84歳	76.7	52.4	29.1	36.9	12.6	9.2	5.8	0.5	0.5	1.5	4.4		206
85歳以上	67.9	43.2	22.2	46.9	9.9	6.2	-	1.2	-	1.2	8.6		81

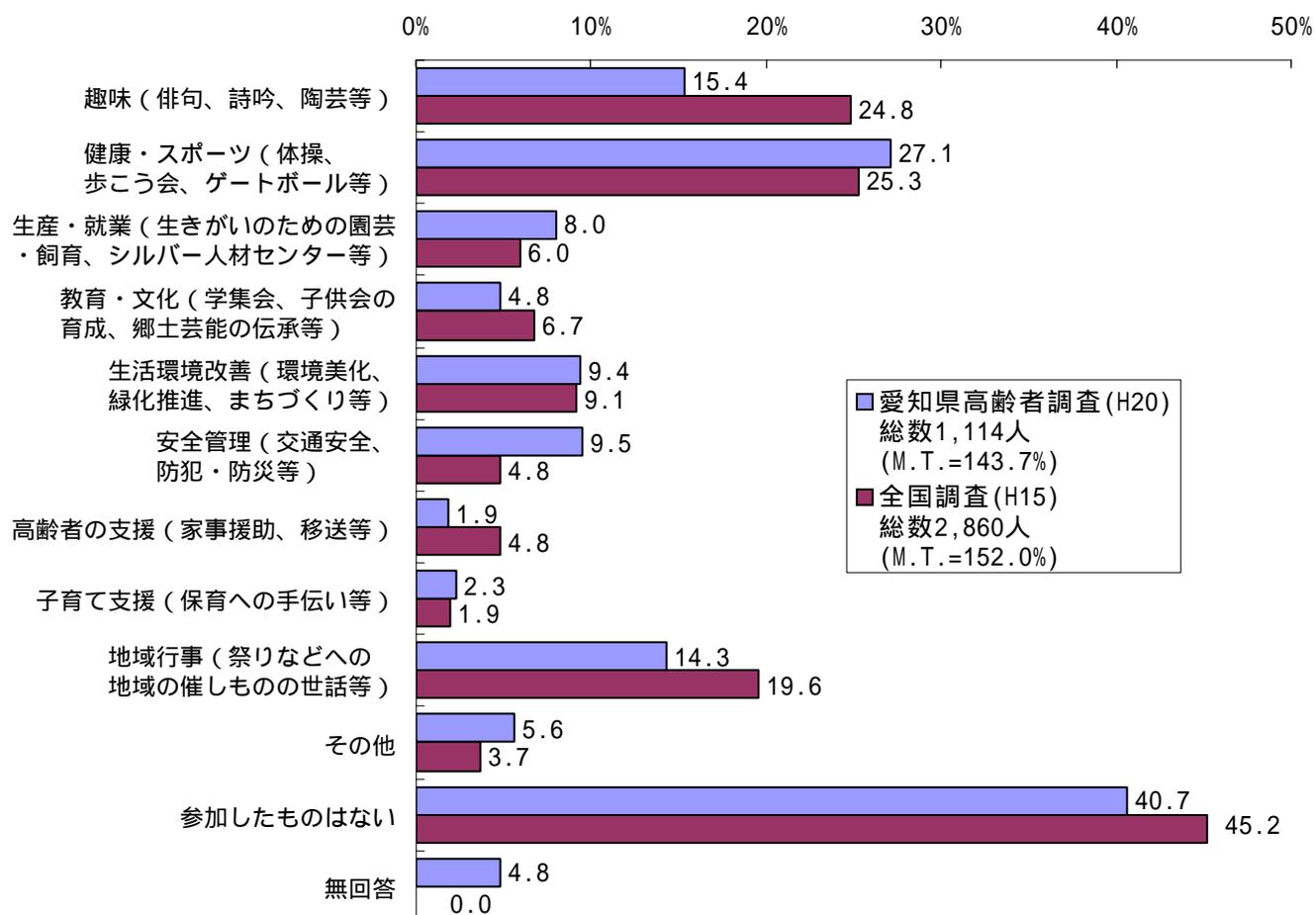
11) 参加している活動

問11 あなたは、この1年間に、個人または友人と、あるいはグループや団体で自主的に行われている次のような活動に参加したことがありますか。(複数回答可)

- 1 趣味(俳句、詩吟、陶芸等)
- 2 健康・スポーツ(体操、歩こう会、ゲートボール等)
- 3 生産・就業(生きがいのための園芸・飼育、シルバー人材センター等)
- 4 教育・文化(学集会、子供会の育成、郷土芸能の伝承)
- 5 生活環境改善(環境美化、緑化推進、まちづくり等)
- 6 安全管理(交通安全、防犯・防災等)
- 7 高齢者の支援(家事援助、移送等)
- 8 子育て支援(保育への手伝い等)
- 9 地域行事(祭りなどの地域の催しもの世話等)
- 10 その他
- 11 参加したものはない 問12へ

参加している活動について見ると、「参加したものはない」が40.7%で最も多く、次いで、「健康・スポーツ(体操、歩こう会、ゲートボール等)」27.1%、「趣味(俳句、詩吟、陶芸等)」15.4%、「地域行事(祭りなどの地域の催しもの世話等)」14.3%の順となっている。全国でも同様の順となっているが、「趣味(俳句、詩吟、陶芸等)」では、愛知県の高齢者の15.4%に対し、全国では24.8%と高い値となっている。

図1-12 参加している活動



男女別に見ると、「地域行事（祭りなどの地域の催しもの世話等）」（男性 19.0%、女性 9.1%）、「安全管理（交通安全、防犯・防災等）」（男性 13.0%、女性 5.8%）、「健康・スポーツ（体操、歩こう会、ゲートボール等）」（男性 29.5%、女性 24.3%）で男性の割合が女性の割合よりも高く、「参加したものはなし」（男性 38.4%、女性 45.6%）では女性の割合が高くなっている。

年齢別に見ると、年齢が高くなるほど「参加したものはなし」の回答が高くなっている。全国結果においても同様の結果となっている。

表1-7 参加している活動

愛知県高齢者調査(H20)												(%)	
	趣味(俳句、詩吟、陶芸等)	健康・スポーツ(体操、歩こう会、ゲートボール等)	生産・就業(生きがいのための園芸・飼育、シルバー人材センター等)	教育・文化(学集會、子供会の育成、郷土芸能の伝承等)	生活環境改善(環境美化、緑化推進、まちづくり等)	安全管理(交通安全、防犯・防災等)	高齢者の支援(家事援助、移送等)	子育て支援(保育への手伝い等)	地域行事(祭りなどへの地域の催しもの世話等)	その他	参加したものはなし	無回答	
全体	15.4	27.1	8.0	4.8	9.4	9.5	1.9	2.3	14.3	5.6	40.7	4.8	(n) 1114
性別													
男性	14.9	29.5	8.9	5.3	11.9	13.0	0.7	1.4	19.0	5.9	38.4	2.3	563
女性	16.8	24.3	7.9	4.6	7.1	5.8	3.5	3.3	9.1	6.0	45.6	3.7	482
未記入	8.7	27.5	1.4	2.9	5.8	7.2	0.0	2.9	11.6	0.0	24.6	31.9	69
年代別													
60～64歳	13.1	27.6	7.0	5.1	12.1	11.2	3.3	1.9	15.4	3.3	42.5	1.4	214
65～69歳	15.1	33.7	9.1	4.4	9.1	10.3	1.6	6.0	17.9	6.0	37.7	2.0	252
70～74歳	15.1	26.4	11.3	7.5	9.4	12.3	2.4	2.4	18.9	7.1	36.8	2.8	212
75～79歳	19.1	25.7	6.6	5.3	9.9	7.9	0.7	0.0	11.8	5.9	40.1	5.3	152
80～84歳	21.1	24.8	8.1	3.7	8.1	7.5	1.9	0.0	7.5	8.1	47.2	2.5	161
85歳以上	10.4	14.3	3.9	1.3	7.8	5.2	1.3	1.3	7.8	3.9	58.4	6.5	77
未記入	4.3	26.1	2.2	2.2	4.3	4.3	0.0	2.2	10.9	0.0	15.2	47.8	46

全国調査(H15)												(%)	
	趣味(俳句、詩吟、陶芸等)	健康・スポーツ(体操、歩こう会、ゲートボール等)	生産・就業(生きがいのための園芸・飼育、シルバー人材センター等)	教育・文化(学集會、子供会の育成、郷土芸能の伝承等)	生活環境改善(環境美化、緑化推進、まちづくり等)	安全管理(交通安全、防犯・防災等)	高齢者の支援(家事援助、移送等)	子育て支援(保育への手伝い等)	地域行事(祭りなどへの地域の催しもの世話等)	その他	参加したものはなし	無回答	
全体	24.8	25.3	6.0	6.7	9.1	4.8	4.8	1.9	19.6	3.7	45.2		(n) 2860
性別													
男性	20.6	28.5	8.5	7.4	11.6	7.5	4.2	1.4	24.9	2.7	42.5		1251
女性	28.0	22.9	4.2	6.2	7.1	2.7	5.3	2.2	15.4	4.5	47.4		1609
年代別													
60～64歳	26.6	34.3	6.6	8.2	12.1	6.6	6.2	3.3	26.3	3.8	38.0		693
65～69歳	25.9	29.6	6.6	6.9	8.5	5.1	6.1	2.5	22.4	3.3	41.8		692
70～74歳	23.7	22.9	5.7	6.0	10.2	4.9	5.1	0.9	18.2	4.0	44.5		560
75～79歳	24.1	19.6	6.7	7.6	7.6	4.1	3.1	0.4	15.1	3.7	50.0		490
80歳以上	22.1	11.0	3.3	3.3	3.9	1.2	1.5	1.5	9.3	3.9	62.1		335
(うち85歳以上)	14.9	8.9	2.0	4.0	3.0	-	-	3.0	6.9	5.0	69.3		101

12) 活動に参加しなかった理由

問12 < 問11で11と答えた方にお尋ねします。 >

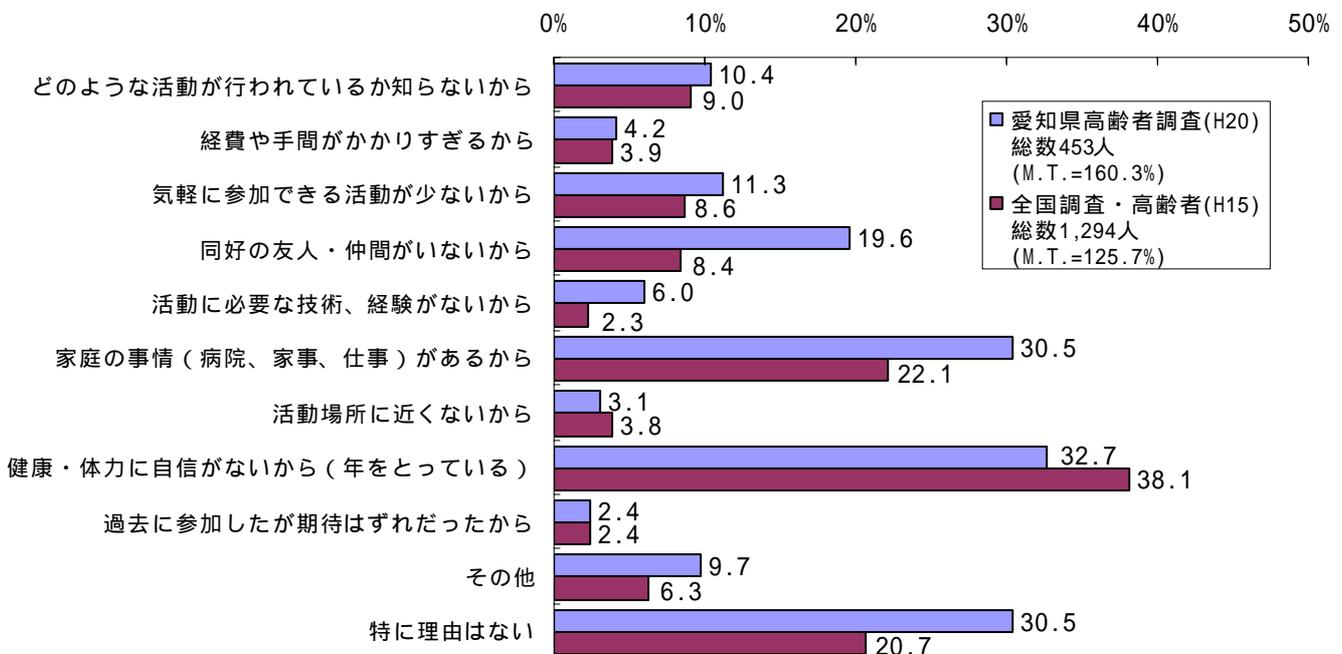
この1年間に、これらの活動に参加しなかった理由はなんですか。(複数回答可)

- 1 どのような活動が行われているか知らないから
- 2 経費や手間がかかりすぎるから
- 3 気軽に参加できる活動が少ないから
- 4 同好の友人・仲間がいないから
- 5 活動に必要な技術、経験がないから
- 6 家庭の事情(病気、家事、仕事)があるから
- 7 活動場所に近くないから
- 8 健康・体力に自信がないから(年をとっている)
- 9 過去に参加したが期待はずれだったから
- 6 その他()
- 7 特に理由はない

活動に参加しなかった理由は、「健康・体力に自信がないから(年をとっている)」が32.7%で最も多く、次いで、「家庭の事情(病気、家事、仕事)があるから」「特に理由はない」が共に30.5%、「同好の友人・仲間がいないから」19.6%、「気軽に参加できる活動が少ないから」11.3%、「どのような活動が行われているか知らないから」10.4%の順となっている。

愛知県では、「家庭の事情(病気、家事、仕事)があるから」(愛知県30.5%、全国22.1%)、及び「同好の友人・仲間がいないから」(愛知県19.6%、全国8.4%)と回答した人の割合が全国より高くなっている。

図1-13 活動に参加しなかった理由



男女別に見ると、「どのような活動が行われているか知らないから」（男性13.4%、女性7.3%）、「特に理由はない」（男性34.3%、女性26.8%）は男性の割合のほうが高く、「健康・体力に自信がないから（年をとっている）」（男性25.5%、女性40.0%）、「活動場所に近くないから」（男性0.5%、女性5.9%）では女性の割合が高い。

年齢別では、「家庭の事情（病気、家事、仕事）があるから」の項目は、年齢が高くなるほど割合が低くなり、「健康・体力に自信がないから（年をとっている）」では年齢が高くなるほど割合が高くなっている。全国でも同様である。

表1-8 活動に参加しなかった理由

愛知県高齢者調査(H20)

	どのような活動が行われているか知らないから	経費や手間がかかりすぎるから	気軽に参加できる活動が少ないから	同好の友人・仲間がいないから	活動に必要な技術、経験がないから	家庭の事情(病院、家事、仕事)があるから	活動場所に近くないから	健康・体力に自信がないから(年をとっている)	過去に参加したが期待はずれだったから	その他	特に理由はない	無回答	(%)
全体	10.4	4.2	11.3	19.6	6.0	30.5	3.1	32.7	2.4	9.7	30.5		(n) 453
性別													
男性	13.4	3.7	9.7	19.9	5.1	29.6	0.5	25.5	2.3	10.6	34.3		216
女性	7.3	5.0	12.3	19.1	7.3	31.8	5.9	40.0	2.7	8.2	26.8		220
未記入	11.8	0.0	17.6	23.5	0.0	23.5	0.0	29.4	0.0	17.6	29.4		17
年代別													
60～64歳	7.7	5.5	11.0	13.2	4.4	40.7	4.4	16.5	2.2	8.8	37.4		91
65～69歳	12.6	7.4	8.4	26.3	8.4	46.3	4.2	14.7	1.1	9.5	32.6		95
70～74歳	16.7	5.1	17.9	21.8	7.7	29.5	2.6	25.6	5.1	6.4	30.8		78
75～79歳	13.1	4.9	11.5	23.0	8.2	23.0	1.6	42.6	3.3	14.8	31.1		61
80～84歳	3.9	0.0	7.9	15.8	3.9	17.1	1.3	47.4	1.3	9.2	23.7		76
85歳以上	4.4	0.0	6.7	13.3	2.2	13.3	4.4	75.6	2.2	11.1	17.8		45
未記入	28.6	0.0	42.9	42.9	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0	14.3	57.1		7

全国調査(H15)

	どのような活動が行われているか知らないから	経費や手間がかかりすぎるから	気軽に参加できる活動が少ないから	同好の友人・仲間がいないから	活動に必要な技術、経験がないから	家庭の事情(病院、家事、仕事)があるから	活動場所に近くないから	健康・体力に自信がないから(年をとっている)	過去に参加したが期待はずれだったから	その他	特に理由はない	無回答	(%)
全体	9.0	3.9	8.6	8.4	2.3	22.1	3.8	38.1	2.4	6.3	20.7		(n) 1249
性別													
男性	10.5	3.6	10.3	10.0	2.6	19.5	4.1	32.9	1.9	6.8	23.9		532
女性	8.0	4.1	7.3	7.3	2.1	23.9	3.5	41.7	2.8	6.0	18.5		762
年代別													
60～64歳	13.3	4.9	13.7	10.3	4.6	35.0	4.2	19.0	1.5	6.5	22.1		263
65～69歳	11.1	5.2	10.4	8.7	3.1	26.0	5.5	25.6	2.8	7.6	24.2		289
70～74歳	11.4	3.1	8.0	9.3	1.7	22.5	3.1	33.2	2.4	7.3	21.8		289
75～79歳	3.7	4.5	6.5	4.5	0.8	15.1	3.7	52.7	2.9	3.7	20.8		245
80歳以上	3.8	1.0	2.9	9.1	1.0	8.2	1.9	69.2	2.4	6.3	12.5		208
(うち85歳以上)	2.9	-	4.3	2.9	2.9	7.1	1.4	78.6	2.9	7.1	7.1		70

13) 健康長寿あいち宣言の認知度 <愛知県独自項目>

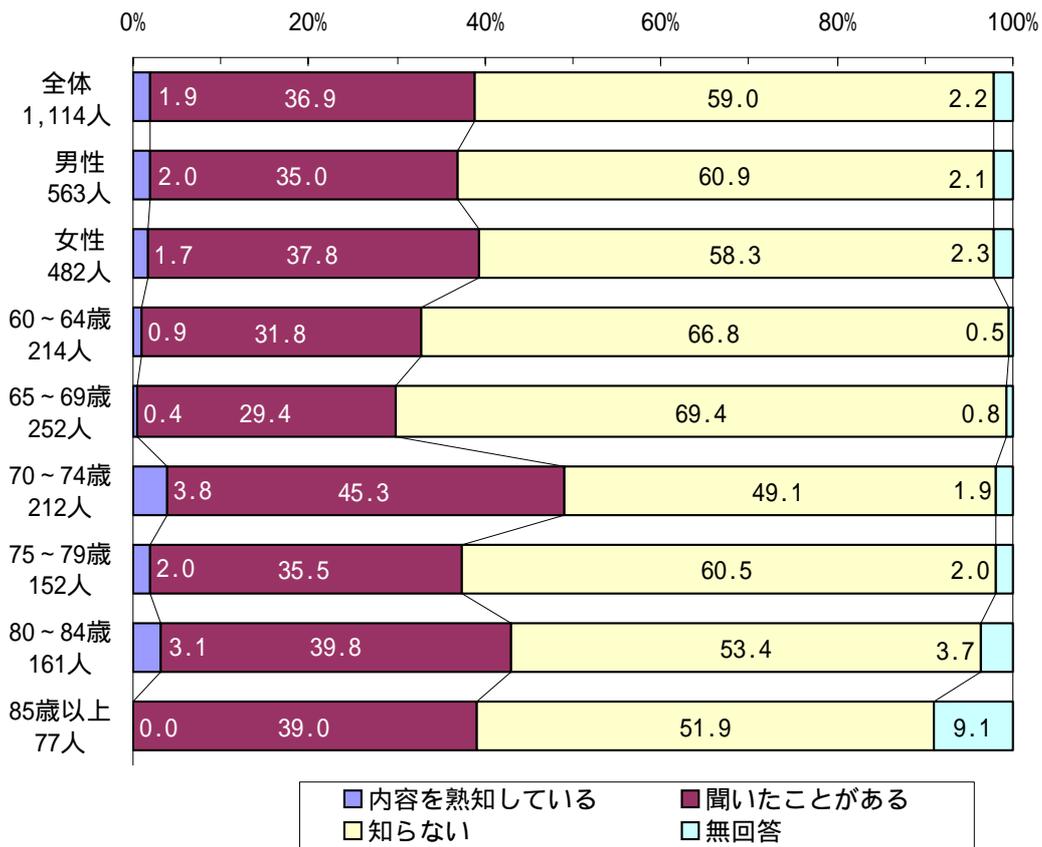
問13 愛知県は、平成18年3月に健康で長生きしてよかったと思える長寿社会づくりを目指し「健康長寿あいち宣言」を発表しました。宣言は 全世代にわたる健康づくり、 活力ある地域社会づくり、健康長寿産業の育成を主な内容とし、都道府県レベルでは初の数値目標を掲げています。あなたは「健康長寿あいち宣言」を知っていますか。次の中から選んでください。(は1つ)

- 1 内容を熟知している
- 2 聞いたことがある
- 3 知らない

健康長寿あいち宣言の認知度は、「熟知している」1.9%、「聞いたことがある」36.9%であるのに対して、「知らない」が59.0%で6割近くを占めており、男女による違いはほとんどない。

なお、「聞いたことがある」と「熟知している」を合計した認知度は38.8%となっており、昨年度の調査結果21.2%、一昨年20.0%と比べ、大きく増加している。

図1-14 健康長寿あいち宣言の認知度



14) あいち健康の森の認知度 <愛知県独自項目>

問14 大府市と東浦町にまたがる地域に、長生きして良かったと思える長寿社会を実現するための「あいち健康の森」がありますが、あなたは知っていますか。また、今までに行ったことがありますか。(は1つ)

- 1 2回以上行ったことがあります、よく知っている
- 2 1回行ったことがある
- 3 行ったことはないが、知っている
- 4 知らない

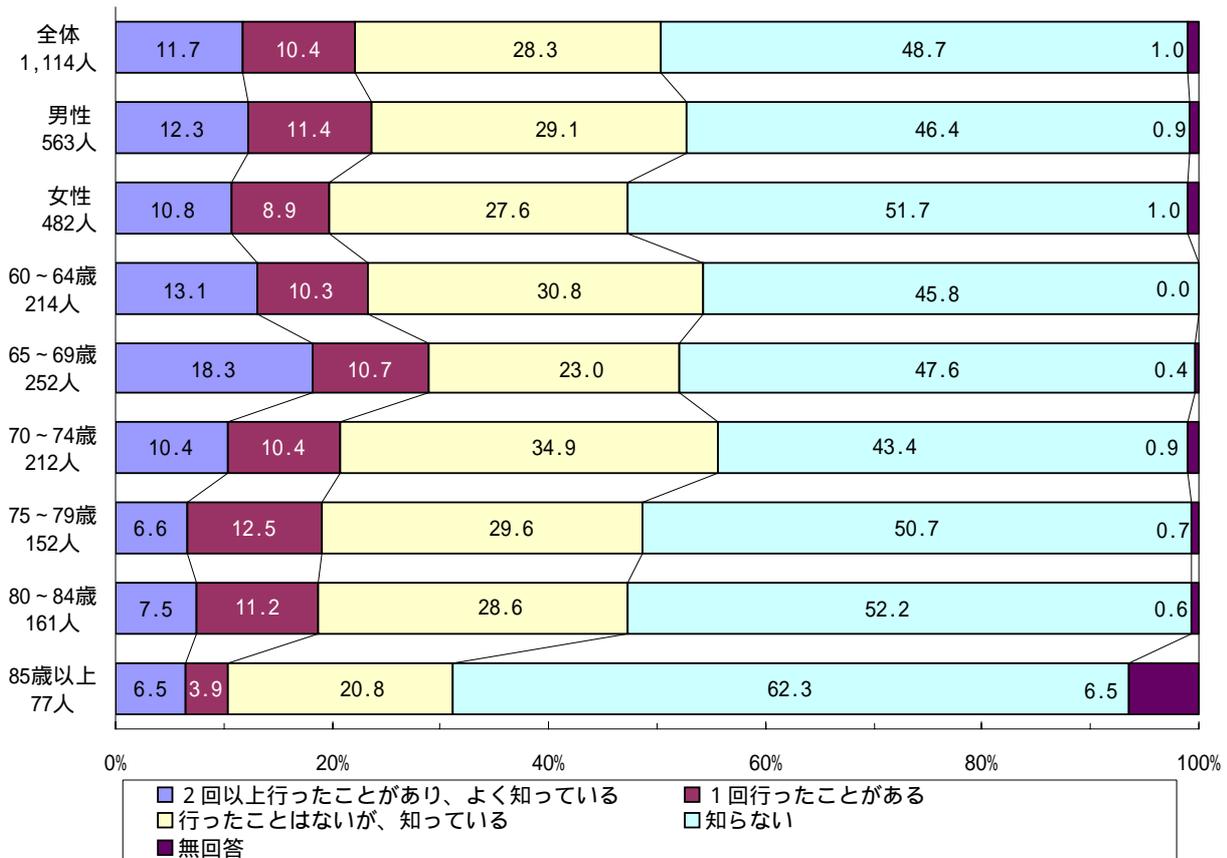
あいち健康の森の認知度は、「2回以上行ったことがあります、よく知っている」が11.7%、「1回行ったことがある」10.4%、「行ったことはないが、知っている」28.3%、以上の合計が50.4%で、あいち健康の森の認知度は過半数となっている。

なお、昨年度の認知度は58.9%と高かったが、一昨年は45.3%と本年度を下回っており、調査毎の変動が大きいものとなっている。

男女別に見ると、「知らない」の回答が、男性で46.4%であるのに対し、女性では51.7%で過半数となっている。

年齢別に見ると、総じて年齢が低くなるほど、あいち健康の森の認知度が高くなっている。

図1 - 15 あいち健康の森の認知度



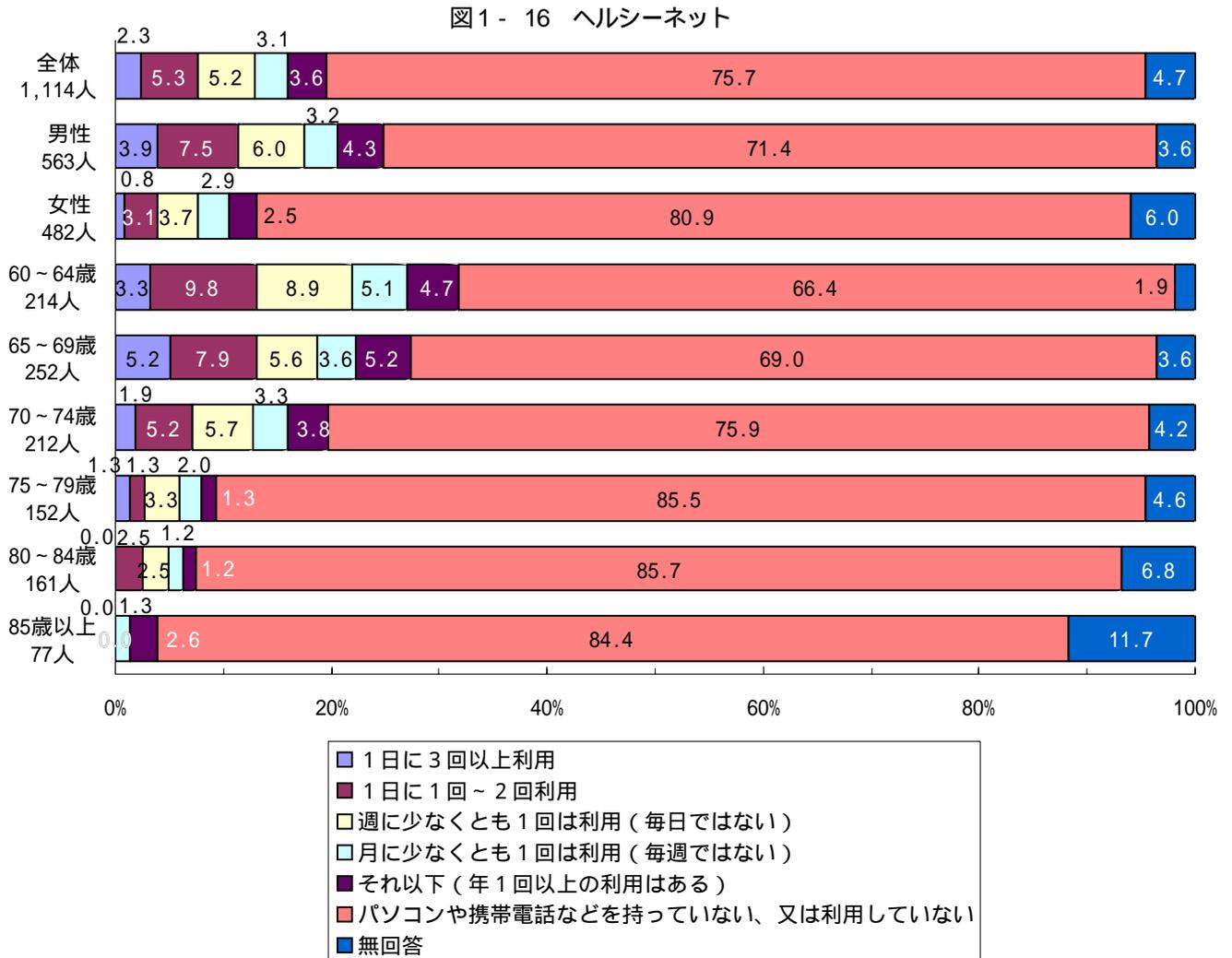
15) ヘルシーネット <愛知県独自項目>

問15 愛知県では、パソコンや携帯電話などからインターネットを利用して毎日の運動や生活習慣の記録を入力し、その結果を健康づくりに役立てる「あいちヘルシーネット(仮称)」の準備を進めています。あなたは、パソコンや携帯電話などからインターネットを利用(メールの送受信やインターネット上の情報閲覧など)していますか。(は1つ)

- 1 1日に3回以上利用
- 2 1日に1回~2回利用
- 3 週に少なくとも1回は利用(毎日ではない)
- 4 月に少なくとも1回は利用(毎週ではない)
- 5 それ以下(年1回以上の利用はある)
- 6 パソコンや携帯電話を持っていない、又は利用していない

ヘルシーネットに関連してインターネットの利用について見ると、「パソコンや携帯電話を持っていない」が75.7%と最も多く、その他の項目は6%以下の低い割合となっている。

男女別に見ると、女性では8割以上の人「パソコンや携帯電話を持っていない」と回答している。



16) 重粒子線治療 <愛知県独自項目>

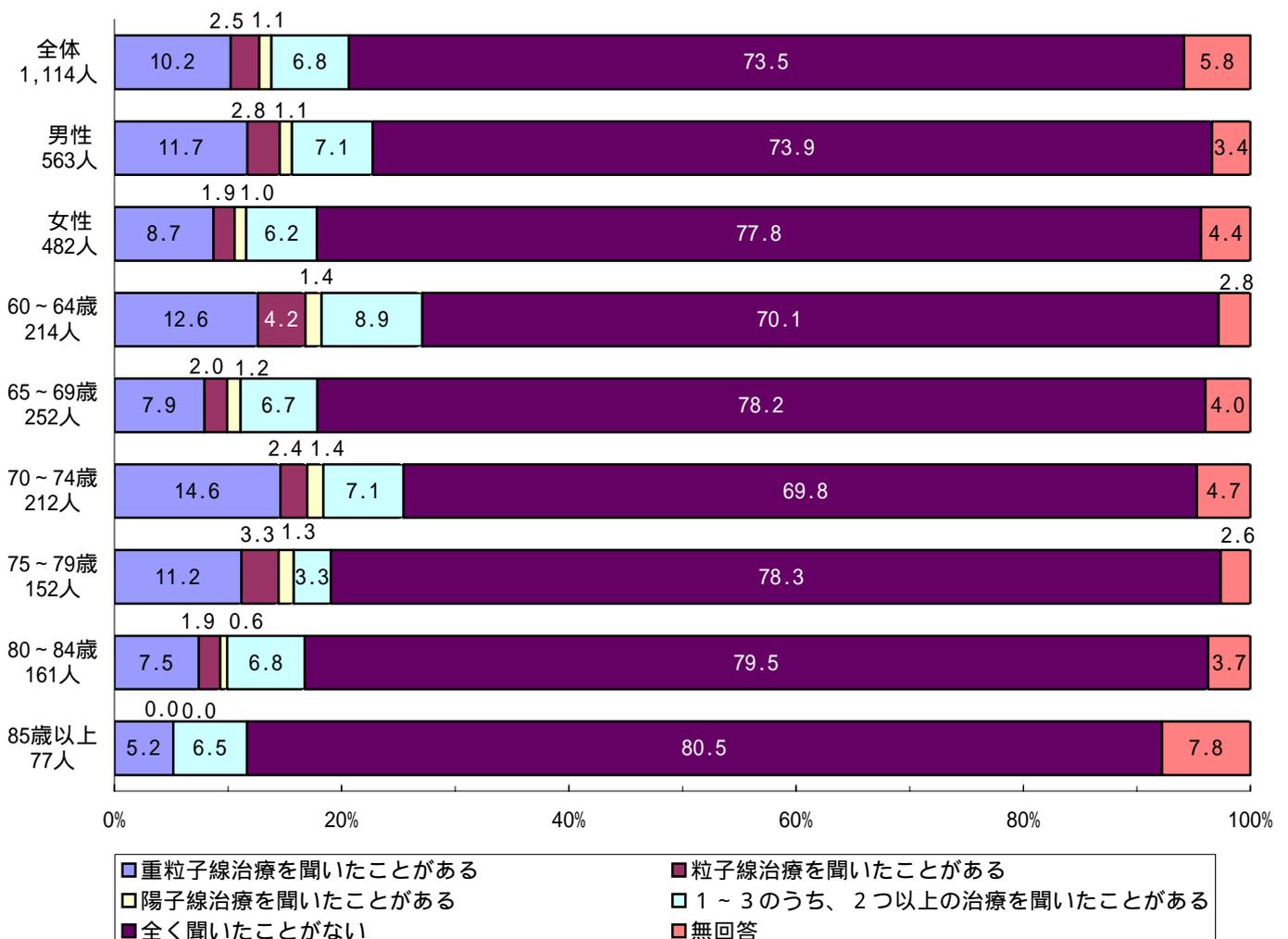
問16 愛知県では、患者の体の負担が大きい手術や化学療法治療を行うことなく、がんを治療することができる最先端の放射線治療技術である「重粒子線治療」施設の誘致を進めています。あなたは、「重粒子線治療」等を知っていますか。(は1つ)

- 1 重粒子線治療を聞いたことがある
- 2 粒子線治療を聞いたことがある
- 3 陽子線治療を聞いたことがある
- 4 1～3のうち、2つ以上の治療を聞いたことがある
- 5 全く聞いたことがない

重粒子線治療について、「全く聞いたことがない」が73.5%で、全体、男女別に見ても7割を超えている。「重粒子線治療を聞いたことがある」は10.2%、「粒子線治療を聞いたことがある」2.5%、「陽子線治療を聞いたことがある」1.1%となっている。

年齢別では、年齢が高くなるほど「全く聞いたことがない」の割合が高くなっている。

図1 - 17 重粒子線治療



17) 重粒子線治療 <愛知県独自項目>

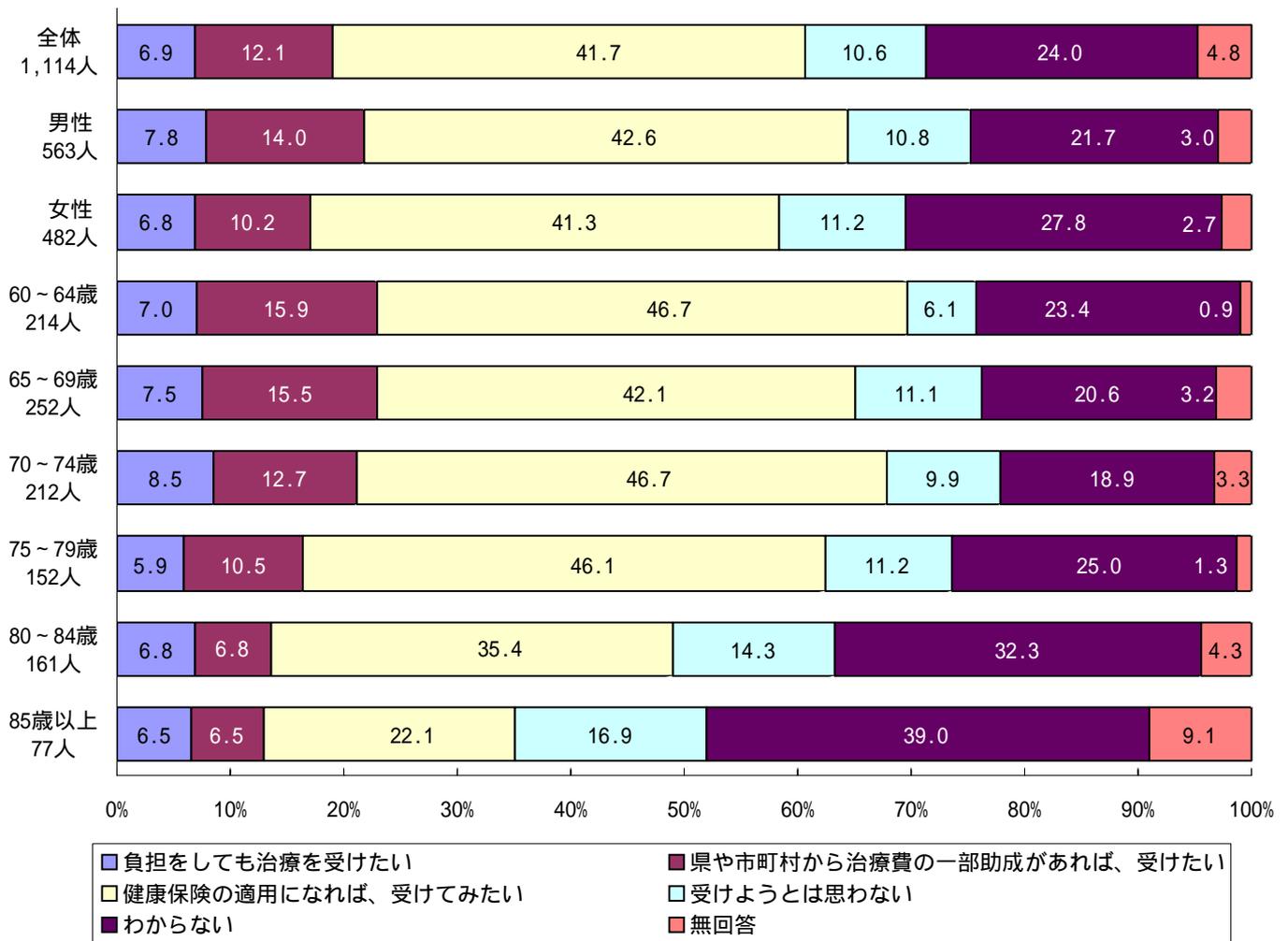
問17 「重粒子線治療」は、手術に比べて身体的負担が少ないため、早期の社会復帰が可能であり、また、高齢者に優しい治療法であるといえます。しかし、現在のところ、健康保険適用がなされないため、治療費が約300万円と比較的高額になります。あなたががんになった場合、この治療を受けてみようと考えますか。(は1つ)

- 1 負担をしても治療を受けたい
- 2 県や市町村から治療費の一部助成があれば、受けたい
- 3 健康保険の適用になれば、受けてみたい
- 4 受けようとは思わない
- 5 わからない

重粒子線治療を受けたいと考えるか否かについて、「負担をしても治療を受けたい」6.9%、「県や市町村から治療費の一部助成があれば、受けたい」12.1%、「健康保険の適用になれば、受けてみたい」41.7%で、受けてみたいと考えているのは合計で60.7%と6割を超えている。

年齢別では、年齢が高くなるほど、受けてみたいという割合は低くなっている。

図1 - 18 重粒子線治療



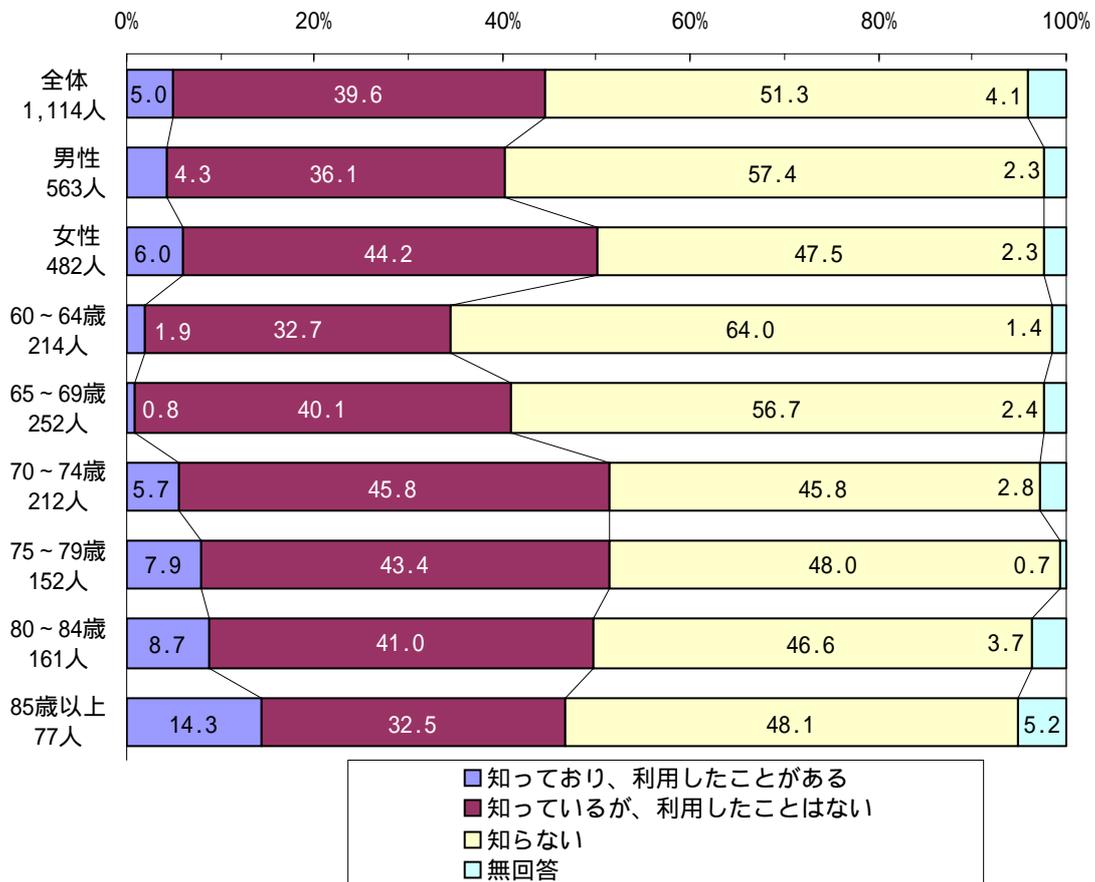
18) 地域包括支援センター < 愛知県独自項目 >

問18 高齢者の方が住みなれた地域で、安心してその人らしい生活を送ることができるよう、介護サービスをはじめ、福祉、医療、権利擁護などさまざまなサービスに対する支援を行い、高齢者の方々の生活を支える総合的な機関として、各市町村に「地域包括支援センター」が設置されていますが、あなたは知っていますか。 (ひとつ)

- 1 知っており、利用したことがある
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 知らない

地域包括支援センターの認知度についての質問では、「知らない」が51.3%と過半数になっている。男女別では、「知っており、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」をあわせた知っている人の割合が、男性40.4%に対し、女性では50.2%と高くなっている。

図1 - 19 地域包括支援センター



19) 高齢者いきがい <愛知県独自項目>

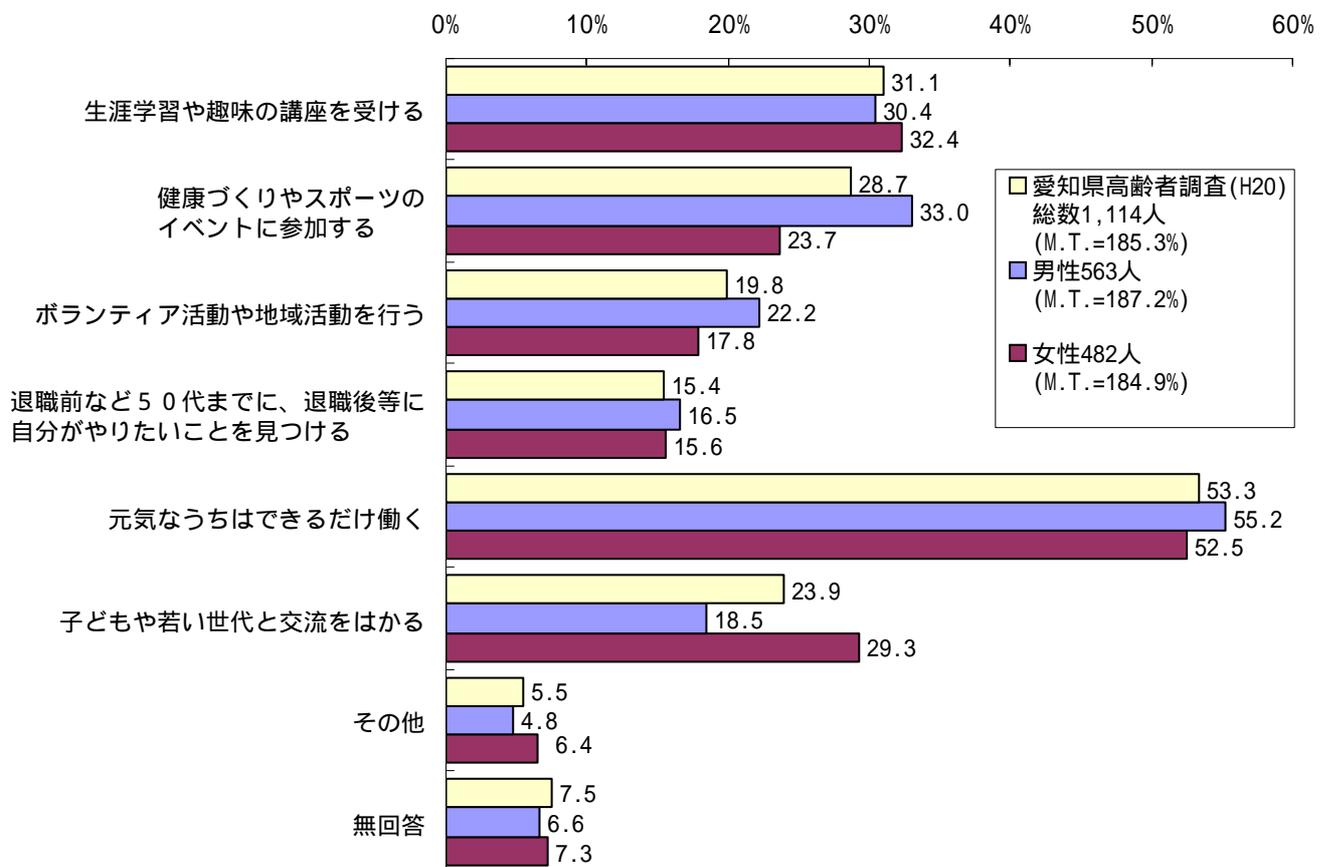
問19 あなたは高齢者の生きがいづくりには、どんなことが有効だと思いますか。(複数回答可)

- 1 生涯学習や趣味の講座を受ける
- 2 健康づくりやスポーツのイベントに参加する
- 3 ボランティア活動や地域活動を行う
- 4 退職前など50代までに、退職後等に自分がやりたいことを見つける
- 5 元気なうちはできるだけ働く
- 6 子どもや若い世代と交流をはかる
- 7 その他()

高齢者のいきがいづくりに有効なことについては、「元気なうちはできるだけ働く」53.3%が最も多く、男女別においても半数以上となっている。次いで「生涯学習や趣味の講座を設ける」が31.1%、「健康づくりやスポーツのイベントに参加する」28.7%、「子どもや若い世代と交流をはかる」23.9%、「ボランティア活動や地域活動を行う」19.8%、「退職前など50代までに、退職後等に自分がやりたいことを見つける」15.4%となっている。

男女別に見ると、「健康づくりやスポーツのイベントに参加する」(男性33.0%、女性23.7%)は男性の割合が女性よりも高く、「子どもや若い世代と交流をはかる」(男性18.5%、女性29.3%)は女性の割合が高い。

図1-20 高齢者いきがい



年齢別に見ると、総じて年齢が高くなるにつれて「健康づくりやスポーツのイベントに参加する」、「ボランティア活動や地域活動を行う」の割合が低くなっている。

表1-9 高齢者いきがい

愛知県高齢者調査(H20)										(%)
	生涯学習や趣味の講座を受ける	健康づくりやスポーツのイベントに参加する	ボランティア活動や地域活動を行う	退職前など50代までに、退職後等に自分がやりたいことを見つける	元気なうちではできるだけ働く	子どもや若い世代と交流をはかる	その他	無回答		
全体	31.1	28.7	19.8	15.4	53.3	23.9	5.5	7.5	(n) 1114	
性別										
男性	30.4	33.0	22.2	16.5	55.2	18.5	4.8	6.6	563	
女性	32.4	23.7	17.8	15.6	52.5	29.3	6.4	7.3	482	
未記入	27.5	29.0	14.5	5.8	43.5	30.4	4.3	17.4	69	
年代別										
60～64歳	32.2	33.2	26.6	19.2	60.3	23.4	4.2	0.5	214	
65～69歳	31.3	35.3	23.4	15.5	59.9	25.4	4.8	4.8	252	
70～74歳	32.5	33.0	20.3	19.3	49.1	24.5	7.1	5.7	212	
75～79歳	27.6	22.4	14.5	9.2	54.6	19.7	5.3	11.2	152	
80～84歳	32.9	19.9	15.5	14.9	43.5	24.2	4.3	16.1	161	
85歳以上	27.3	13.0	10.4	14.3	49.4	26.0	7.8	10.4	77	
未記入	28.3	30.4	15.2	4.3	41.3	23.9	8.7	17.4	46	

20) 薬草園 <愛知県独自項目>

問20 現在、様々な生活に薬草・ハーブが利用されていますが、あなたは薬草・ハーブ(商品を含む)をどのように利用していますか、あるいは利用してみたいと思いますか。(複数回答可)

- 1 お茶・お菓子・お料理など飲食用として利用している
- 2 お香・アロマ・石けんなど香りを利用している
- 3 鑑賞用に栽培している
- 4 虫除けとして利用している
- 5 その他()として利用している
- 6 現在は利用していないが、飲食用として利用してみたい
- 7 現在は利用していないが、香りを利用してみたい
- 8 現在は利用していないが、観賞用として利用してみたい
- 9 現在は利用していないが、虫除けとして利用してみたい
- 10 現在は利用していないが、今後()で利用してみたい
- 11 現在利用していないし、今後も利用したいと思わない

薬草園に関して、「現在利用していないし、今後も利用したいと思わない」が男女とも最も多く、次いで全体では、現在の利用状況として、「お茶・お菓子・お料理など飲食用として利用している」20.6%、「お香・アロマ・石けんなど香りを利用している」12.4%、「鑑賞用に栽培している」11.4%、「虫除けとして利用している」6.4%の順となっている。また現在は利用していないが今後の利用として、「飲食用として利用してみたい」13.0%、「香りを利用してみたい」11.8%、「虫除けとして利用してみたい」10.8%、「観賞用として利用してみたい」8.4%の順となっている。

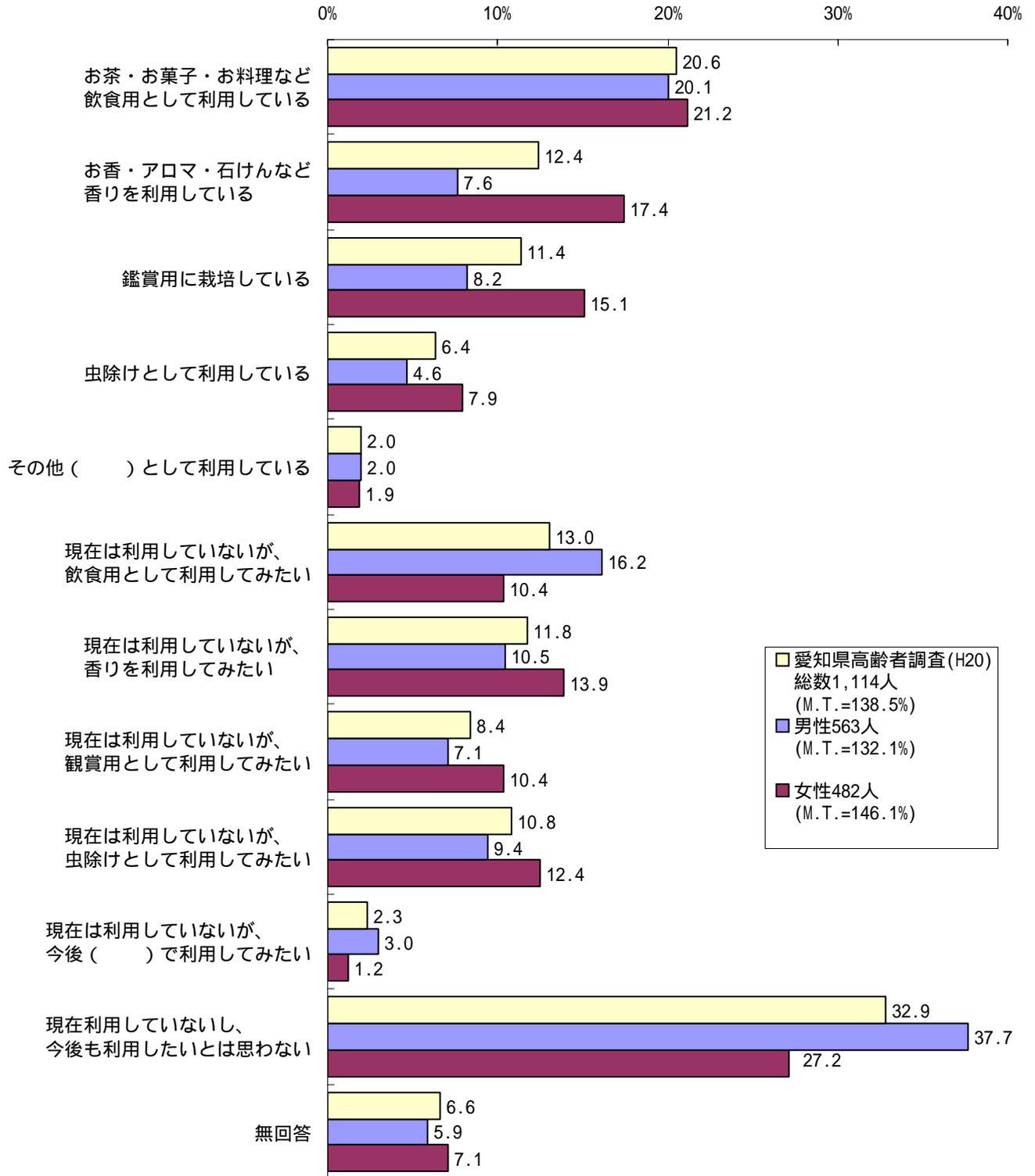
男女別にみると、「お香・アロマ・石けんなど香りを利用している」(男性7.6%、女性17.4%)、「鑑賞用に栽培している」(男性8.2%、女性15.1%)では男性より女性の割合が高くなっている。一方、「現在利用していないし、今後も利用したいと思わない」では、女性27.2%に対し、男性37.7%と10ポイント以上高い割合となっている。

年齢別では、現在の利用状況は、総じて年齢が低いほど利用している割合が高くなっている。

表1 - 10 薬草園

愛知県高齢者調査(H20)												(%)	(n)
	お茶・お菓子・お料理など飲食用として利用している	お香・アロマ・石けんなど香りを利用している	鑑賞用に栽培している	虫除けとして利用している	その他()として利用している	現在は利用していないが、飲食用として利用してみたい	現在は利用していないが、香りを利用してみたい	現在は利用していないが、観賞用として利用してみたい	現在は利用していないが、虫除けとして利用してみたい	現在は利用していないが、今後()で利用してみたい	現在利用していないし、今後も利用したいと思わない	無回答	
全体	20.6	12.4	11.4	6.4	2.0	13.0	11.8	8.4	10.8	2.3	32.9	6.6	1114
性別													
男性	20.1	7.6	8.2	4.6	2.0	16.2	10.5	7.1	9.4	3.0	37.7	5.9	563
女性	21.2	17.4	15.1	7.9	1.9	10.4	13.9	10.4	12.4	1.2	27.2	7.1	482
未記入	20.3	15.9	11.6	10.1	2.9	5.8	7.2	5.8	10.1	4.3	33.3	10.1	69
年代別													
60～64歳	20.6	16.8	18.2	8.4	1.4	10.3	13.6	10.7	11.2	2.3	29.4	3.3	214
65～69歳	20.6	11.9	12.7	5.2	3.2	15.1	12.7	9.1	13.1	2.0	32.1	4.4	252
70～74歳	26.9	17.5	11.8	8.0	0.9	11.3	10.4	7.5	9.9	3.3	27.8	5.2	212
75～79歳	13.2	6.6	6.6	3.3	3.3	17.1	16.4	11.2	14.5	1.3	36.8	7.2	152
80～84歳	18.6	6.8	5.6	5.0	1.2	13.7	9.3	5.0	8.1	1.9	37.9	14.9	161
85歳以上	22.1	7.8	5.2	5.2	1.3	11.7	5.2	6.5	3.9	1.3	40.3	9.1	77
未記入	19.6	17.4	17.4	13.0	2.2	8.7	8.7	4.3	8.7	6.5	32.6	6.5	46

図1 - 21 薬草園



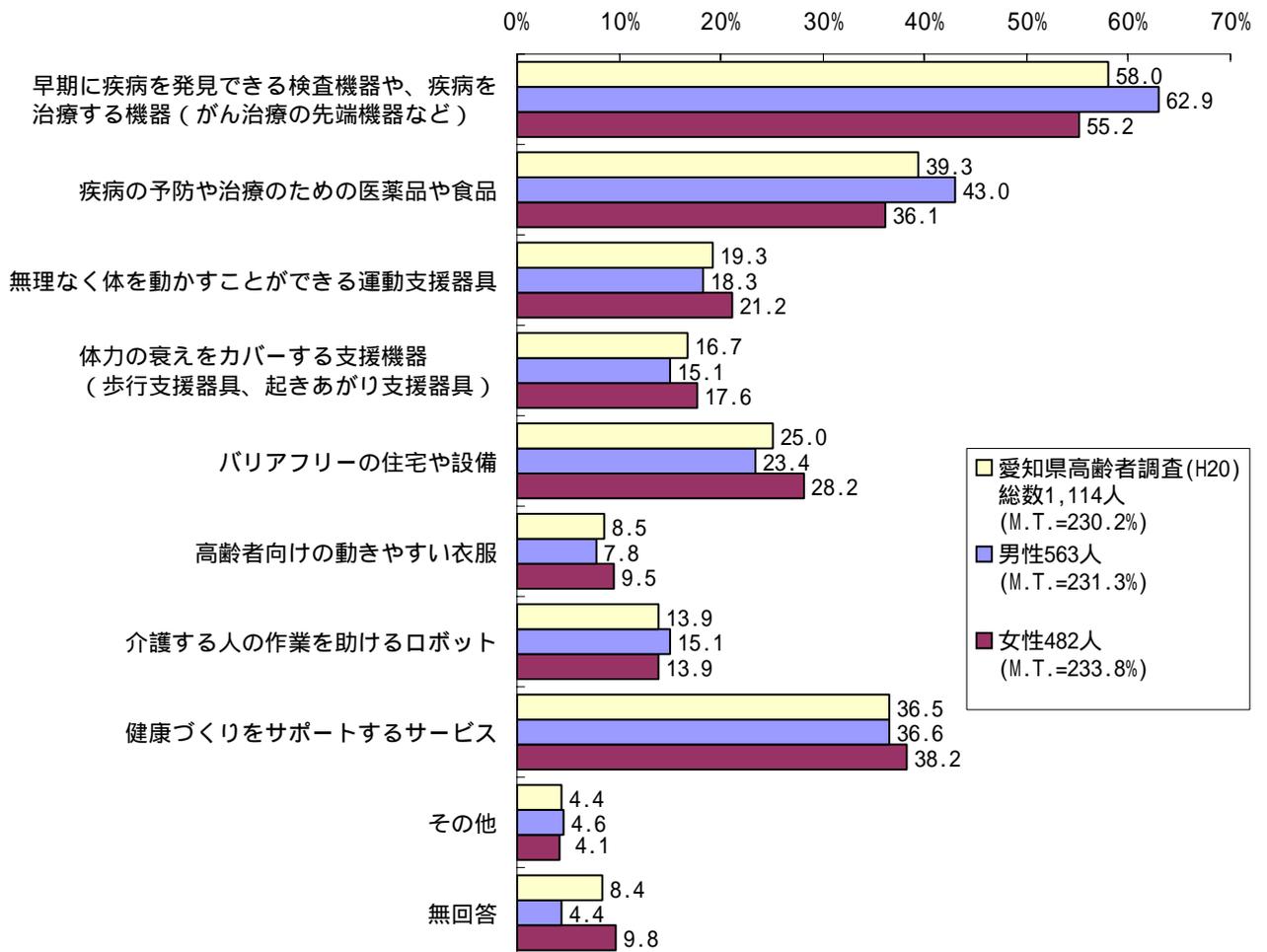
21) 健康長寿産業 < 愛知県独自項目 >

問21 今後、高齢化が一層進展することが見込まれるなかで、社会にとってどのような産業（製品、サービス）が必要であると考えますか。（ は3つまで）

- 1 早期に疾病を発見できる検査機器や、疾病を治療する機器（がん治療の先端機器など）
- 2 疾病の予防や治療のための医薬品や食品
- 3 無理なく体を動かすことができる運動支援器具
- 4 体力の衰えをカバーする支援機器（歩行支援器具、起き上がり支援器具）
- 5 バリアフリーの住宅や設備
- 6 高齢者向けの動きやすい衣服
- 7 介護する人の作業を助けるロボット
- 8 健康づくりをサポートするサービス
- 9 その他（ ）

高齢化が進展する中、社会にとって必要な産業として、「早期に疾病を発見できる検査機器や、疾病を治療する機器（がん治療の先端機器など）」が58.0%で最も高くなっている。次いで、「疾病の予防や治療のための医薬品や食品」39.3%、「健康づくりをサポートするサービス」36.5%、「バリアフリーの住宅や設備」25.0%、「無理なく体を動かすことができる運動支援器具」19.3%、「体力の衰えをカバーする支援機器（歩行支援器具、起き上がり支援器具）」16.7%となっている。

図1 - 22 健康長寿産業



男女別に見ると、「早期に疾病を発見できる検査機器や、疾病を治療する機器（がん治療の先端機器など）」（男性 62.9%、女性 55.2%）、「疾病の予防や治療のための医薬品や食品」（男性 43.0%、女性 36.1%）で男性の割合が高くなっている。

年齢別にみると、「体力の衰えをカバーする支援機器（歩行支援器具、起き上がり支援器具）」、「高齢者向けの動きやすい衣服」では、総じて年齢が高くなるほど割合が高くなっている。反対に「早期に疾病を発見できる検査機器や、疾病を治療する機器（がん治療の先端機器など）」、「介護する人の作業を助けるロボット」は、総じて年齢が高くなるほど割合が低くなっている。また、「早期に疾病を発見できる検査機器や、疾病を治療する機器（がん治療の先端機器など）」や「疾病の予防や治療のための医薬品や食品」は、いずれの年代でも関心の高い項目である。

表 1 - 11 健康長寿産業

愛知県高齢者調査 (H20)											(%)
	早期に疾病を発見できる検査機器や、疾病を治療する機器（がん治療の先端機器など）	疾病の予防や治療のための医薬品や食品	無理なく体を動かすことができる運動支援器具	体力の衰えをカバーする支援機器（歩行支援器具、起き上がり支援器具）	バリアフリーの住宅や設備	高齢者向けの動きやすい衣服	介護する人の作業を助けるロボット	健康づくりをサポートするサービス	その他	無回答	(n)
全体	58.0	39.3	19.3	16.7	25.0	8.5	13.9	36.5	4.4	8.4	1114
性別											
男性	62.9	43.0	18.3	15.1	23.4	7.8	15.1	36.6	4.6	4.4	563
女性	55.2	36.1	21.2	17.6	28.2	9.5	13.9	38.2	4.1	9.8	482
未記入	37.7	31.9	14.5	23.2	15.9	7.2	4.3	24.6	4.3	31.9	69
年代別											
60～64歳	62.6	36.4	14.0	14.5	36.0	2.8	18.7	40.7	4.7	3.3	214
65～69歳	63.1	40.9	22.6	13.5	23.4	8.3	17.1	43.3	5.2	4.4	252
70～74歳	63.7	46.2	22.6	12.3	25.0	9.0	13.7	41.5	3.3	6.6	212
75～79歳	56.6	40.1	22.4	19.1	19.7	11.2	13.2	27.6	5.9	8.6	152
80～84歳	44.7	41.0	17.4	26.1	23.6	11.8	8.1	29.8	5.0	11.2	161
85歳以上	58.4	28.6	16.9	18.2	24.7	14.3	10.4	29.9	1.3	11.7	77
未記入	32.6	21.7	10.9	21.7	6.5	4.3	4.3	21.7	2.2	47.8	46

2 . 高齢社会に関する愛知県民調査

目 次

	ページ
(1) 調査の概要.....	2 - 2
(2) 調査対象者の基本属性.....	2 - 5
(3) 調査結果.....	2 - 7
1 家族を介護する場所.....	2 - 7
2 親の介護.....	2 - 8
3 将来への不安.....	2 - 9
4 老後の生計を支える手段.....	2 - 11
5 自由時間の過ごし方.....	2 - 13
6 将来に備えるか、毎日の生活を充実させて楽しむか.....	2 - 15
7 高齢化進展によって重要となる課題.....	2 - 16
8 健康長寿あいち宣言の認知度.....	2 - 18
9 あいち健康の森の認知度.....	2 - 19
10 ヘルシーネット.....	2 - 20
11 重粒子線治療.....	2 - 21
12 重粒子線治療.....	2 - 22
13 地域包括支援センター.....	2 - 23
14 高齢者いきがい.....	2 - 24
15 薬草園.....	2 - 26
16 健康長寿産業.....	2 - 28

(1) 調査の概要

1) 調査の目的

平成 18 年 3 月発表の「健康長寿あいち宣言」は身体面およびメンタル面の両面で数値目標を定めている。しかし、メンタル面の指数は統計的に確立したものが存在しない。

そのため、アンケート調査を実施し、目標値の効果測定指標、並びに「健康長寿あいち推進事業」の進行管理及び見直しに活用する。

2) 調査地域、調査対象、調査方法等

調査地域：愛知県全域

調査対象：20歳以上60歳未満の男女 計2,000人

調査方法：郵送法

抽出方法：選挙人名簿に基づく層化二段無作為抽出法

調査期間：平成20年7月22日（火）～8月4日（月）

3) 有効回答数及び回収率

	対象者数	有効回答数	回収率
20歳以上60歳未満の男女	2,000人	763人	38.2%

4) 調査主体

愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課

5) 調査委託機関

株式会社 アイエスシー

6) 調査項目

介護に関する項目

経済面に関する項目

高齢者の生活、及び高齢社会に対する意識に関する項目

愛知県の施策に関する項目

7) 抽出方法

層化

愛知県内の市町村を、市（名古屋市は区）および郡を単位として、下記のとおり16の調査地区にグループ化し、これを層とした。各層の推定母集団（平成20年4月1日現在の人口）の大きさにより、2,000の標本数を比例配分した。

第1次抽出

比例配分により100の調査地点を各層に配分し、平成17年度国勢調査時に設定された調査区から調査地点を選定した。1次抽出において、各調査地点の標本数が20となるように算出し、

「層における調査区数の合計」÷「層で抽出された調査地点数」＝「抽出間隔」として等間隔抽出法により抽出した。

第2次抽出

各調査地点における対象者の抽出は、各市町村の選挙人名簿より各年代を含むよう配慮して無作為に抽出した。

地域	地区番号	地区名称	市、区、郡				
名古屋地域	1	名古屋市東部地区	千種区	東区	守山区	名東区	
	2	名古屋市南東部地区	昭和区	瑞穂区	緑区	天白区	
	3	名古屋市北西部地区	北区	西区	中村区	中区	
	4	名古屋市南西部地区	熱田区	中川区	港区	南区	
西尾張地域	5	海部津島地区	津島市	愛西市	弥富市	海部郡	
	6	一宮地区	一宮市	稲沢市			
	7	犬山江南地区の一部	江南市	岩倉市	丹羽郡		
東尾張地域	7	犬山江南地区の一部	犬山市				
	8	春日井小牧地区	春日井市	小牧市	清須市	北名古屋市	西春日井郡
	9	尾張東部地区	瀬戸市	尾張旭市	豊明市	日進市	愛知郡
知多地域	10	知多地区	半田市	常滑市	東海市	大府市	知多市 知多郡
西三河地域	11	豊田加茂地区	豊田市	西加茂郡			
	12	岡崎額田地区	岡崎市	額田郡			
	13	衣浦東部幡豆地区	碧南市	刈谷市	安城市	西尾市	知立市
			高浜市	幡豆郡			
東三河地域	14	東三河山間地区	新城市	北設楽郡			
	15	蒲郡豊川地区	豊川市	蒲郡市	宝飯郡		
	16	豊橋地区	豊橋市	田原市			

調査地点の配分

地域	地区番号	地区名称 (市(区)、郡)	推定母体集団 (20歳以上人口)	調査地点数		標本数
					(補正)	60歳以上
名古屋地域	1	名古屋市東部地区	449,536	7.6	8	160
	2	名古屋市南東部地区	476,752	8.1	8	160
	3	名古屋市北西部地区	426,680	7.2	7	140
	4	名古屋市南西部地区	470,296	8.0	8	160
西尾張地域	5	海部津島地区	263,419	4.5	4	80
	6	一宮地区	410,707	7.0	7	140
	7	犬山江南地区の一部	162,499	2.8	3	60
東尾張地域	7	犬山江南地区の一部	61,111	1.0	1	20
	8	春日井小牧地区	484,689	8.2	8	160
	9	尾張東部地区	359,294	6.1	6	120
知多地域	10	知多地区	484,826	8.2	8	160
西三河地域	11	豊田加茂地区	376,568	6.4	6	120
	12	岡崎額田地区	323,938	5.5	6	120
	13	衣浦東部幡豆地区	529,391	9.0	9	180
東三河地域	14	東三河山間地区	51,439	0.9	1	20
	15	蒲郡豊川地区	212,620	3.6	4	80
	16	豊橋地区	351,877	6.0	6	120
合計			5,895,642	100	100	2,000

20歳以上人口は20年4月1日現在「市区町村別人口」データより

8) 分析方法

各調査事項について、国で実施した調査との比較を行った。比較した調査は下記の通り。

平成15年度 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」

- 1 家族を介護する場所
- 2 親の介護

上記調査の概要

調査対象：全国の20歳以上の男女 5,000人
有効回収数：3,567人（回収率 71.3%）
調査方法：調査員による面接聴取法
抽出方法：層化二段無作為抽出法
調査期間：平成15年7月24日～8月3日
調査委託機関：社団法人 新情報センター

平成16年度 厚生労働省「社会保障を支える世代に関する実態調査」

- 3 将来への不安
- 4 老後の生計を支える手段

上記調査の概要

調査対象：全国の20歳以上60歳未満の者 6,967人
有効回収数：6,470人（回収率 92.9%）
調査実施日：平成16年7月15日

平成20年度 内閣府「国民生活に関する世論調査」

- 5 自由時間の過ごし方
- 6 将来に備えるか、毎日の生活を充実させて楽しむか

上記調査の概要

調査対象：全国の20歳以上の者 10,000人
有効回収数：6,146人（回収率 61.5%）
調査方法：調査員による個別面接聴取法
抽出方法：層化二段無作為抽出法
調査期間：平成20年6月12日～6月29日
調査委託機関：社団法人 新情報センター

平成17年度 内閣府「高齢社会対策に関する特別世論調査」

- 7 高齢化進展によって重要となる課題

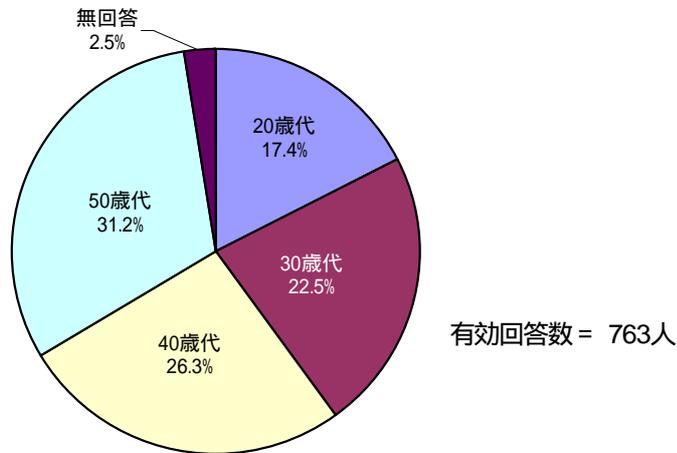
上記調査の概要

調査対象：全国の20歳以上の男女 3,000人
有効回収数：1,896人（回収率 63.2%）
調査期間：平成17年9月8日～9月18日

(2) 調査対象者の基本属性

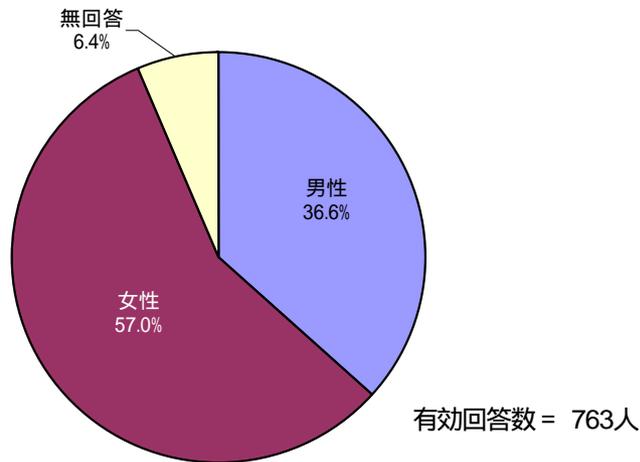
1. 年齢

高齢社会に関する愛知県民調査（回答者）の年齢は、「50歳代」が31.2%、「40歳代」（26.3%）、「30歳代」（22.5%）、「20歳代」（17.4%）となっている。



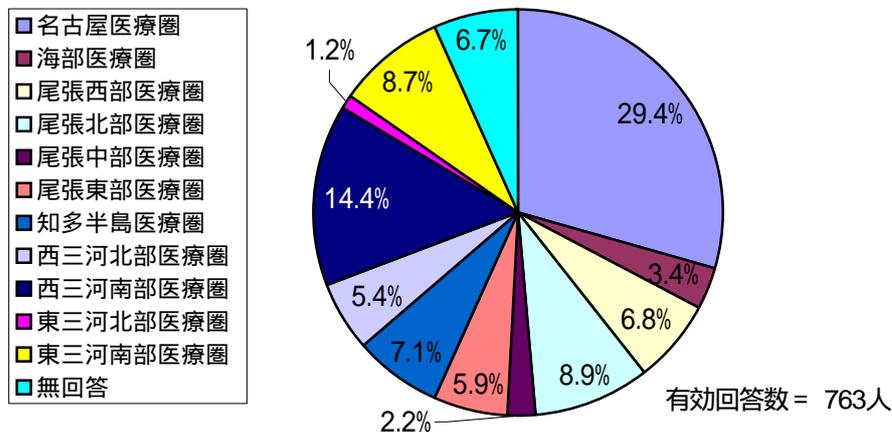
2. 性別

性別は、女性が57.0%、男性が36.6%となっている。



3. お住まいの地域

お住まいの地域は、「名古屋医療圏」（29.4%）、「海部医療圏」（3.4%）、「尾張西部医療圏」（6.8%）「尾張北部医療圏」（8.9%）、「尾張中部医療圏」（2.2%）、「尾張東部医療圏」（5.9%）、「知多半島医療圏」（7.1%）をあわせた尾張地域が63.7%、「西三河北部医療圏」（5.4%）、「西三河南部医療圏」（14.4%）、「東三河北部医療圏」（1.2%）、「東三河南部医療圏」（8.7%）を合わせた三河地域が29.7%となっている。



1 地域区分

今回の調査における地域区分は以下の通りとする。

地 域	抽出された市町村
名古屋医療圏	名古屋市 16 区
海部医療圏	津島市、弥富市、甚目寺町、飛島村
尾張西部医療圏	一宮市、稲沢市
尾張北部医療圏	犬山市、江南市、岩倉市、扶桑町、春日井市、小牧市
尾張中部医療圏	清須市、北名古屋市、豊山町
尾張東部医療圏	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町
知多半島医療圏	半田市、常滑市、東海市、知多市、東浦町、南知多町
西三河北部医療圏	豊田市、三好町
西三河南部医療圏	岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、吉良町
東三河北部医療圏	設楽町
東三河南部医療圏	豊川市、蒲郡市、豊橋市、田原市

(3) 調査結果

1) 家族を介護する場所

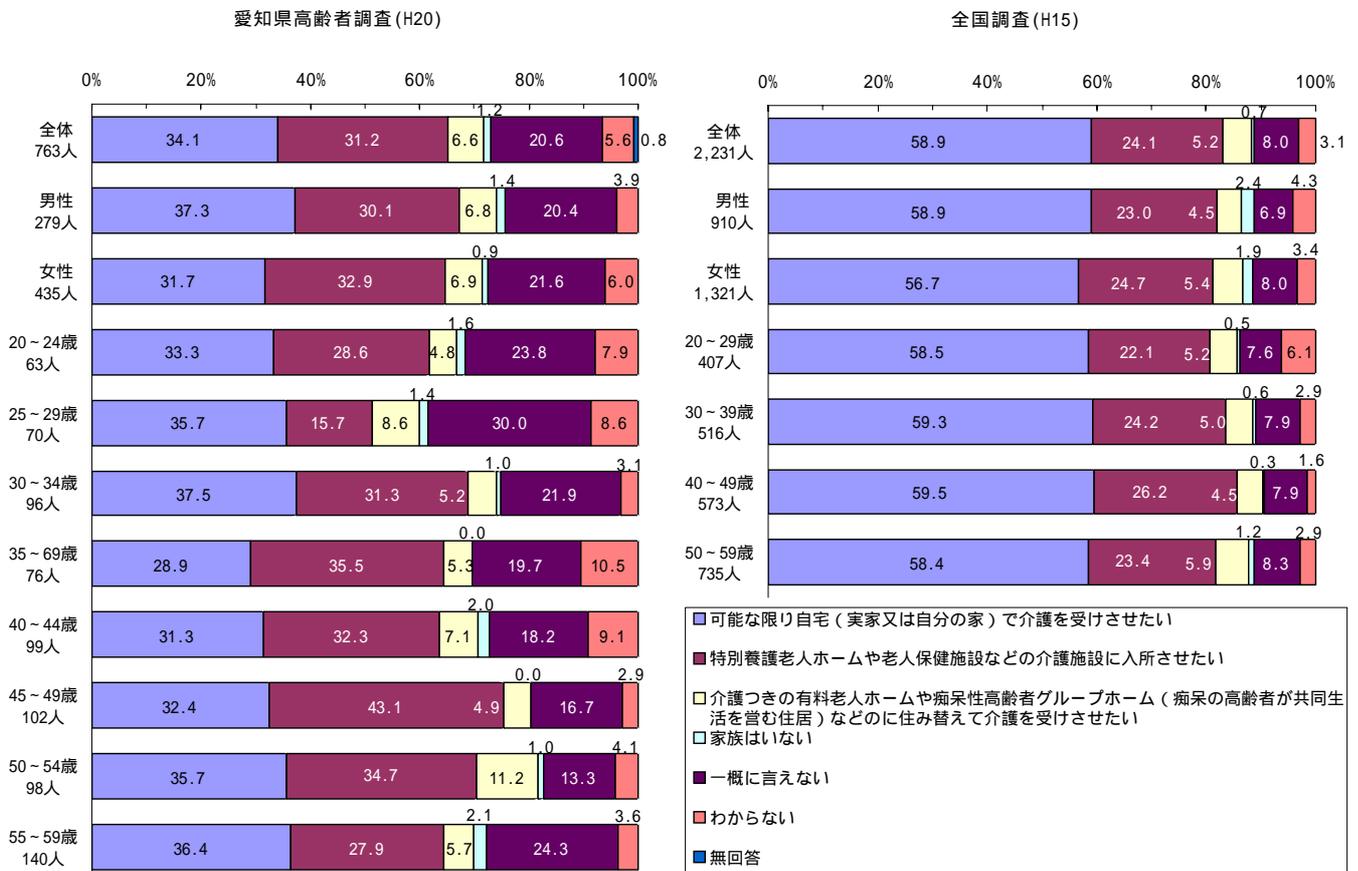
問1 仮に、ご家族が寝たきりや痴呆になり、あなたが介護する立場になったら、どこで介護を受けさせたいと思いますか。この中であなたの考えに近いのは次のどれですか。(は1つ)

- 1 可能な限り自宅(実家または自分の家)で介護を受けさせたい
- 2 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所させたい
- 3 介護付きの有料老人ホームや痴呆性高齢者グループホーム(痴呆の高齢者が共同生活を営む住居)などに住み替えて介護を受けさせたい
- 4 家族はいない
- 5 一概に言えない
- 6 わからない

家族を介護する場所について、「可能な限り自宅(実家または自分の家)で介護を受けさせたい」が34.1%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所させたい」31.2%、「一概に言えない」20.6%の順となっている。

男女別に見ると、「可能な限り自宅(実家または自分の家)で介護を受けさせたい」で、男性37.3%に対し、女性31.7%と男性の割合が高くなっている。全国と比較して、愛知県のほうが「可能な限り自宅(実家または自分の家)で介護を受けさせたい」(愛知県34.1%、全国58.9%)の割合が低く、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所させたい」(愛知県31.2%、全国24.1%)の割合が高い。

図2-1 家族を介護する場所



2) 親の介護

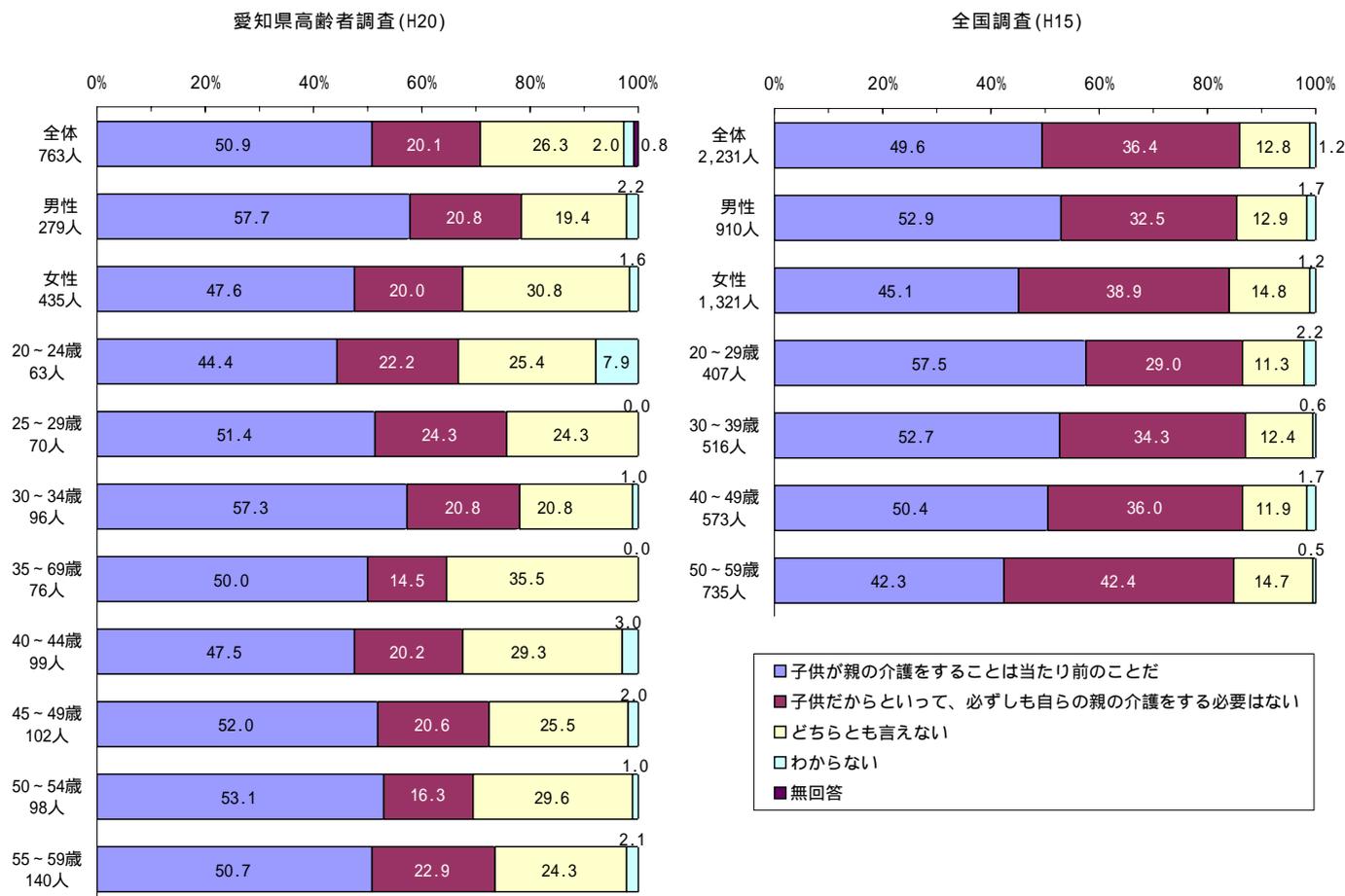
問2 一般論としてお伺いしますが、親が寝たきりや痴呆になった時、子が親の介護をすることについてどう思いますか。あなたの考えに近いのはどちらですか。(は1つ)

- 1 子供が親の介護をすることは当たり前のことだ
- 2 子供だからといって、必ずしも自らの親の介護をする必要はない
- 3 どちらとも言えない
- 4 わからない

親の介護について、「子供が親の介護をすることは当たり前のことだ」が50.9%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」26.3%、「子供だからといって、必ずしも自らの親の介護をする必要はない」20.1%となっている。全国と比較すると、「子供だからといって、必ずしも自らの親の介護をする必要はない」は、愛知県20.1%に対して、全国では36.4%と全国の割合が愛知県よりも高くなっている。

男女別に見ると、「子供が親の介護をすることは当たり前のことだ」(男性57.7%、女性47.6%)で男性の割合が高く、「どちらとも言えない」(男性19.4%、女性30.8%)で女性の割合が高くなっている。

図2-2 親の介護



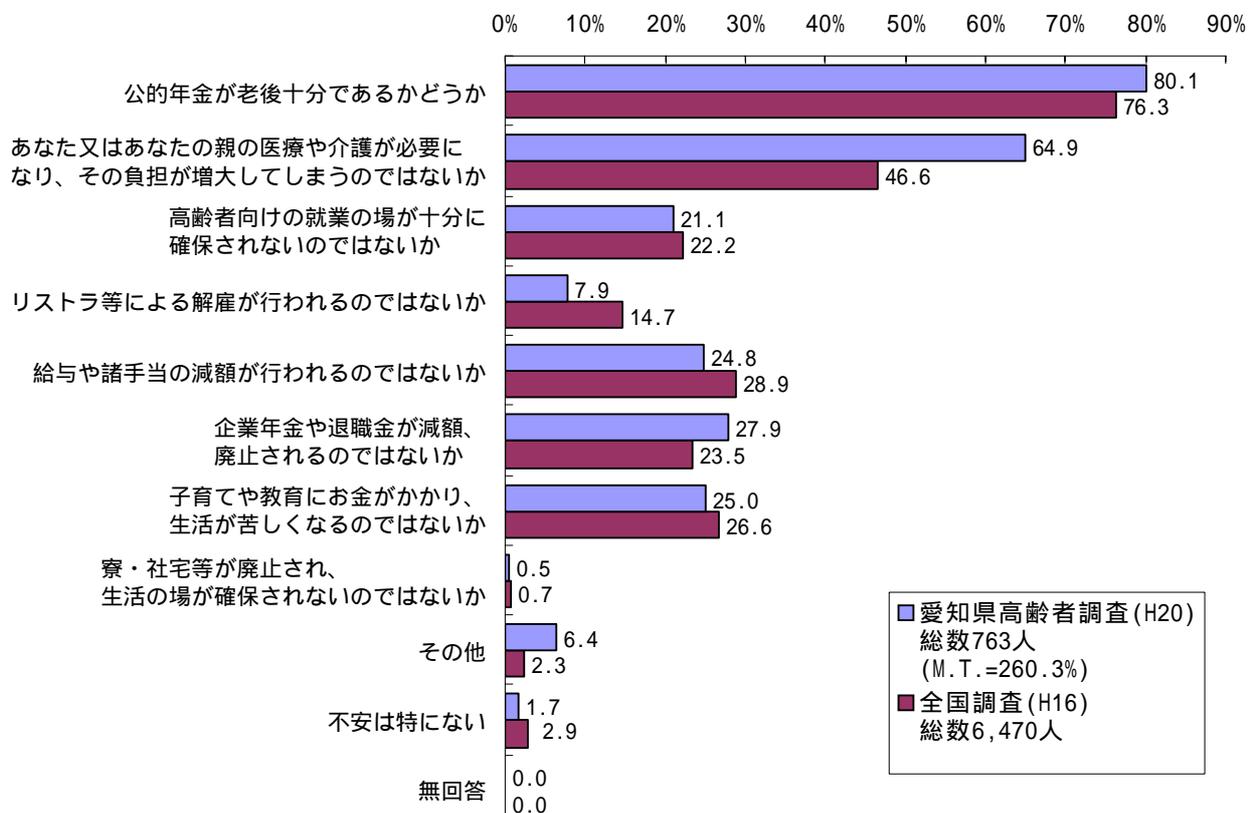
3) 将来への不安

問3 あなたは、現在、将来への不安はどのようなものがありますか。(は3つまで)

- 1 公的年金が老後十分であるかどうか
- 2 あなた又はあなたの親の医療や介護が必要になり、その負担が増大してしまうのではないかと
- 3 高齢者向けの就業の場が十分に確保されないのではないかと
- 4 リストラ等による解雇が行われるのではないかと
- 5 給与や諸手当の減額が行われるのではないかと
- 6 企業年金や退職金が減額、廃止されるのではないかと
- 7 子育てや教育にお金がかかり、生活が苦しくなるのではないかと
- 8 寮・社宅等が廃止され、生活の場が確保されないのではないかと
- 9 その他()
- 10 不安は特になし

将来への不安について、「公的年金が老後十分であるかどうか」が80.1%で最も多く、次いで「あなた又はあなたの親の医療や介護が必要になり、その負担が増大してしまうのではないかと」64.9%、「企業年金や退職金が減額、廃止されるのではないかと」27.9%、「子育てや教育にお金がかかり、生活が苦しくなるのではないかと」25.0%、「給与や諸手当の減額が行われるのではないかと」24.8%、「高齢者向けの就業の場が十分に確保されないのではないかと」21.1%となっている。全国と比較すると、「あなた又はあなたの親の医療や介護が必要になり、その負担が増大してしまうのではないかと」という項目で、全国46.6%に対し、愛知県では64.9%と高い割合になっている。

図2-3 将来への不安



M.T.は複数回答を認める質問に対する回答の比率の合計を示す

男女別に見ると、「高齢者向けの就業の場が十分に確保されないのではないか」（男性 27.6%、女 17.2%）、「リストラ等による解雇が行われるのではないか」（男性 10.0%、女性 6.2%）で男性の割合が女性に比べて高い。全国も同じ結果となっているが、「高齢者向けの就業の場が十分に確保されないのではないか」（男性 23.2%、女性 21.2%）については、愛知県が全国より男女の差が大きくなっている（愛知県 10.4 ポイント差、全国 2 ポイント差）。

また、「あなた又はあなたの親の医療や介護が必要になり、その負担が増大してしまうのではないか」（男性 60.2%、女性 67.6%）、「給与や諸手当の減額が行われるのではないか」（男性 21.9%、女性 26.9%）、「子育てや教育にお金がかかり、生活が苦しくなるのではないか」（男性 21.1%、女性 26.4%）で女性の割合が高くなっている。全国は、愛知県とは逆に「給与や諸手当の減額が行われるのではないか」（男性 31.0%、女性 26.9%）は、男性の割合が高くなっている。

表 2 - 1 将来への不安

	公的年金が老後十分であるかどうか	あなた又はあなたの親の医療や介護が必要になり、その負担が増大してしまうのではないか	高齢者向けの就業の場が十分に確保されないのではないか	リストラ等による解雇が行われるのではないか	給与や諸手当の減額が行われるのではないか	企業年金や退職金が減額、廃止されるのではないか	子育てや教育にお金がかかり、生活が苦しくなるのではないか	寮・社宅等が廃止され、生活の場が確保されないのではないか	その他	不安は特にない	無回答	(%)
全体	80.1	64.9	21.1	7.9	24.8	27.9	25.0	0.5	6.4	1.7	0.0	(n) 763
性別												
男性	81.0	60.2	27.6	10.0	21.9	28.7	21.1	0.7	6.5	2.5	0.0	279
女性	80.7	67.6	17.2	6.2	26.9	27.8	26.4	0.2	6.2	1.1	0.0	435
未記入	69.4	67.3	18.4	10.2	22.4	24.5	34.7	2.0	8.2	2.0	0.0	49
年代別												
20～24歳	63.5	42.9	14.3	14.3	38.1	30.2	41.3	0.0	6.3	4.8	0.0	63
25～29歳	74.3	52.9	8.6	12.9	40.0	22.9	50.0	0.0	5.7	4.3	0.0	70
30～34歳	74.0	60.4	14.6	9.4	19.8	26.0	37.5	1.0	13.5	3.1	0.0	96
35～39歳	73.7	69.7	14.5	9.2	30.3	21.1	43.4	0.0	11.8	0.0	0.0	76
40～44歳	73.7	67.7	22.2	10.1	29.3	26.3	28.3	1.0	5.1	1.0	0.0	99
45～49歳	88.2	69.6	26.5	5.9	20.6	30.4	13.7	0.0	2.0	0.0	0.0	102
50～54歳	91.8	72.4	23.5	4.1	25.5	31.6	7.1	0.0	4.1	0.0	0.0	98
55～59歳	87.1	71.4	31.4	2.9	10.0	31.4	5.7	0.7	5.7	2.1	0.0	140
未記入	89.5	57.9	26.3	10.5	31.6	26.3	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	19

	公的年金が老後十分であるかどうか	あなた又はあなたの親の医療や介護が必要になり、その負担が増大してしまうのではないか	高齢者向けの就業の場が十分に確保されないのではないか	リストラ等による解雇が行われるのではないか	給与や諸手当の減額が行われるのではないか	企業年金や退職金が減額、廃止されるのではないか	子育てや教育にお金がかかり、生活が苦しくなるのではないか	寮・社宅等が廃止され、生活の場が確保されないのではないか	その他	不安は特にない	無回答	(%)
総数	76.3	46.6	22.2	14.7	28.9	23.5	26.6	0.7	2.3	2.9		
性別												
男性	74.9	44.8	23.2	18.1	31.0	24.6	22.7	1.0	2.3	3.0		
女性	77.5	48.3	21.2	11.3	26.9	22.4	30.5	0.5	2.3	2.8		
年代別												
20～29歳	63.5	38.8	13.3	19.8	38.6	19.9	35.1	1.5	2.6	5.7		
30～39歳	73.2	45.2	14.8	16.1	32.3	22.1	42.7	0.8	1.7	2.9		
40～49歳	77.0	51.4	22.2	14.4	30.0	25.4	28.0	0.5	1.9	1.9		
50～59歳	85.5	48.6	33.5	10.8	19.8	25.2	7.3	0.5	3.0	2.2		

(n) は 100%が何人の回答者数に相当するかを示す

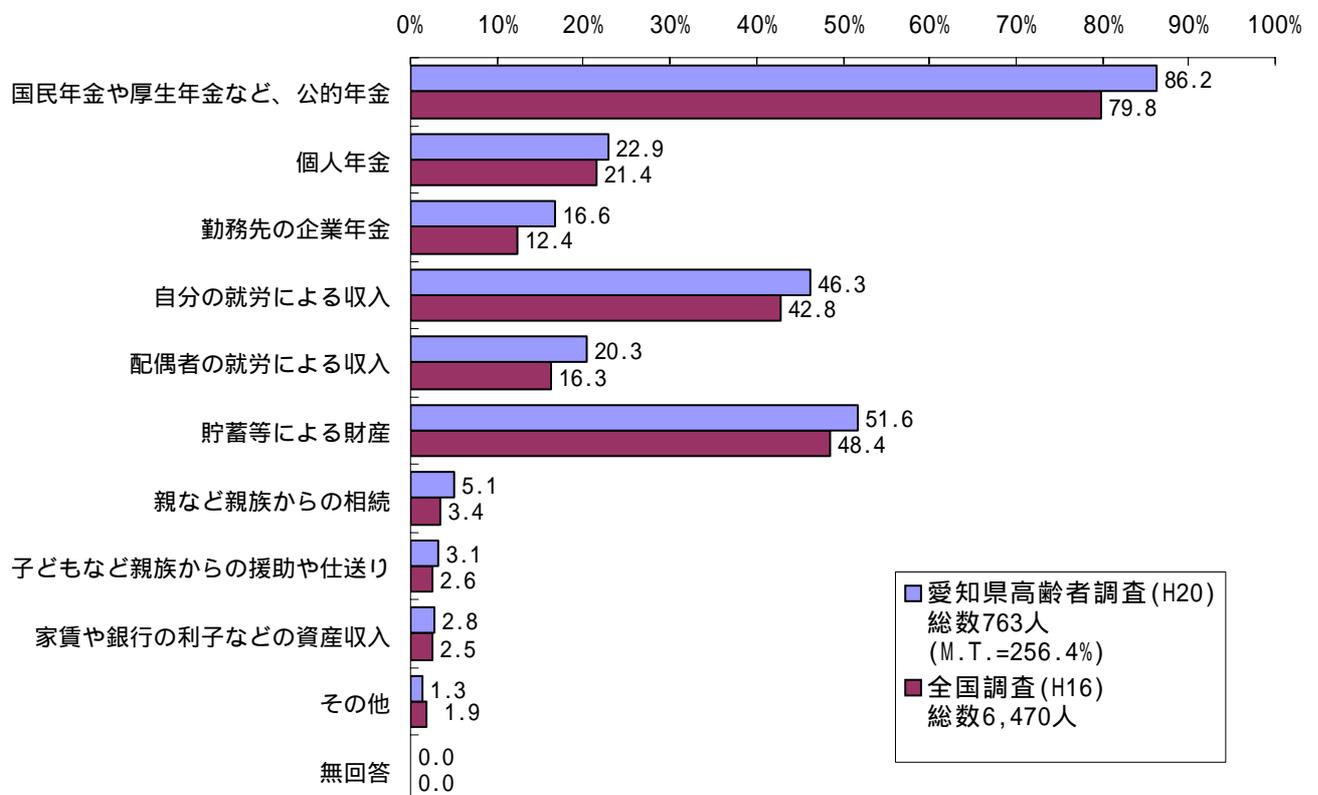
4) 老後の生計を支える手段

問4 あなたは、あなた自身の老後の生計を支える手段としてどのようなものを考えていますか。(は3つまで)

- 1 国民年金や厚生年金など、公的年金
- 2 個人年金
- 3 勤務先の企業年金
- 4 自分の就労による収入
- 5 配偶者の就労による収入
- 6 貯蓄等による財産
- 7 親など親族からの相続
- 8 子どもなど親族からの援助や仕送り
- 9 家賃や銀行の利子などの資産収入
- 10 その他()

老後の生計を支える手段について、「国民年金や厚生年金など、公的年金」が86.2%で最も多く、次いで「貯蓄等による財産」51.6%、「自分の就労による収入」46.3%、「個人年金」22.9%、「配偶者の就労による収入」20.3%、「勤務先の企業年金」16.6%となっている。全国も概ね同様の結果となっている。

図2-4 老後の生計を支える手段



男女別に見ると、「勤務先の企業年金」（男性 22.6%、女性 12.4%）、「自分の就労による収入」（男性 60.9%、女性 37.2%）では、男性の割合が高く、「配偶者の就労による収入」（男性 4.7%、女性 30.6%）、「貯蓄等による財産」（男性 48.7%、女性 53.8%）は、女性の割合が高くなっている。
全国も同じ結果となっている。

表 2 - 2 老後の生計を支える手段

愛知県民調査(H20)

	(%)											(n)
	国民年金 や厚生年 金など、 公的年金	個人年金	勤務先の 企業年金	自分の就 労による 収入	配偶者の 就労によ る収入	貯蓄等に よる財産	親など親 族からの 相続	子どもなど 親族からの 援助や仕送 り	家賃や銀 行の利子 などの資 産収入	その他	無回答	
全体	86.2	22.9	16.6	46.3	20.3	51.6	5.1	3.1	2.8	1.3	0.0	763
性別												
男性	87.5	24.0	22.6	60.9	4.7	48.7	4.7	2.5	3.9	2.2	0.0	279
女性	85.7	22.1	12.4	37.2	30.6	53.8	5.3	3.7	1.6	0.9	0.0	435
未記入	83.7	24.5	20.4	42.9	18.4	49.0	6.1	2.0	6.1	0.0	0.0	49
年代別												
20～24歳	66.7	9.5	22.2	69.8	20.6	60.3	1.6	1.6	1.6	3.2	0.0	63
25～29歳	80.0	22.9	8.6	58.6	30.0	60.0	5.7	2.9	0.0	1.4	0.0	70
30～34歳	76.0	13.5	13.5	47.9	21.9	57.3	8.3	7.3	3.1	2.1	0.0	96
35～39歳	78.9	21.1	14.5	44.7	30.3	55.3	7.9	1.3	5.3	1.3	0.0	76
40～44歳	85.9	34.3	26.3	37.4	20.2	46.5	4.0	1.0	2.0	0.0	0.0	99
45～49歳	90.2	31.4	17.6	35.3	15.7	44.1	4.9	2.0	2.0	2.0	0.0	102
50～54歳	95.9	20.4	11.2	45.9	18.4	49.0	4.1	7.1	3.1	0.0	0.0	98
55～59歳	97.9	25.0	17.1	42.9	15.0	49.3	5.0	2.1	4.3	1.4	0.0	140
未記入												19

全国調査(H16)

	(%)										
	国民年金 や厚生年 金など、 公的年金	個人年金	勤務先の 企業年金	自分の就 労による 収入	配偶者の 就労によ る収入	貯蓄等に よる財産	親など親 族からの 相続	子どもなど 親族からの 援助や仕送 り	家賃や銀 行の利子 などの資 産収入	その他	無回答
総数	79.8	21.4	12.4	42.8	16.3	48.4	3.4	2.6	2.5	1.9	
男性	78.7	22.1	16.5	51.9	5.8	47.1	3.9	2.3	3.3	2.2	
女性	80.9	20.8	8.4	34.0	26.6	49.7	2.8	2.9	1.6	1.7	
20～29歳	69.2	14.8	11.9	49.7	14.4	54.9	3.3	1.9	1.6	2.7	
30～39歳	74.7	22.8	13.3	42.9	17.7	54.7	3.1	1.9	2.8	1.9	
40～49歳	82.5	24.6	12.4	42.4	17.1	46.3	4.8	2.8	2.3	1.5	
50～59歳	88.0	21.6	11.9	39.2	15.6	41.1	2.4	3.5	2.8	1.9	

5) 自由時間の過ごし方

問5 あなたは、現在、どのようなことをして自分の自由になる時間を過ごしていますか。この中からいくつかもあげてください。(複数回答可)

- 1 ラジオを聞いたり、テレビを見たりする
- 2 新聞・雑誌などを読んだりする
- 3 パソコンや携帯電話などを利用して情報の閲覧やメールのやり取りなどをする
- 4 のんびり休養する
- 5 運動やスポーツなど体を動かす
- 6 地域活動や社会活動をする
- 7 趣味を楽しむ
- 8 知識を吸収する
- 9 旅行に行く
- 10 ショッピングに行く
- 11 家族との団らんを楽しむ
- 12 知人・友人と過ごす
- 13 その他()
- 14 わからない

自由時間の過ごし方について、「ラジオを聞いたり、テレビを見たりする」が68.5%で最も高く、次いで「のんびり休養する」45.7%、「趣味を楽しむ」45.0%、「ショッピングに行く」43.3%、「新聞・雑誌などを読んだりする」42.6%、「家族との団らんを楽しむ」39.7%、「パソコンや携帯電話などを利用して情報の閲覧やメールのやり取りなどをする」35.8%、「知人・友人と過ごす」33.3%となっている。

全国と比較すると、「ラジオを聞いたり、テレビを見たりする」(愛知県68.5%、全国49.2%)は愛知県が全国より19.3ポイントと大幅に高くなっており、「旅行に行く」(愛知県28.3%、全国18.2%)も愛知県のほうが高い。

男女別で見ると、「趣味を楽しむ」(男性51.3%、女性40.0%)、「運動やスポーツなど体を動かす」(男性29.4%、女性19.8%)は男性のほうが高く、「ショッピングに行く」(男性27.2%、女性54.0%)、「知人・友人と過ごす」(男性20.4%、女性40.9%)、「家族との団らんを楽しむ」(男性32.3%、女性44.1%)、「新聞・雑誌などを読んだりする」(男性36.2%、女性46.9%)、「のんびり休養する」(男性41.6%、女性48.7%)は女性のほうが高い。

年齢別に見ると、総じて「パソコンや携帯電話などを利用して情報の閲覧やメールのやり取りなどをする」、「知人・友人と過ごす」は、年齢が高くなるほど割合が低くなっている。

図2-5 自由時間の過ごし方

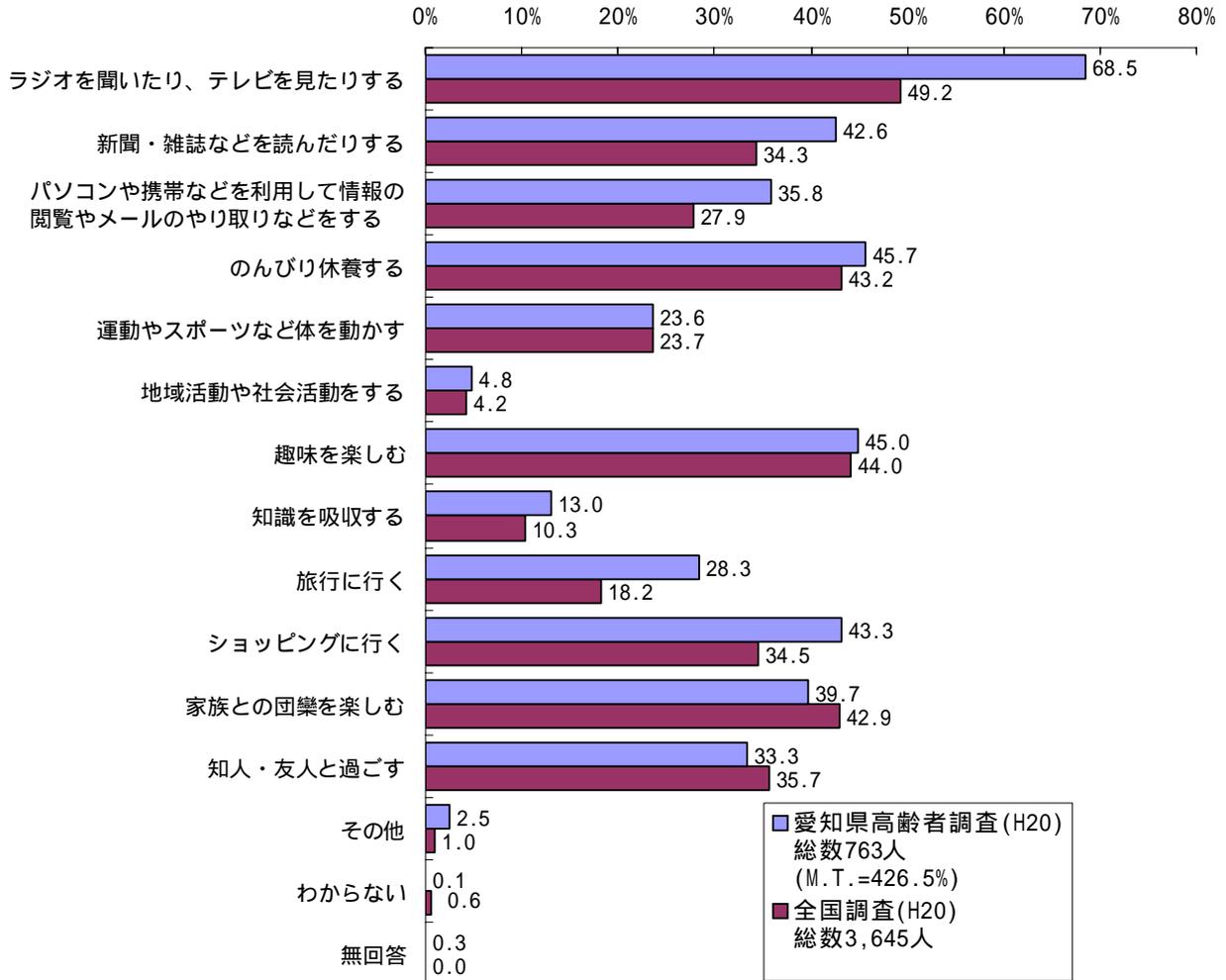


表2-3 自由時間の過ごし方

愛知県民調査 (H20)														(%)		
	ラジオを聞いたり、テレビを見たりする	新聞・雑誌などを読んだりする	パソコンや携帯などを利用して情報の閲覧やメールのやり取りなどをする	のんびり休養する	運動やスポーツなどを動かす	地域活動や社会活動をする	趣味を楽しむ	知識を吸収する	旅行に行く	ショッピングに行く	家族との団楽を楽しむ	知人・友人と過ごす	その他	わからない	無回答	
全体	68.5	42.6	35.8	45.7	23.6	4.8	45.0	13.0	28.3	43.3	39.7	33.3	2.5	0.1	0.3	
性別																
男性	68.1	36.2	37.6	41.6	29.4	5.0	51.3	14.3	26.2	27.2	32.3	20.4	2.9	0.0	0.0	
女性	70.1	46.9	34.7	48.7	19.8	4.8	40.0	12.4	30.8	54.0	44.1	40.9	2.5	0.2	0.0	
未記入	57.1	40.8	34.7	42.9	24.5	4.1	53.1	10.2	18.4	38.8	42.9	38.8	0.0	0.0	4.1	
年代別																
20～24歳	65.1	33.3	60.3	47.6	23.8	3.2	58.7	17.5	30.2	57.1	30.2	65.1	1.6	0.0	0.0	
25～29歳	55.7	41.4	48.6	45.7	22.9	1.4	45.7	7.1	35.7	57.1	41.4	52.9	0.0	0.0	0.0	
30～34歳	69.8	35.4	40.6	52.1	27.1	1.0	41.7	18.8	27.1	40.6	54.2	34.4	1.0	1.0	0.0	
35～39歳	72.4	39.5	39.5	44.7	19.7	7.9	35.5	10.5	19.7	42.1	50.0	32.9	5.3	0.0	0.0	
40～44歳	65.7	41.4	29.3	42.4	27.3	5.1	39.4	10.1	25.3	46.5	45.5	30.3	3.0	0.0	0.0	
45～49歳	67.6	35.3	32.4	52.0	16.7	9.8	40.2	8.8	25.5	44.1	39.2	23.5	1.0	0.0	0.0	
50～54歳	66.3	48.0	34.7	46.9	24.5	5.1	48.0	12.2	26.5	36.7	34.7	25.5	2.0	0.0	0.0	
55～59歳	79.3	55.7	21.4	39.3	27.1	5.0	50.7	16.4	36.4	35.7	27.1	24.3	4.3	0.0	0.0	
未記入	57.9	47.4	31.6	36.8	10.5	0.0	47.4	15.8	15.8	31.6	42.1	26.3	5.3	0.0	10.5	
全体	49.2	34.3	27.9	43.2	23.7	4.2	44.0	10.3	18.2	34.5	42.9	35.7	1.0	0.6	0.0	
性別																
男性	45.7	30.1	29.2	44.3	30.5	3.8	49.0	11.9	16.5	20.8	39.9	24.7	1.0	0.4	0.0	
女性	52.2	37.8	26.8	42.2	17.9	4.6	39.8	8.9	19.6	46.0	45.4	44.9	1.0	0.8	0.0	
年代別																
20～29歳	48.1	32.3	43.5	52.7	29.3	2.7	55.9	14.1	19.0	46.4	40.3	54.6	0.0	0.4	0.0	
30～39歳	45.3	29.8	34.3	43.2	21.5	2.6	40.0	8.8	14.1	35.9	50.8	37.2	0.7	0.6	0.0	
40～49歳	47.5	34.5	28.1	43.3	23.7	4.2	39.9	9.8	16.4	33.8	46.1	32.0	1.0	0.2	0.0	
50～59歳	54.1	38.3	16.7	39.3	23.1	6.0	45.9	10.3	22.5	29.3	35.1	30.1	1.5	0.9	0.0	

6) 将来に備えるか、毎日の生活を充実させて楽しむか

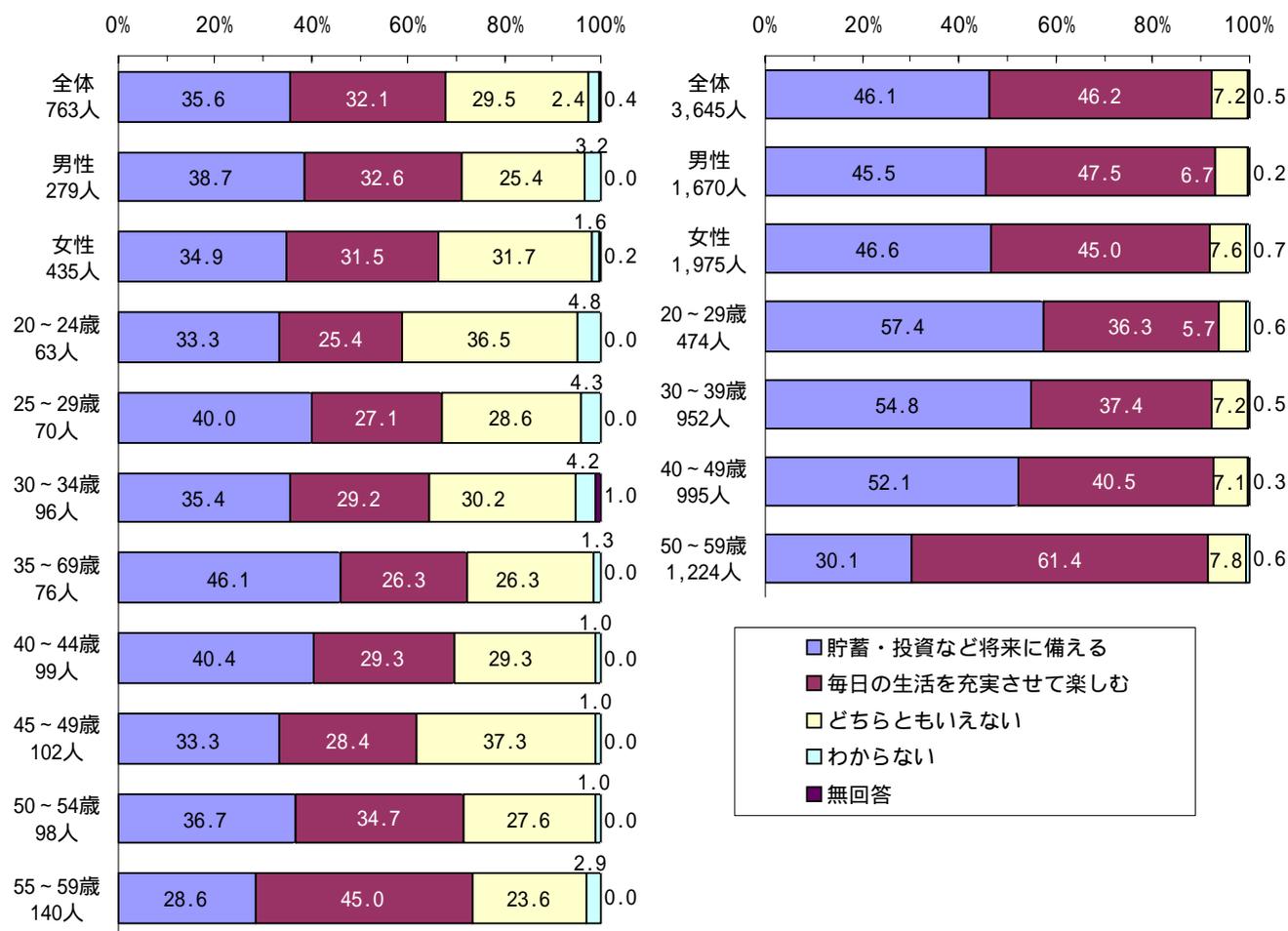
問6 あなたは、今後の生活において、貯蓄や投資など将来に備えることに力を入れたいと思いますか、それとも毎日の生活を充実させて楽しむことに力を入れたいと思いますか。(は1つ)

- 1 貯蓄・投資など将来に備える
- 2 毎日の生活を充実させて楽しむ
- 3 どちらともいえない
- 4 わからない

今後の生活において、将来に備えるか、毎日の生活を充実させて楽しむかについてみると、「貯蓄・投資など将来に備える」が35.6%、「毎日の生活を充実させて楽しむ」32.1%、「どちらともいえない」29.5%と、回答が分かれている。「毎日の生活を充実させて楽しむ」で、全国、愛知県ともに50歳以上で高い値となっている。

全国と比較すると、「貯蓄・投資など将来に備える」(愛知県35.6%、全国46.1%)「毎日の生活を充実させて楽しむ」(愛知県32.1%、全国46.2%)はともに全国が愛知県より高くなっており、「どちらともいえない」(愛知県29.5%、全国7.2%)は愛知県が全国より22.3ポイントと大幅に高くなっている。

図2-6 将来に備えるか、毎日の生活を充実させて楽しむか
愛知県高齢者調査(H20) 全国調査(H20)



7) 高齢化進展によって重要となる課題

問7 今後、高齢化が一層進展することで、日本の経済や社会にとってどのような課題が重要になると考えますか。(は3つまで)

- 1 持続可能な年金、医療などの社会保障制度の構築
- 2 就業等を通じた高齢者の能力や経験の発揮
- 3 生涯にわたる健康づくりや、高齢者介護対策
- 4 生涯のいつでも自由の学ぶことができる生涯学習社会の形成
- 5 ボランティアや地域活動等を通じた高齢者の社会参加の促進
- 6 バリアフリーに配慮した住宅政策、まちづくり
- 7 災害対策、交通安全対策、防犯などに留意した安全・安心に生活できる社会
- 8 高齢者と若い世代の世代間交流の活性化など、世代間の連帯の強化
- 9 人口減少社会に対応した産業構造への転換・技術革新
- 10 その他()
- 11 特にない
- 12 わからない

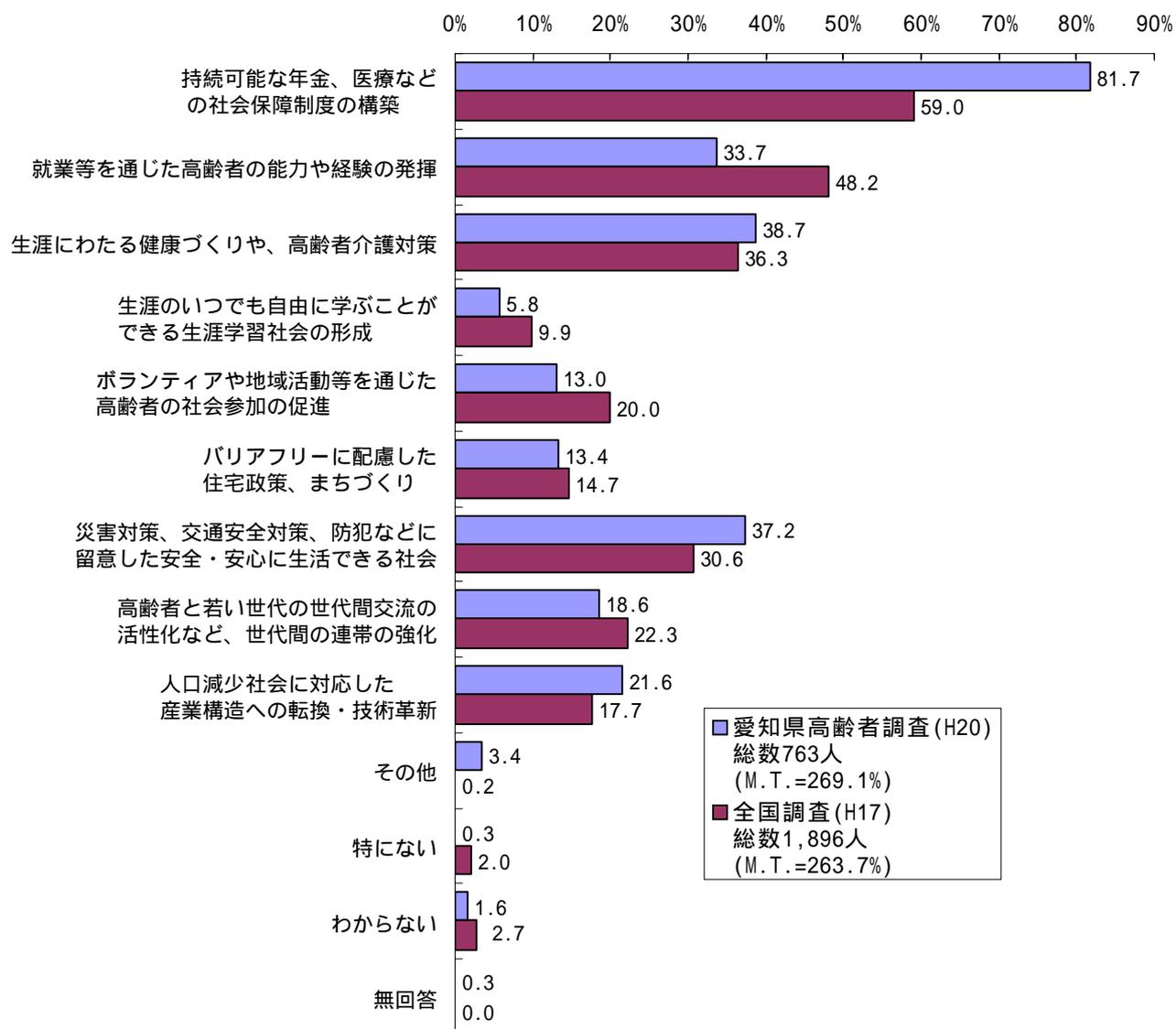
高齢化の進展により重要となる課題についてみると、「持続可能な年金、医療などの社会保障制度の構築」が81.7%で最も多く、次いで「生涯にわたる健康づくりや、高齢者介護対策」38.7%、「災害対策、交通安全対策、防犯などに留意した安全・安心に生活できる社会」37.2%、「就業等を通じた高齢者の能力や経験の発揮」33.7%となっている。

「持続可能な年金、医療などの社会保障制度の構築」(愛知県81.7%、全国59.0%)、「災害対策、交通安全対策、防犯などに留意した安全・安心に生活できる社会」(愛知県37.2%、全国30.6%)は、全国よりも愛知県のほうが割合が高く、「就業等を通じた高齢者の能力や経験の発揮」(愛知県33.7%、全国48.2%)、「ボランティアや地域活動等を通じた高齢者の社会参加の促進」(愛知県13.0%、全国20.0%)は全国のほうが高い割合となっている。

表2-4 高齢化進展によって重要となる課題

愛知県民調査(H20)		(%)												(n)
	持続可能な年金、医療などの社会保障制度の構築	就業等を通じた高齢者の能力や経験の発揮	生涯にわたる健康づくりや、高齢者介護対策	生涯のいつでも自由の学ぶことができる生涯学習社会の形成	ボランティアや地域活動等を通じた高齢者の社会参加の促進	バリアフリーに配慮した住宅政策、まちづくり	災害対策、交通安全対策、防犯などに留意した安全・安心に生活できる社会	高齢者と若い世代の世代間交流の活性化など、世代間の連帯の強化	人口減少社会に対応した産業構造への転換・技術革新	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	81.7	33.7	38.7	5.8	13.0	13.4	37.2	18.6	21.6	3.4	0.3	1.6	0.3	763
性別														
男性	81.0	36.9	35.1	4.7	15.4	8.6	34.1	15.4	30.1	4.3	0.4	1.4	0.0	279
女性	81.6	32.4	42.1	6.2	11.5	15.9	39.1	20.2	17.0	3.0	0.0	1.4	0.5	435
未記入	85.7	26.5	28.6	8.2	12.2	18.4	38.8	22.4	14.3	2.0	2.0	4.1	0.0	49
年代別														
20～24歳	76.2	33.3	27.0	7.9	6.3	15.9	49.2	25.4	23.8	3.2	0.0	3.2	0.0	63
25～29歳	77.1	28.6	37.1	10.0	8.6	25.7	42.9	20.0	24.3	2.9	0.0	1.4	0.0	70
30～34歳	71.9	31.3	38.5	6.3	18.8	15.6	31.3	20.8	15.6	4.2	2.1	3.1	0.0	96
35～39歳	78.9	25.0	38.2	3.9	17.1	11.8	36.8	25.0	27.6	1.3	0.0	0.0	0.0	76
40～44歳	79.8	36.4	35.4	3.0	14.1	14.1	36.4	13.1	16.2	6.1	0.0	2.0	2.0	99
45～49歳	86.3	34.3	43.1	6.9	7.8	8.8	36.3	13.7	21.6	3.9	0.0	1.0	0.0	102
50～54歳	83.7	43.9	38.8	4.1	16.3	11.2	34.7	15.3	26.5	4.1	0.0	1.0	0.0	98
55～59歳	91.4	33.6	45.7	5.0	12.9	10.0	35.7	18.6	20.0	2.1	0.0	1.4	0.0	140
未記入	78.9	31.6	26.3	10.5	10.5	10.5	42.1	26.3	26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	19

図2-7 高齢化進展によって重要となる課題



8) 健康長寿あいち宣言の認知度 <愛知県独自項目>

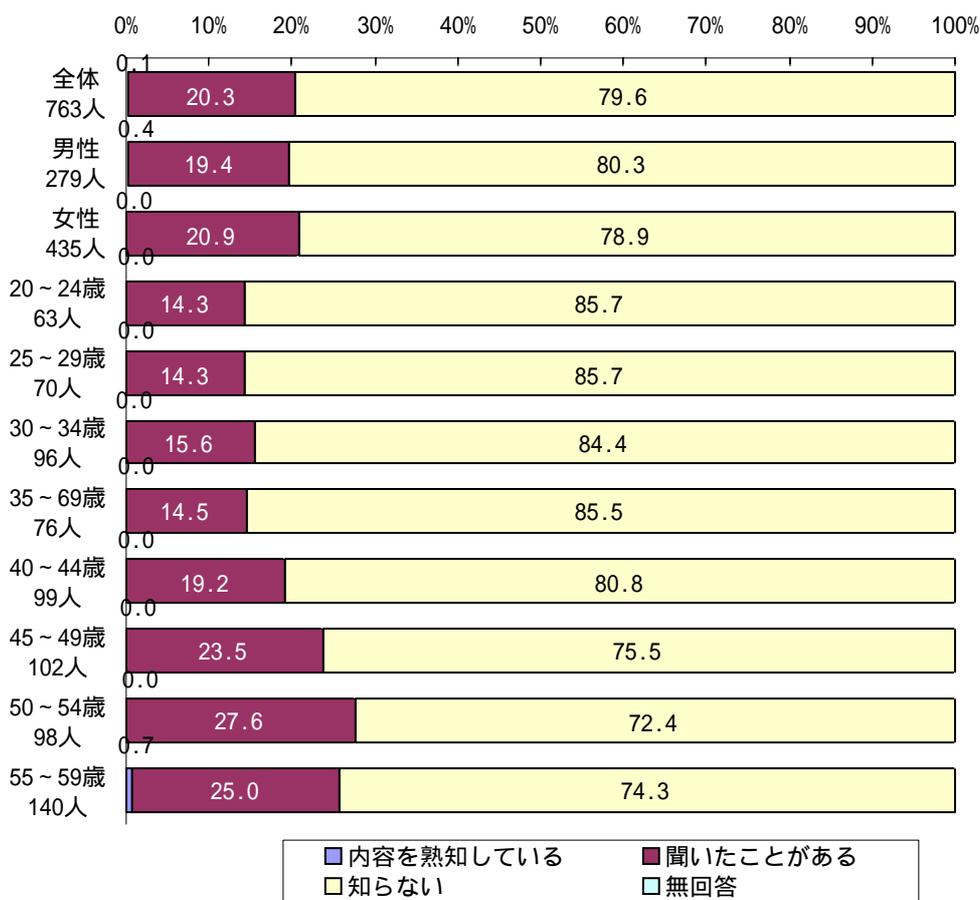
問8 愛知県は、平成18年3月に健康で長生きして良かったと思える長寿社会づくりを目指し「健康長寿あいち宣言」を発表しました。宣言は 全世代にわたる健康づくり、 活力ある地域社会づくり、健康長寿産業の育成を主な内容とし、都道府県レベルでは初の数値目標を掲げています。あなたは「健康長寿あいち宣言」を知っていますか。次の中から選んでください。（は1つ）

- 1 内容を熟知している
- 2 聞いたことがある
- 3 知らない

健康長寿あいち宣言の認知度は、「熟知している」0.1%、「聞いたことがある」20.3%であるのに対して、「知らない」が79.6%で8割近くを占めており、男女による違いはほとんどない。年齢別では、年齢が高くなるほど「聞いたことがある」の回答が多くなっている。

なお、「聞いたことがある」と「熟知している」を合計した認知度は20.4%となっており、昨年度の調査結果5.6%、一昨年の8.4%と比べ、大きく増加している。

図2 - 8 健康長寿あいち宣言の認知度



9) あいち健康の森の認知度 <愛知県独自項目>

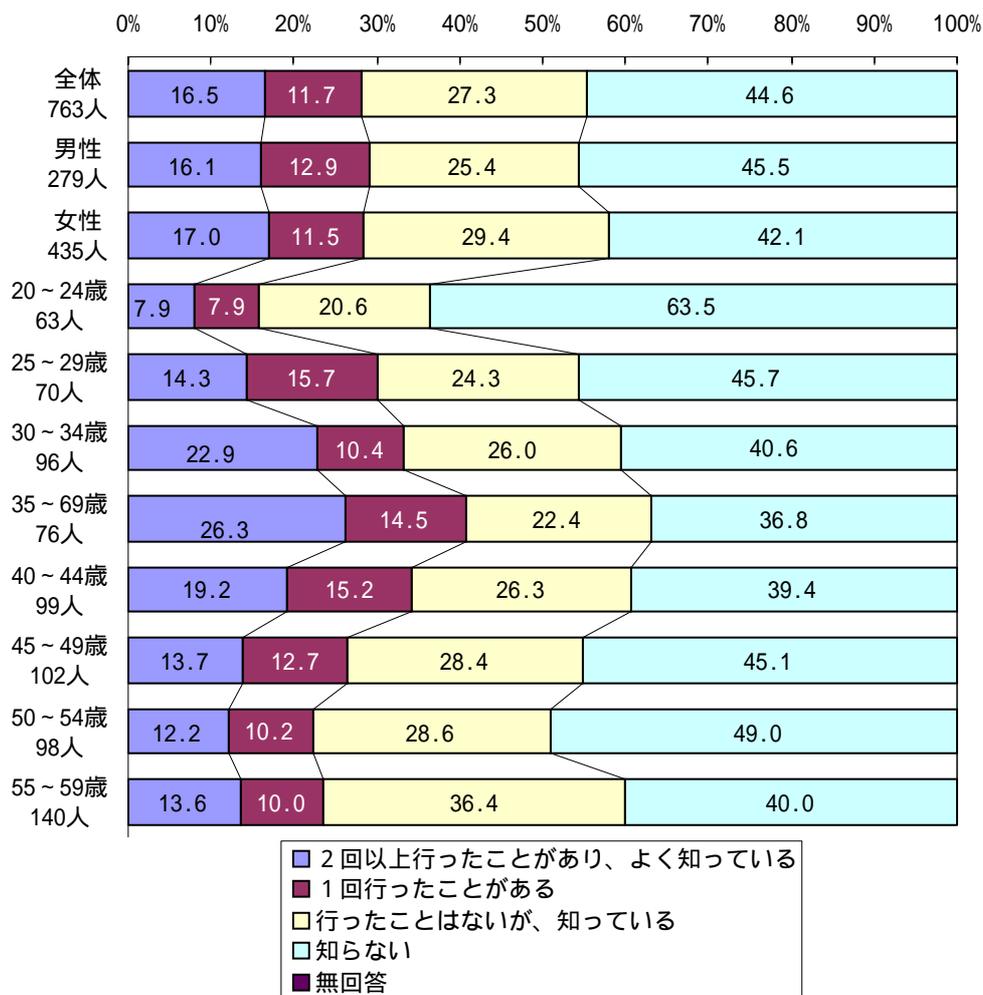
問9 大府市と東浦町にまたがる地域に、長生きして良かったと思える長寿社会を実現するための「あいち健康の森」がありますが、あなたは知っていますか。また、今までに行ったことがありますか。
(は1つ)

- 1 2回以上行ったことがあり、よく知っている
- 2 1回行ったことがある
- 3 行ったことはないが、知っている
- 4 知らない

あいち健康の森の認知度は、「2回以上行ったことがあり、よく知っている」が16.5%、「1回行ったことがある」11.7%、「行ったことはないが、知っている」27.3%、以上の合計が55.5%で、あいち健康の森の認知度は過半数となっている。男女による差は、ほとんど見られない。

なお、昨年度の認知度は56.9%、一昨年は53.1%となっており、おおむね今年度と同じ結果となっている。

図2-9 あいち健康の森の認知度



10) ヘルシーネット <愛知県独自項目>

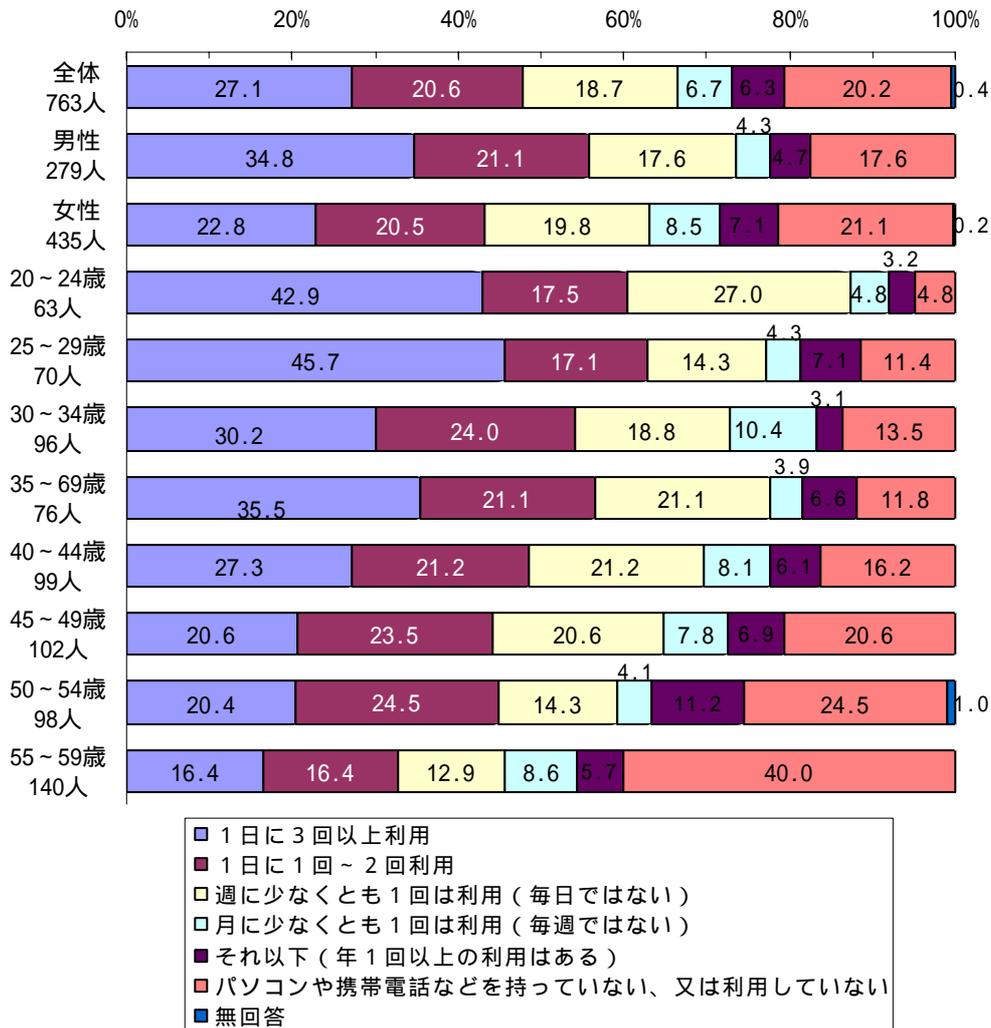
問10 愛知県では、パソコンや携帯電話などからインターネットを利用して毎日の運動や生活習慣の記録を入力し、その結果を健康づくりに役立てる「あいちヘルシーネット（仮称）」の準備を進めています。あなたは、パソコンや携帯電話などからインターネットを利用（メールの送受信やインターネット上の情報閲覧など）していますか。（ は1つ）

- 1 1日に3回以上利用
- 2 1日に1回～2回利用
- 3 週に少なくとも1回は利用（毎日ではない）
- 4 月に少なくとも1回は利用（毎週ではない）
- 5 それ以下（年1回以上の利用はある）
- 6 パソコンや携帯電話を持っていない、又は利用していない

ヘルシーネットに関連してインターネットの利用について見ると、「1日に3回以上利用」が27.1%と最も多く、次いで「1日に1回～2回利用」が20.6%、「パソコンや携帯電話を持っていない、又は利用していない」20.2%、「週に少なくとも1回は利用（毎日ではない）」18.7%となっている。「1日に3回以上利用」「1日に1回～2回利用」をあわせた毎日利用している人は、47.7%と半数近くになっている。

男女別に見ると、毎日利用している人は、男性55.9%に対し、女性43.3%と男性のほうが高い割合となっている。年齢別に見ると、年齢が低いほどインターネットの利用頻度は高くなっている。

図2-10 ヘルシーネット



11) 重粒子線治療 <愛知県独自項目>

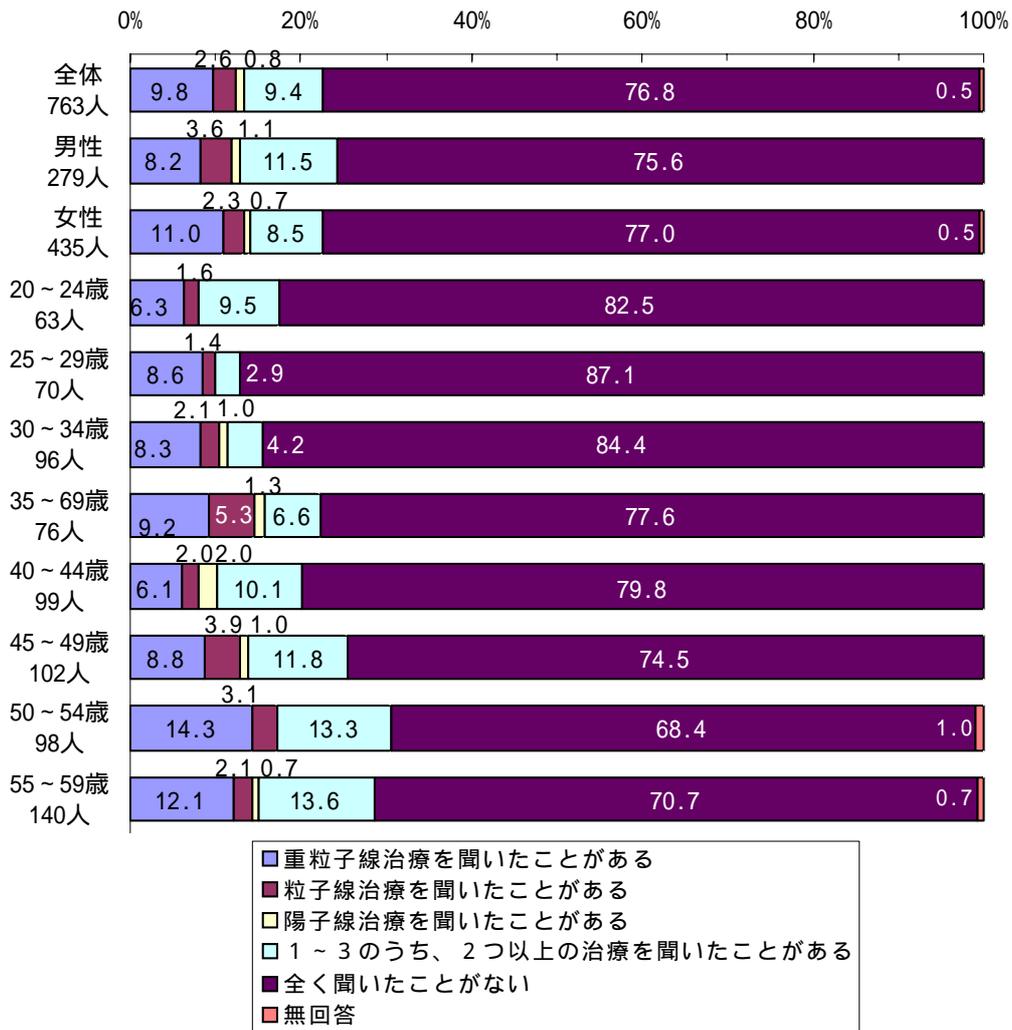
問11 愛知県では、患者の体の負担が大きい手術や化学療法治療を行うことなく、がんを治療することができる最先端の放射線治療技術である「重粒子線治療」施設の誘致を進めています。あなたは、「重粒子線治療」等を知っていますか。(は1つ)

- 1 重粒子線治療を聞いたことがある
- 2 粒子線治療を聞いたことがある
- 3 陽子線治療を聞いたことがある
- 4 1～3のうち、2つ以上の治療を聞いたことがある
- 5 全く聞いたことがない

重粒子線治療について、「まったく聞いたことがない」が76.8%で、全体、男女別に見ても7割を超えている。「重粒子線治療を聞いたことがある」は9.8%、「粒子線治療を聞いたことがある」2.6%、「陽子線治療を聞いたことがある」0.8%となっている。

年齢別では、総じて年齢が低くなるほど「まったく聞いたことがない」の割合が高くなっている。

図2 - 11 重粒子線治療



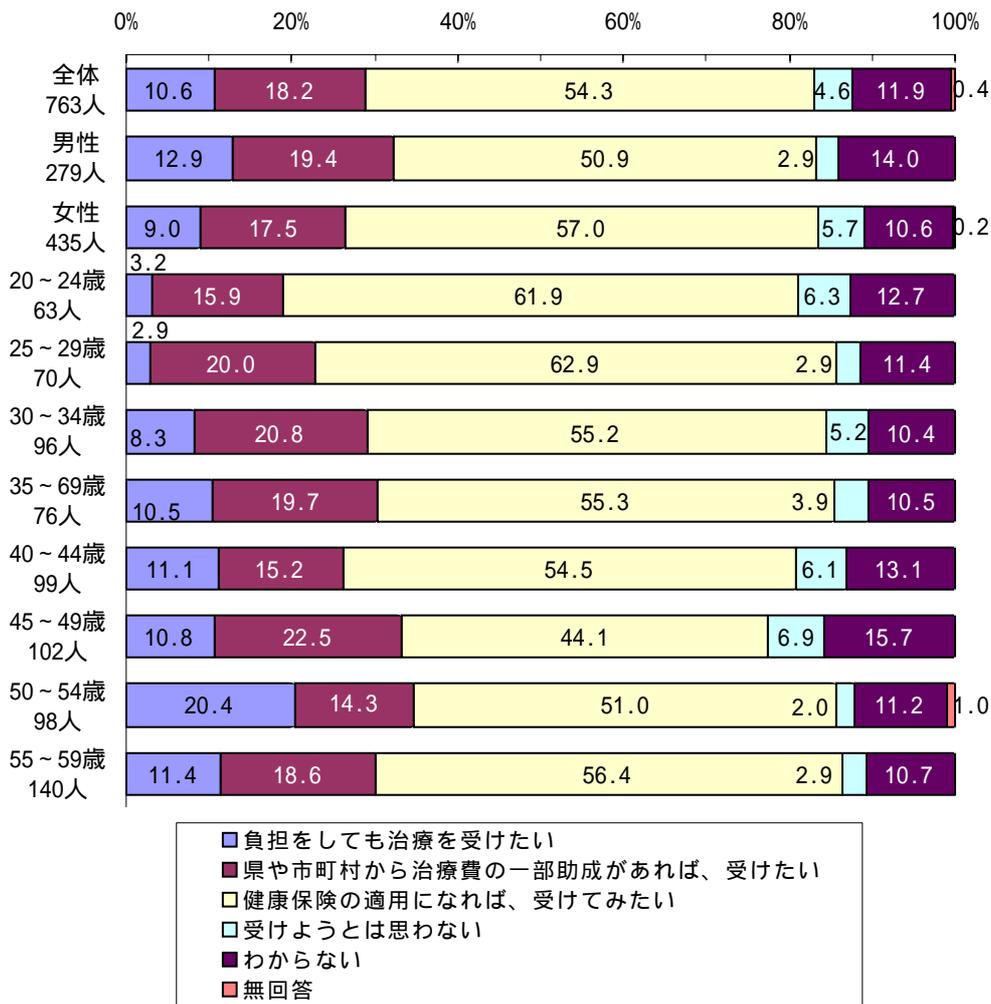
12) 重粒子線治療 <愛知県独自項目>

問12 「重粒子線治療」は、手術に比べて身体的負担が少ないため、早期の社会復帰が可能であり、また、高齢者に優しい治療法であるといえます。しかし、現在のところ、健康保険適用がなされないため、治療費が約300万円と比較的高額になります。あなたががんになった場合、この治療を受けてみようと考えますか。(は1つ)

- 1 負担をしても治療を受けたい
- 2 県や市町村から治療費の一部助成があれば、受けたい
- 3 健康保険の適用になれば、受けてみたい
- 4 受けようとは思わない
- 5 わからない

重粒子線治療を受けたいと考えるか否かについて、「負担をしても治療を受けたい」10.6%、「県や市町村から治療費の一部助成があれば、受けたい」18.2%、「健康保険の適用になれば、受けてみたい」54.3%で、受けたいと考えているのは合計で83.1%と8割を超えている。

図2 - 12 重粒子線治療



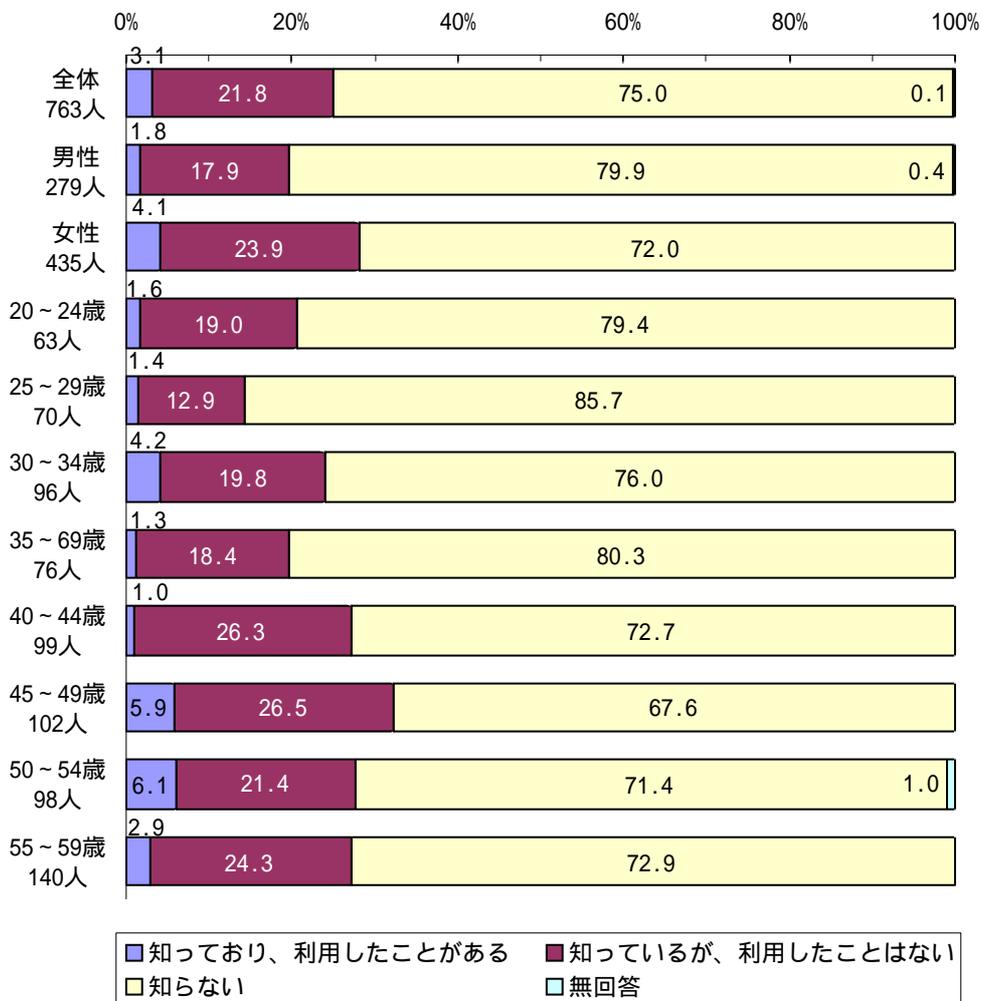
13) 地域包括支援センター <愛知県独自項目>

問13 高齢者の方が住みなれた地域で、安心してその人らしい生活を送ることができるよう、介護サービスをはじめ、福祉、医療、権利擁護などさまざまなサービスに対する支援を行い、高齢者の方々の生活を支える総合的な機関として、各市町村に「地域包括支援センター」が設置されていますが、あなたは知っていますか（ は1つ）

- 1 知っており、利用したことがある
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 知らない

地域包括支援センターの認知度についての質問では、「知らない」が75.0%と7割を超えている。男女別では、「知っており、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」をあわせた知っている人の割合が、男性19.7%に対し、女性では28.0%と高くなっている。

図2 - 13 地域包括支援センター



14) 高齢者いきがい <愛知県独自項目>

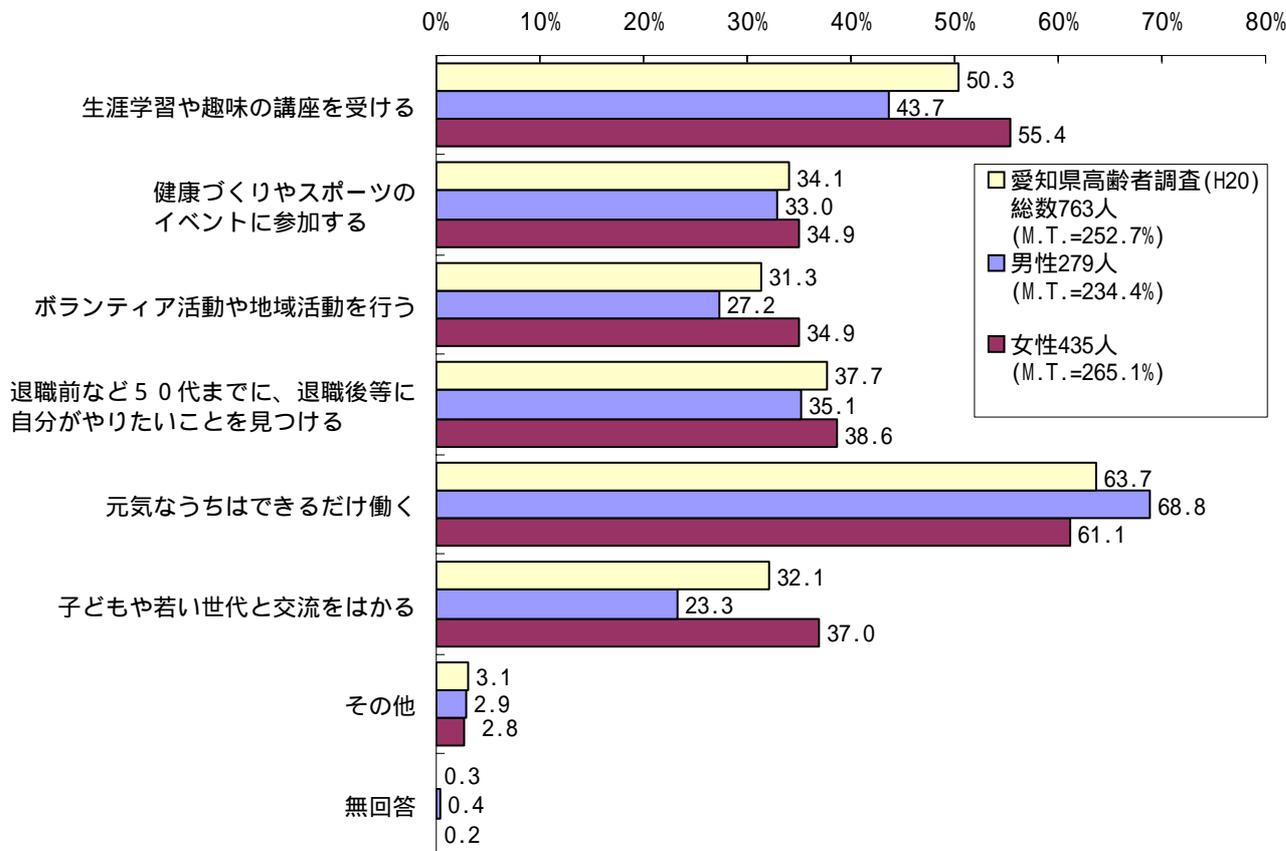
問14 あなたは高齢者の生きがいづくりには、どんなことが有効だと思いますか。(複数回答可)

- 1 生涯学習や趣味の講座を受ける
- 2 健康づくりやスポーツのイベントに参加する
- 3 ボランティア活動や地域活動を行う
- 4 退職前など50代までに、退職後等に自分がやりたいことを見つける
- 5 元気なうちはできるだけ働く
- 6 子どもや若い世代と交流をはかる
- 7 その他()

高齢者のいきがいづくりに有効なことについては、「元気なうちはできるだけ働く」が63.7%で最も多く、男女別においても6割以上となっている。全体で見ると、次いで、「生涯学習や趣味の講座を受ける」が50.3%、「退職前など50代までに、退職後等に自分がやりたいことを見つける」37.7%、「健康づくりやスポーツのイベントに参加する」34.1%、「子どもや若い世代と交流をはかる」32.1%、「ボランティア活動や地域活動を行う」31.3%、となっている。

男女別に見ると、「子どもや若い世代と交流をはかる」(男性23.3%、女性37.0%)、「生涯学習や趣味の講座を受ける」(男性43.7%、女性55.4%)、「ボランティア活動や地域活動を行う」(男性27.2%、女性34.9%)では女性の割合が高く、「元気なうちはできるだけ働く」(男性68.8%、女性61.1%)では男性の割合が高い。

図2 - 14 高齢者いきがい



年齢別に見ると、総じて年齢が高くなるにつれて「ボランティア活動や地域活動を行う」の割合が高くなっており、「生涯学習や趣味の講座を受ける」の割合は低くなっている。

表2 - 5 高齢者いきがい

愛知県民調査(H20)									(%)	
	生涯学習や趣味の講座を受ける	健康づくりやスポーツのイベントに参加する	ボランティア活動や地域活動を行う	退職前など50代までに、退職後等に自分がやりたいことを見つける	元気なうちはできるだけ働く	子どもや若い世代と交流をはかる	その他	無回答	(n)	
全体	50.3	34.1	31.3	37.7	63.7	32.1	3.1	0.3	763	
性別										
男性	43.7	33.0	27.2	35.1	68.8	23.3	2.9	0.4	279	
女性	55.4	34.9	34.9	38.6	61.1	37.0	2.8	0.2	435	
未記入	42.9	32.7	22.4	44.9	57.1	38.8	8.2	0.0	49	
年代別										
20～24歳	52.4	39.7	22.2	34.9	54.0	41.3	4.8	0.0	63	
25～29歳	72.9	47.1	25.7	40.0	61.4	48.6	5.7	0.0	70	
30～34歳	49.0	32.3	29.2	37.5	52.1	37.5	3.1	0.0	96	
35～39歳	48.7	34.2	35.5	35.5	68.4	32.9	6.6	0.0	76	
40～44歳	48.5	31.3	30.3	34.3	75.8	22.2	1.0	0.0	99	
45～49歳	49.0	33.3	29.4	40.2	60.8	31.4	2.0	0.0	102	
50～54歳	45.9	25.5	36.7	36.7	69.4	18.4	2.0	1.0	98	
55～59歳	45.0	32.9	36.4	38.6	62.9	31.4	2.1	0.7	140	
未記入	52.6	47.4	26.3	52.6	73.7	42.1	5.3	0.0	19	

15) 薬草園 <愛知県独自項目>

問15 現在、様々な生活に薬草・ハーブが利用されていますが、あなたは薬草・ハーブ(商品を含む)をどのように利用していますか、あるいは利用してみたいと思いますか。(複数回答可)

- 1 お茶・お菓子・お料理など飲食用として利用している
- 2 お香・アロマ・石けんなど香りを利用している
- 3 鑑賞用に栽培している
- 4 虫除けとして利用している
- 5 その他()として利用している
- 6 現在は利用していないが、飲食用として利用してみたい
- 7 現在は利用していないが、香りを利用してみたい
- 8 現在は利用していないが、観賞用として利用してみたい
- 9 現在は利用していないが、虫除けとして利用してみたい
- 10 現在は利用していないが、今後()で利用してみたい
- 11 現在利用していないし、今後も利用したいと思わない

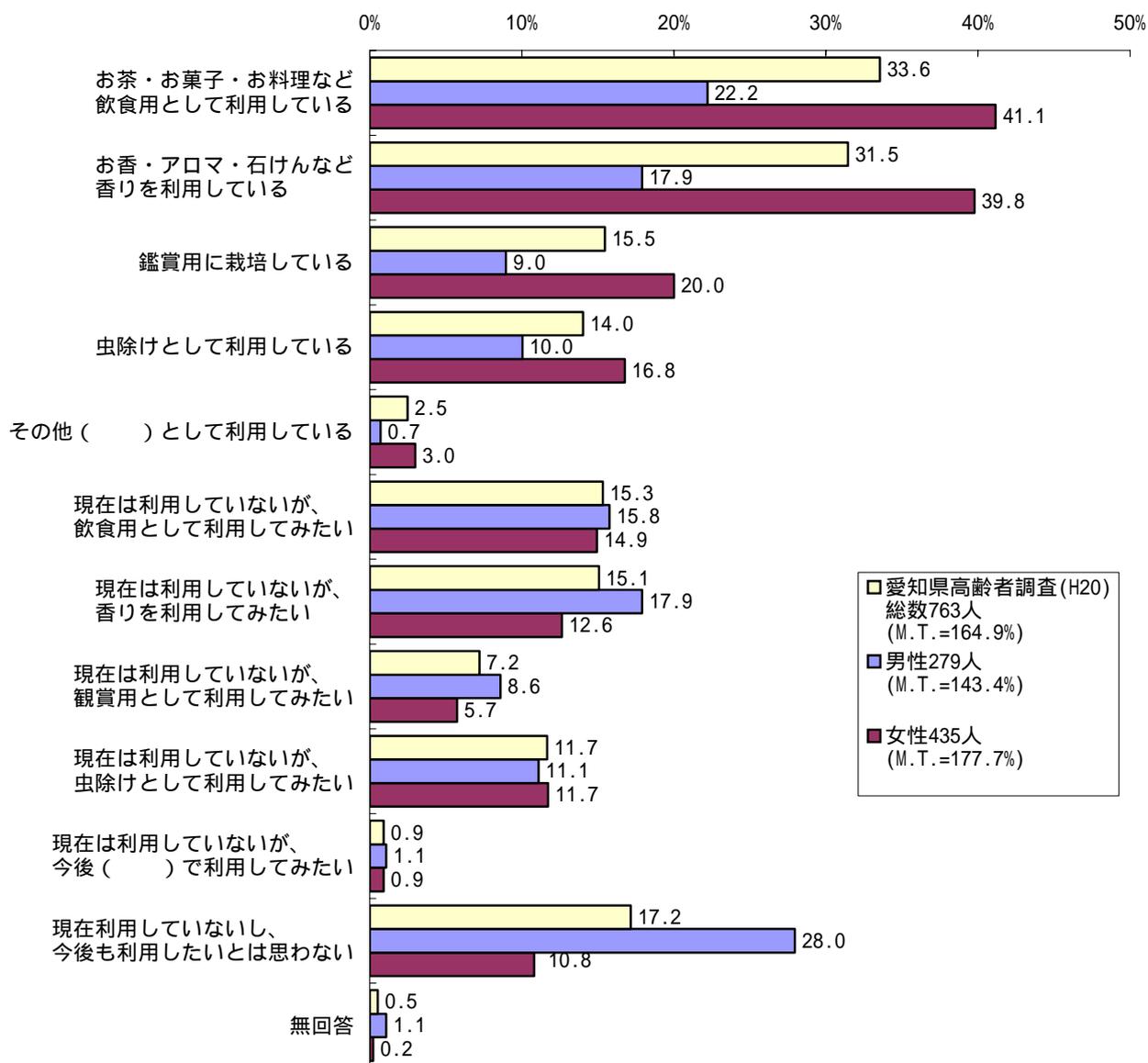
薬草園に関する問いに対して、全体では、現在の利用状況として、「お茶・お菓子・お料理など飲食用として利用している」が33.6%で最も多く、「お香・アロマ・石けんなど香りを利用している」31.5%、「鑑賞用に栽培している」15.5%、「虫除けとして利用している」14.0%の順となっている。また現在は利用していないが今後の利用として、「飲食用として利用してみたい」15.3%、「香りを利用してみたい」15.1%、「虫除けとして利用してみたい」11.7%、「観賞用として利用してみたい」7.2%の順となっている。

男女別に見ると、現在の利用状況に関してはすべての項目で女性の割合が高く、今後の利用としては、「香りを利用してみたい」(男性17.9%、女性12.6%)で男性の割合が高くなっている。一方、「現在利用していないし、今後も利用したいと思わない」では、女性10.8%に対し、男性28.0%と男性の割合が高くなっている。

表2-6 薬草園

愛知県民調査(H20)													(%)
	お茶・お菓子・お料理など飲食用として利用している	お香・アロマ・石けんなど香りを利用している	鑑賞用に栽培している	虫除けとして利用している	その他()として利用している	現在は利用していないが、飲食用として利用してみたい	現在は利用していないが、香りを利用してみたい	現在は利用していないが、観賞用として利用してみたい	現在は利用していないが、虫除けとして利用してみたい	現在は利用していないが、今後()で利用してみたい	現在利用していないし、今後も利用したいと思わない	無回答	(n)
全体	33.6	31.5	15.5	14.0	2.5	15.3	15.1	7.2	11.7	0.9	17.2	0.5	763
性別													
男性	22.2	17.9	9.0	10.0	0.7	15.8	17.9	8.6	11.1	1.1	28.0	1.1	279 143.4
女性	41.1	39.8	20.0	16.8	3.0	14.9	12.6	5.7	11.7	0.9	10.8	0.2	435 178
未記入	30.6	34.7	12.2	12.2	8.2	16.3	20.4	12.2	14.3	0.0	12.2	0.0	49 763
年代別													
20~24歳	27.0	33.3	6.3	7.9	1.6	25.4	20.6	0.0	7.9	1.6	23.8	0.0	63
25~29歳	32.9	30.0	5.7	11.4	2.9	17.1	22.9	7.1	17.1	2.9	8.6	0.0	70
30~34歳	34.4	33.3	14.6	14.6	1.0	10.4	12.5	8.3	4.2	1.0	19.8	0.0	96
35~39歳	38.2	40.8	14.5	21.1	5.3	15.8	9.2	6.6	10.5	0.0	10.5	0.0	76
40~44歳	37.4	38.4	16.2	16.2	3.0	11.1	14.1	6.1	15.2	1.0	16.2	1.0	99
45~49歳	35.3	33.3	14.7	13.7	1.0	18.6	14.7	7.8	9.8	1.0	17.6	0.0	102
50~54歳	34.7	25.5	19.4	15.3	0.0	8.2	17.3	9.2	10.2	0.0	19.4	2.0	98
55~59歳	29.3	22.9	22.9	12.1	3.6	19.3	14.3	9.3	16.4	0.7	18.6	0.7	140
未記入	31.6	31.6	15.8	10.5	10.5	10.5	5.3	5.3	10.5	0.0	21.1	0.0	19 763

図2 - 15 薬草園



男女別に見ると、「疾病の予防や治療のための医薬品や食品」（男性 45.2%、女性 37.2%）は男性の割合が高く、「バリアフリーの住宅や設備」（男性 28.7%、女性 42.8%）は女性の割合が高い。

表 2 - 7 健康長寿産業

愛知県民調査(H20)

(%)

	早期に疾病を発見できる検査機器や、疾病を治療する機器(がん治療の先端機器など)	疾病の予防や治療のための医薬品や食品	無理なく体を動かすことができる運動支援器具	体力の衰えをカバーする支援機器(歩行支援器具、起きあがり支援器具)	バリアフリーの住宅や設備	高齢者向けの動きやすい衣服	介護する人の作業を助けるロボット	健康づくりをサポートするサービス	その他	無回答	(n)
全体	64.5	40.5	16.3	18.1	36.7	4.2	25.2	44.4	5.6	1.8	763
性別											
男性	65.9	45.2	16.1	18.6	28.7	3.2	25.1	44.4	7.5	1.4	279
女性	63.0	37.2	16.1	18.2	42.8	4.4	26.2	45.1	4.6	1.4	435
未記入	69.4	42.9	18.4	14.3	28.6	8.2	16.3	38.8	4.1	8.2	49
年代別											
20～24歳	58.7	46.0	31.7	19.0	41.3	7.9	19.0	46.0	3.2	0.0	63
25～29歳	64.3	40.0	17.1	14.3	48.6	0.0	20.0	50.0	4.3	2.9	70
30～34歳	59.4	33.3	18.8	15.6	37.5	3.1	24.0	45.8	11.5	0.0	96
35～39歳	72.4	39.5	11.8	17.1	34.2	10.5	22.4	43.4	9.2	0.0	76
40～44歳	72.7	41.4	16.2	18.2	41.4	4.0	24.2	42.4	5.1	2.0	99
45～49歳	60.8	45.1	11.8	22.5	24.5	5.9	32.4	42.2	3.9	1.0	102
50～54歳	68.4	36.7	16.3	17.3	34.7	3.1	25.5	48.0	5.1	3.1	98
55～59歳	60.0	42.9	13.6	18.6	37.9	2.1	27.1	43.6	3.6	2.9	140
未記入	68.4	36.8	10.5	21.1	26.3	0.0	31.6	26.3	5.3	10.5	19